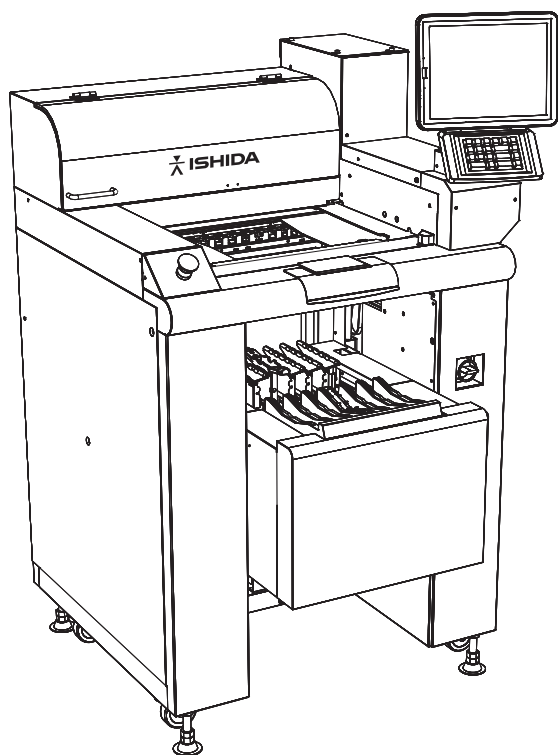


小型計量包装値付機

WM-AI VF UN

- UNタイプ(プリンターなし)



取扱説明書(本編)

 **警告**

- ・この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
- ・この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

はじめに

このたびは、「WM-AI VF シリーズ」を、ご購入いただき誠にありがとうございました。

「WM-AI VF」は、大きさに個体差のある青果物やさまざまなトレー商品を柔軟に包装することができるシステムです。

本書には、「WM-AI VF」ご使用上の注意点を詳しく説明しています。

「WM-AI VF」を安全に、効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書並びに取扱説明書（抜粋編）をよくお読みください。

本書並びに取扱説明書（抜粋編）に従わなかった場合、重大な事故に結びつく事があります。

おねがい

- 本書の内容を無断で転載することを固くお断りします。
- 製品の改良などにより、本書の内容の一部、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。ご了承ください。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 万全を期して本書を作成していますが、内容に関して、万一間違いやお気づきの点がございましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 機器、システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップなどの副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

重要なお知らせ

警告

- ・この器物には、潜在する危険があることを知らねばなりません。従ってこの器物の据付け、操作および保守・点検を行う場合には、必ず本書に従ってください。
- ・もし本書に従わないか、あるいは不注意や誤用・無断改造によって発生したいかなるケガや損害についても、株式会社イシダおよびその販売会社は責任を負いません。

- 株式会社イシダは、本製品が仕様に適合していることのみ保証します。当社は、本製品の瑕疵等により生じた損害について、当該瑕疵等の存在した本製品単体の価格を上限として賠償するものとします。ただし、逸失利益、特別損害（予見可能な有無を問わない）、拡大損害および間接損害については、損害賠償の範囲から除外されるものとします。不具合の原因が明らかに本製品の材料または製造上の欠陥である場合は、当該欠陥部分についての部品提供または修理を無償で行います。修理または交換の際は、お買上げの販売店にお申し出下さい。
- 次の例示されるような場合は、保証対象となりません。
 - ①取扱上の不注意（過失）による故障の場合
 - ②本製品が仕様書、本書等および注意書等に定められた条件または範囲を逸脱して使用された場合
 - ③当社の事前の承諾を得ることなく、本製品の改造、移設または他の機器への連動などを行った場合
 - ④故障の原因が本製品以外にある場合
 - ⑤純正部品以外の部品を使用した場合
 - ⑥天災、火災、不測の事故その他の不可抗力の場合
- 保証は日本国内での使用に限り有効とします。
- 保証期間は、納品後半年とします。
- 本書等には株式会社イシダの秘密情報が含まれており、株式会社イシダが本書等の一切の著作権を保有しています。秘密情報を第三者に開示したり、本書等を無断で複製・複写することは、全部であるか一部であるかを問わず、株式会社イシダの事前の書類に承諾が必要です。
- 株式会社イシダは、本書等および本製品に関するノウハウを独占的に保有しています。株式会社イシダは、本書等に定められた条件および範囲で、かつ、本製品を使用・維持する目的に限り、ノウハウを使用する譲渡不可・非独占的な使用権を承諾します。
- 付属のクリーナー容器に記載の注意事項を必ず確認してください。

お客様窓口

製品に同梱されています、イシダ全国サービスネットワーク図をご覧ください。

製造元

株式会社 イシダ

本社 〒606-8392
京都市左京区聖護院山王町44
電話：075-751-7104（直）

東京支社 〒173-0004
東京都板橋区板橋1丁目52-1
電話：03-3964-6204（直）

はかりに対する法規制について

注 記

- お買い上げいただいたはかりを取引や証明行為に使用される場合、そのはかりは検定に合格したものでなければなりません。
はかりに貼付された銘板の「検定証印等」欄に、次のいずれかの証印が表記されていることをご確認願います。
また、この証印の近くに、検定を行った年月が表記されていることを、合わせてご確認ください
検定年月の表記例（2022年4月実施）



2024.4

検定証印



2024.4



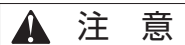


基準適合証印（※）

※ 基準適合証印：国から指定を受けた指定製造事業者が、自主検定の結果、合格品に付すもので、検定証印と同じ法的効果をもつもの。

- お買い上げいただいたはかりを取引や証明行為に使用される間は、検定合格後、2年に1度、都道府県等が行う定期検査を受けなければなりません。実施期日等に関する公示に基づいて、必ず定期検査をお受け願います。
ご不明な点につきましては、最寄りの計量検定所または製品に同梱されています「イシダ全国サービスネットワーク図」に記載のお客様窓口までお問合せ願います。

警告用語の種類と意味

本書に記載している警告用語は、危険度の高さや想定される事故の大きさによって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の指示に従ってください。

警告用語	意 味
 危険	回避しないと死亡または重傷を招く、差し迫った危険な状況の場合に使用しています。
 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用しています。
 注意	回避しないと軽傷または中程度の障害を招く可能性がある危険な状況の場合、または機器・装置が損傷する場合に使用しています。
注 記	特に注意を促したり、強調したい情報について使用しています。
 参考	操作を行うときに参考になる情報について使用しています。
 参照	操作を行うときに参照するページについて使用しています。

ソフトウェアに関するご注意

本製品は、当社が著作権を保有する、または第三者から当社が許諾を受けた、プログラムまたはソフトウェア（以下、単に「ソフトウェア」といいます。）を使用しています。

以下の内容はこの「ソフトウェア」をご使用頂くお客様に、ご理解と使用上のご注意をお願いするものです（なお、「ソフトウェア」のうち、オープンソースプログラム、フリーソフトウェア、または当社が第三者から許諾を受けたプログラムについては、以下の内容にかかわらず、それぞれが定める規約・ライセンス条件（以下、単に「第三者規約」といいます。）によります。第三者規約と、以下の内容や当社とお客様との契約その他の合意との間で矛盾・抵触が生じた場合は、第三者規約の記載が優先されるものとします。）。「ソフトウェア」がインストールを必要とする場合はインストール実行時、それ以外の場合は、本製品の使用を開始した時点で以下の内容に同意したものとみなします。

この「ソフトウェア」についてはお客様に以下の事項についてご了承をお願いいたします。

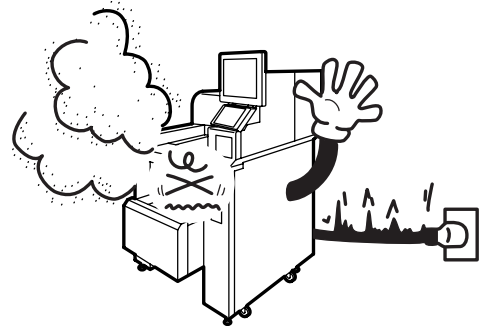
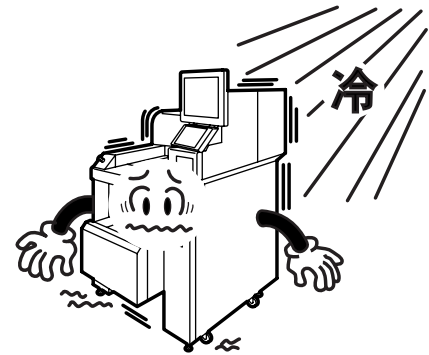
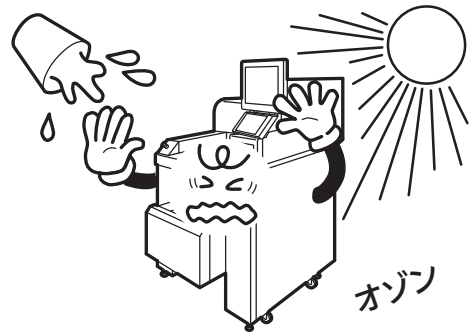
1. お客様は、自らまたは第三者をして、当社が書面により認めた場合を除き、「ソフトウェア」の複製、公衆送信もしくは移設（他の装置でのご使用）、本製品から「ソフトウェア」を分離して、「ソフトウェア」の譲渡もしくは貸与を行わないでください。
2. お客様は、自らまたは第三者をして、「ソフトウェア」の改変・翻案、もしくはリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル等、現状から変更する行為（以下「変更行為」といいます。）を行わないでください。お客様の変更行為により、何らかの欠陥・故障等が生じたとしても、当社および販売店等は一切の保証をいたしません。また、変更行為の結果、万一お客様に損害が生じたとしても当社および販売店等は責任を負いません。
3. 「ソフトウェア」は当社からお客様に使用を許諾しているもので、お客様へ権利を譲渡するものではなく、お客さまは、第三者に使用权を譲渡し、または再使用許諾することはできません。
4. 当社および販売店等は、「ソフトウェア」にエラー、バグ等の不具合がないこと、「ソフトウェア」が中断なく稼動すること、「ソフトウェア」がお客様の特定の目的に適合すること、または「ソフトウェア」の使用がお客様および第三者に損害を与えないことを保証するものではありません。
5. 「ソフトウェア」のご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、別途定めがない限り、当社および販売店等に故意または重過失が認められる場合を除き、当社および販売店等は責任を負いません。「ソフトウェア」に関し、請求の原因の如何にかかわらず、当社または販売店等が賠償責任を負う場合の総額は、本製品の販売金額を上限とし、逸失利益、特別損害、拡大損害および間接損害（いずれも予見可能性の有無を問いません。）についてはその賠償の対象から除外されるものとします。
6. お客様は、「ソフトウェア」を日本国外に持ち出される場合、自己の責任において、日本国内外の輸出管理に関連する法規を遵守するものとします。
7. お客様は、本注意事項の他、「ソフトウェア」についての取扱説明書の記載を遵守して本製品を使用してください。
8. お客様が、上記各内容をご了承頂けない場合、または上記各内容に違反した場合、当社は「ソフトウェア」の使用を禁止できるものとし、本製品のご使用を中止して頂く場合もございますのでご注意願います。

⚠ 設置上のご注意

次のような場所への設置は避けてください

⚠ 警告

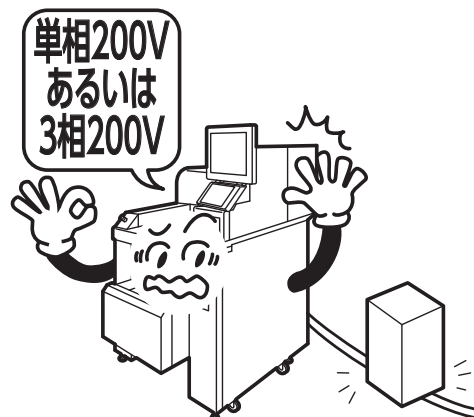
- ・ 低温、低湿または高温、高湿の場所
- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 水のかかる場所
- ・ オゾン発生源（オゾン殺菌装置等）
周辺
- ・ 振動の多い場所
床や土台などが不安定な場所
- ・ 冷気が直接あたる場所
クーラーや冷蔵庫などの冷気があたる
場所
- ・ チリ、ホコリなどの多い場所
- ・ 電圧変動の大きい場所



電源について

警告

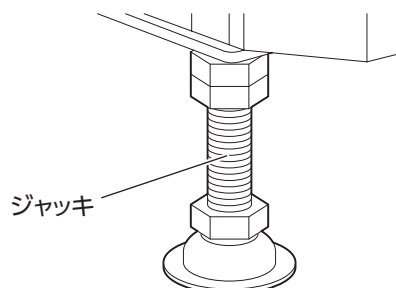
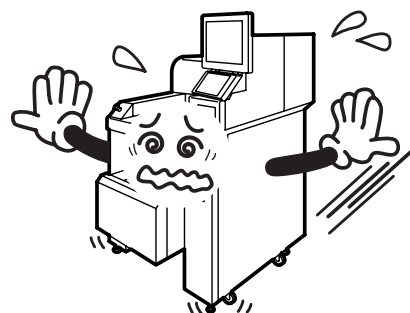
- ・ 電源は単相 200V、または 3 相 200V を使用してください。
- ・ 本機のアース付き専用プラグに適合したコンセントに接続してください。電圧変動の生じる電源は誤動作の原因となります。
- ・ 電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのまま使用を続けると事故やトラブルの原因となります。
- ・ 工場出荷時には、3 相 200V 用のコンセントを取り付けています。単相でご使用になる場合は、イシダサービスマンにご相談ください。
- ・ 定期的にコンセント周辺のごみ、汚れを取り除いてください。ごみ、汚れが酷いと火災の原因となります。



本体固定用のジャッキについて

警告

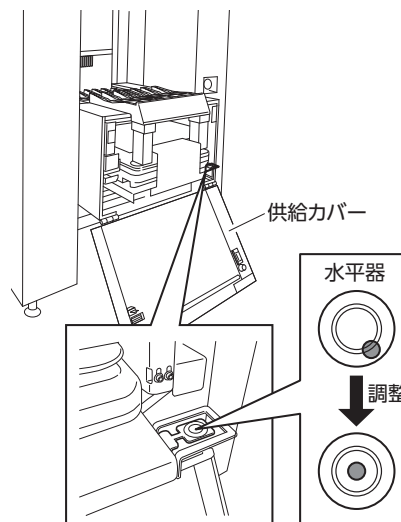
- ・ 一度設置した後は、本体固定用のジャッキを外さないでください。キャスターが付いているので生産作業中に本機が動く恐れがあります。また、包装能力低下の原因となります。



水平器について

▲ 注意

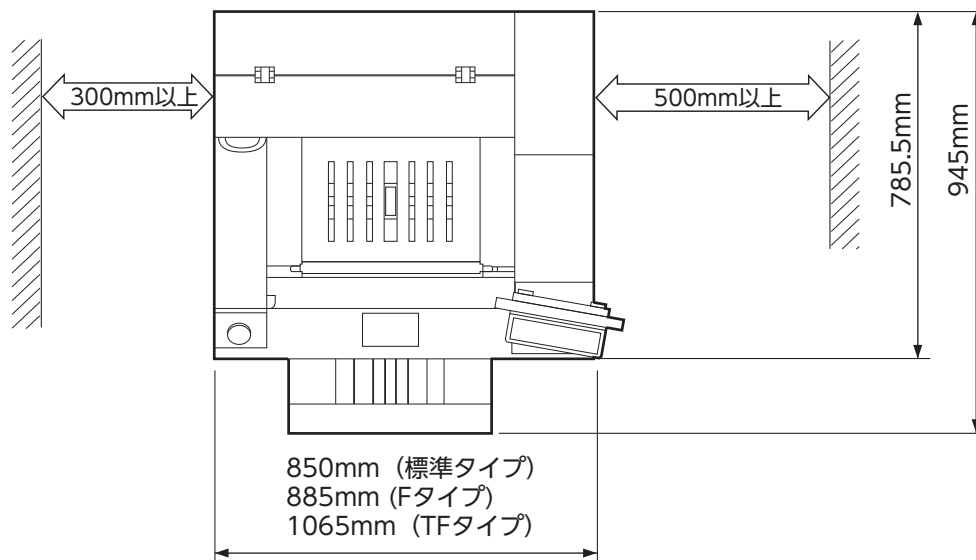
- ・ 本機の設置は必ず、水平に設置してください。
水平器で水平出しが正しく行われていないと、計量誤差がでたり、うまく包装できない原因となります。
水平になっていない場合は、本体固定用のジャッキ（4箇所）で水平を出してください。
水平器は計量皿の下にあります。



設置スペースにはゆとりを

▲ 注意

- ・ 本機の左右には、十分な作業スペースをとって設置してください。



- ・ 梱包材の廃棄は、地域の分別のルールに従い実施してください。
- ・ UNタイプは標準タイプと同じ設置スペースです。

⚠️ ご使用上の注意

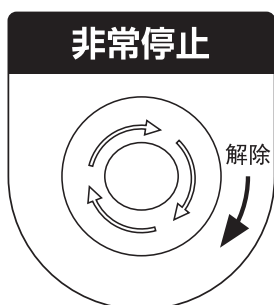
本機には、作業者に危険を知らせるための警告ラベルが貼り付けられています。
ここでは、その警告ラベルの意味と取扱上の注意事項について説明します。

⚠️ 注意

これらのラベルはいつもきれいにしておいてください。本機に貼り付けてあるラベルがはがれたり、ラベルに書かれている文字が消えたりしないように、注意してご使用ください。

ラベルがはがれてしまった場合は、最寄りの弊社販売店までご連絡ください。

警告ラベルの意味



作業中、本機内部に手を入れる場合や本機から異音がする場合、またそのままにしておくと危険な状態になるときに必ず非常停止スイッチを押してから作業または保守を行ってください。

機械内に手を入れる時は、



● 非常停止スイッチ

を必ず押してください。

包装機内にかみ込んだ商品を取り除くとき、その他、キー操作以外で包装機本体に触れる際には、必ず非常停止スイッチを押してください。

⚠️ カッター刃あり。隙間に指を入れないでください。

フィルムカッター部に貼り付けられています。フィルムカッター部をさわると指を切る危険性があるため、さわらないよう注意してください。



温風ヒーター部に貼り付けられています。温風ヒータ部は、作業中や電源を切った後もしばらくは高温ですので、手を近づけないでください。



作業中、指や手などを挟み込む危険性のある箇所に貼り付けられています。本書に従って、正しい手順で作業を行ってください。



供給部に貼り付けられています。計量作業中は、供給テーブルが動作しますので供給テーブルに触れないでください。指や手などを挟み込む恐れがあります。



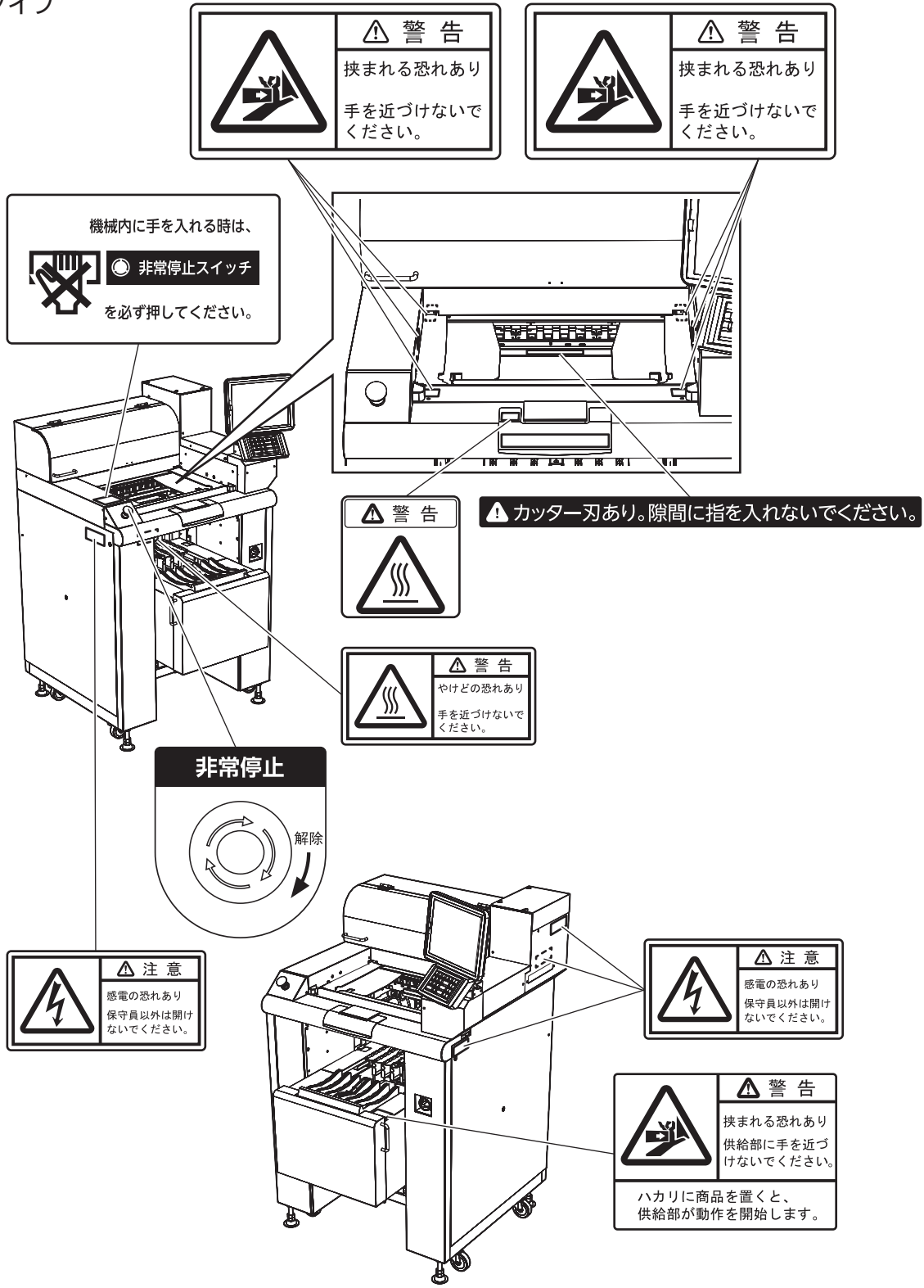
フラットヒーターに貼り付けられています。フラットヒーターは、作業中や電源を切った後もしばらくは高温ですので、直接手または衣類などが触れないように注意してください。



本体の左右側面および電気 BOX カバー等に貼り付けられています。感電する危険性があるため、絶対にさわらないでください。

警告ラベルの貼付け位置と取扱上の注意事項

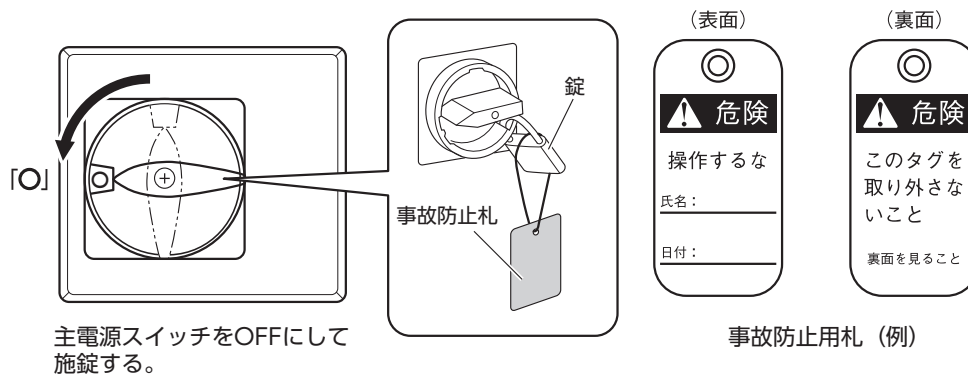
■ UN タイプ



動力源しゃ断と表示

本機の保守・点検前には、作業者の安全のために動力の供給をしゃ断してください。
また、作業中に他の人が動力の供給を開始しないように、事故防止用の札を製作し、動力のしゃ断部分に掲示してください。

この装置では、装置本体の電源スイッチをOFFにしてください。
事故防止用の札は、電源スイッチの横に吊り下げてください。



一般的な注意事項

本機を安全に使用するために、守らなければいけない一般的な注意事項について説明します。

⚠ 危険

- 濡れた手で、各スイッチやボタンに触れないでください。感電するおそれがあります。
- 電気工事は電気工事店、または電気工事免許を持った人が行ってください。
- 本機の通電部分には触れないようにしてください。感電することがあります。
- 保守・点検は、電気保守担当の人が行ってください。電気保守担当者以外の人の保守・点検は、感電や本機の誤作動の原因となります。

⚠ 警告

- 本機を操作する人は、長い髪は束ね、帽子を着用し、作業に適した服装・靴で作業をしてください。長い髪の毛や作業に適さない服装が原因で、本機の回転部に巻き込まれたりしてけがをすることがあります。
- 本機を運転する前には、各部のカバーが取り付けられていることを確認してください。
- 特に指示する部分以外の点検・修理は、電源スイッチを「切」にして行ってください。
- 本機の点検処置をするときは、電源スイッチを切ってしばらくたってから、作業をしてください。電源をしゃ断しても、しばらくは熱い部分があります。また、本機の前・後工程にほかの機物が接続されているときは、すべての機物の電源をしゃ断してください。
- 保守・点検をするときは、ほかの人が誤って電源を投入し、装置を動かしたりするのを防止するため、周囲に保守・点検中であることを明示してください。

⚠ 注意

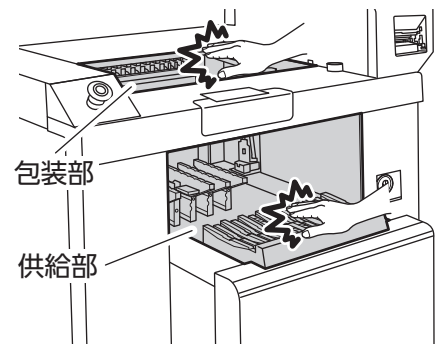
- 本機の上に工具などのものを置いて本機を運転しないでください。可動部などに落ちて、本機が破損することがあります。
- 保守・点検などの作業をするときは、作業服を着用してください。また軍手の着用は避けてください。
- 食品等で汚れた手で、本機及び包材に触れないでください。微生物汚染の原因となります。

警告

- ・ 供給部、包装部に手を入れないでください。

供給部や包装部にあるものを取り出す場合などで、やむをえず包装部に手を入れる場合は必ず非常停止スイッチを押してください。

また、包装作業中は、絶対に包装機内部に手などを入れないでください。手を挟み込む恐れがあります。



- ・ リアフィーダーユニット部に手を近づけないでください。

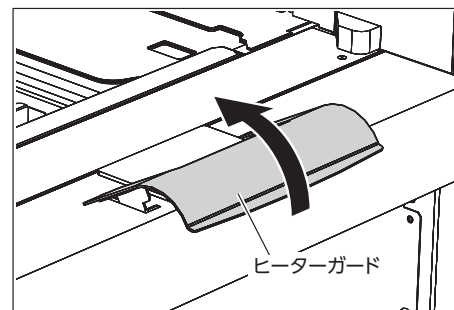
フィルム除去などで止むをえず手を近づける場合には、リアフィーダーユニット部に触れないように注意してください。リアフィーダーユニット内のフィルムカッターで手を切る恐れがあります。



- ・ フラットヒータは高温になるため、直接手、または衣類などが触れないように注意してください。

また、ヒータガードは包装作業時以外は常にガード位置に上げておいてください。

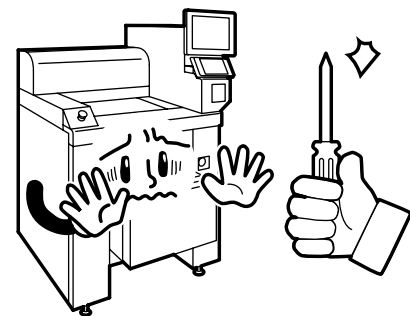
作業中や電源を切った後もしばらくは高温です。触れるとやけどをする恐れがあります。



- ・ 分解したり、改造したりしないでください。

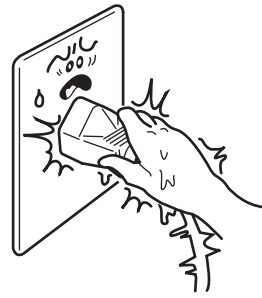
誤った分解をすると、故障の原因になります。本機を改造したり、指定外の部品を取り付けたり、取り外したりされた場合、重大な事故、けがの原因にもなります。

(その後の品質は保証いたしかねます。)

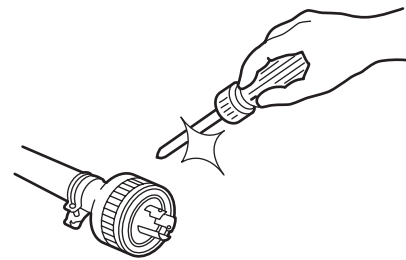


警告

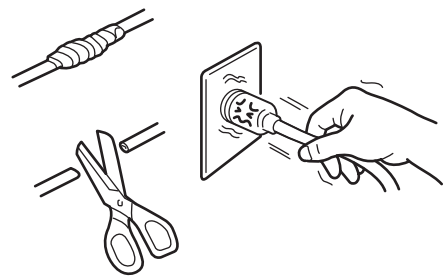
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
感電・ショートの原因になります。



- プラグおよび電源コードは加工しないでください。
火災・感電の原因になります。



- 電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、加工しないでください。
芯線が破損して、火災、感電の原因になります。



- 本機に直接水をかけないでください。
感電および故障の原因になります。

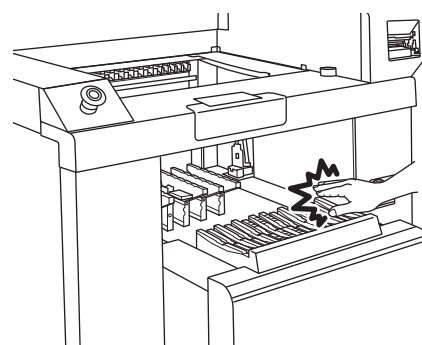


警告

- ・ 床掃除などに水を使用される場合には、水の跳ね返りが本体にかからないように注意してください。
機械故障や汚れ付着の原因になります。



- ・ 掃除を行う場合は、主電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
計量部のチェーンなどに手を挟み込む恐れがあります。

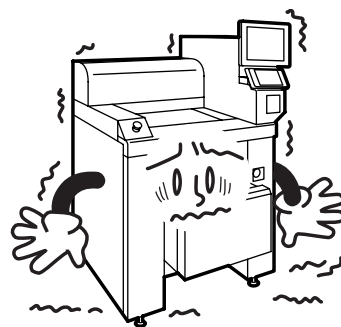


- ・ 装置の内外に異物が残ると、重大な異物混入事故につながるおそれがあります。
本製品ご使用前の点検と清掃は毎回必ず実施してください。
特に納品後や保守後は残留リスクが高まるため、より入念な確認を実施してください。
- ・ 本機を使用しない場合は、以下のようにしてください。
移転や廃棄のために一時的に本機を使用しない場合は、電源コードを抜いた状態で保管してください。
- ・ 本機を廃棄する場合は、必ずイシダサービスマンにご相談ください。

▲ 注意

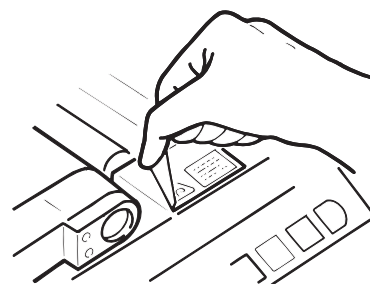
- ・ 精密機器なので、衝撃を与えないでください。

破損および計量能力低下の原因となります。



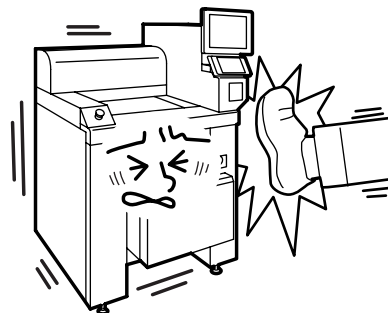
- ・ 警告ラベルは傷つけたり、はがしたりしないでください。

警告ラベルがはがれたり、汚損した場合は、お買上げになられた弊社販売店までご注文ください。



- ・ 本機には強い力を加えないでください。

変形や故障の原因になります。



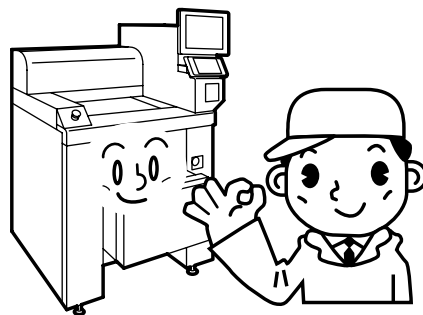
- ・ 本機の上に重い物を置いたり、本機の上に乗ったりしないでください。

変形や故障の原因になります。

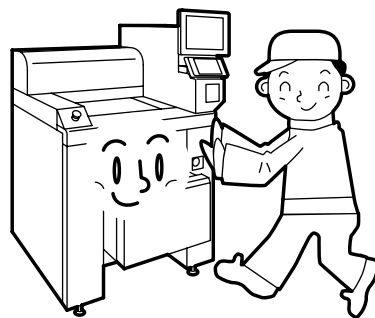


▲ 注意

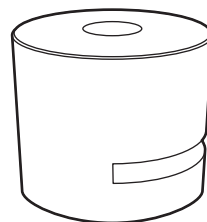
- 本機設置につきましては、イシダサービスマンにお任せください。



- 本機を移動される場合は、イシダサービスマンにご連絡ください。



- 付属のおもり（200g）などを用い、1日1回は始業点検（計量チェック）を行ってください。

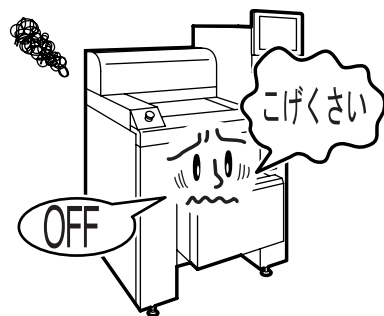


運転中の注意事項

警告

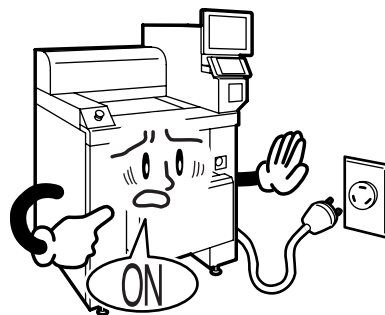
- ・ 異常時（こげ臭いなど）は使用を中止して主電源スイッチを OFF にし、電源コードをコンセントから抜いてください。

異常のまま使用を続けると火災・故障の原因になります。使用を中止して、お買い上げの販売店へ連絡してください。



- ・ 本機の主電源スイッチを ON にしたまま、電源コードをコンセントから抜き差ししないでください。

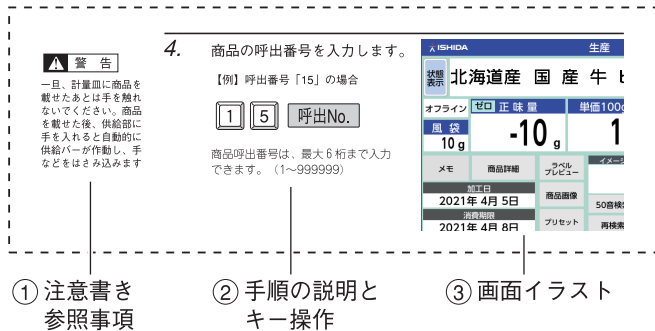
故障の原因になることがあります。



本書の使いかた

本機の保守・点検前には、作業者の安全のために動力の供給をしゃ断してください。
本書に使用されている本機の画面は、あくまで一例です。設定によりボタンや表示などの位置、大きさ、色などは変更されている可能性があります。

操作説明欄の構成



- ① 各ページの左側には、特に注意していただきたいことや、参考文、参照ページなどを示しています。
- ② 操作手順を説明し、その下にキー操作を記載しています。
- ③ 操作手順に沿った画面表示やイラストを示します。

本書のキー表示について



ストロークキー部のテンキーを示します。



タッチパネル部のタッチキーを示します。

※テンキーおよびタッチキーが並んで記載されているときは、連続して操作することを示します。

第 1 章 ご使用になる前に

WM-AI VF の概要、取扱上の注意点などについて説明しています。
この装置を理解し、正しく安全にお使いいただくためにも必ずお読みください。

第 2 章 基本的な使いかた

日常作業を行うときの操作方法について説明しています。

第 3 章 こんなこともできます

日常操作を行うときに、知っていると便利な機能について説明しています。

第 4 章 各データの登録のしかた

商品データなどの各種データを変更するとき、または新たにデータを追加するときの操作方法について説明しています。

第 5 章 データ集計をします

毎日の商品の生産情報を集計したり、集計したデータを印字するための操作方法について説明しています。

第 6 章 集計データを修正します

間違った生産作業があった時に、集計されているデータを減算したり、加算したりする操作方法について説明しています。

第 7 章 設定をします

初期設定などのデータの設定方法について説明しています。
データを管理している人以外は、操作しないでください。

第 8 章 調節をします

日付時刻や画面輝度、タッチパネル画面の調整方法について説明しています。

付録 その他

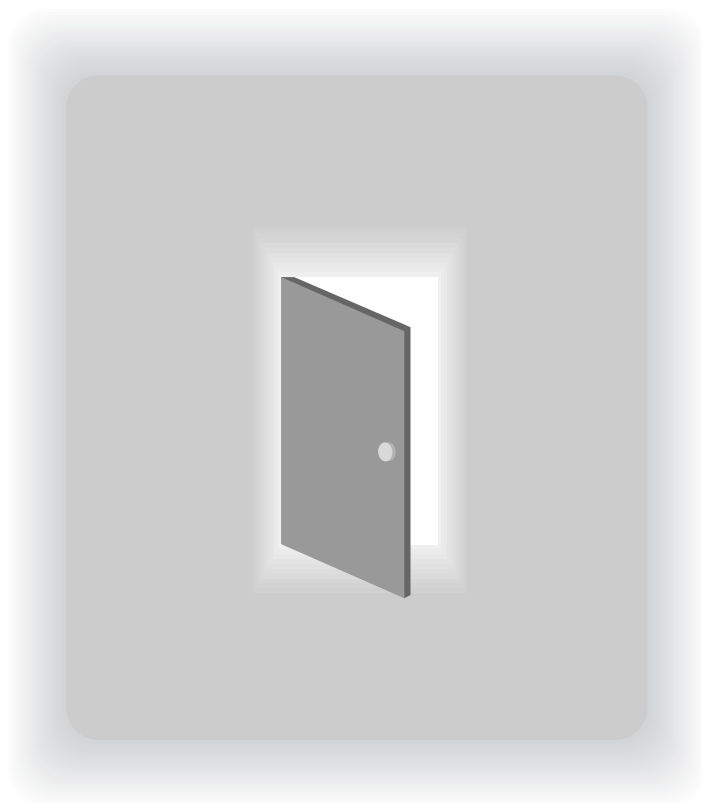
エラーメッセージが表示されたとき、およびその他のトラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

はじめに	II
重要なお知らせ	III
警告用語の種類と意味	IV
はかりに対する法規制について	IV
次のような場所への設置は避けてください	V
設置上のご注意	V
電源について	VI
本体固定用のジャッキについて	VI
水平器について	VII
設置スペースにはゆとりを	VII
警告ラベルの意味	VIII
ご使用上の注意	VIII
警告ラベルの貼付け位置と取扱上の注意事項	X
動力源しゃ断と表示	XI
一般的な注意事項	XI
運転中の注意事項	XVII
本書の使いかた	XVIII
操作説明欄の構成	XVIII
本書のキー表示について	XVIII
本書の構成	XIX
目次	XX
第 1 章ご使用になる前に	1-1
各部の名称と機能	1-2
本体外観	1-2
付属品	1-2
ストロークキー部	1-3
使用できるトレイとフィルム	1-4
トレイの種類	1-4
フィルムの種類	1-4
日常のお手入れ	1-5
清掃のしかた	1-6
清掃上のご注意	1-6
分解と清掃	1-6
組み立て	1-10
動作確認	1-12
運転の開始と終了のしかた	1-14
起動のしかた	1-14

終了のしかた	1-15
フィルムのセットと交換のしかた.....	1-16
フィルムのセット	1-16
フィルムの交換 (フィルム幅変更).....	1-20
風袋重量の考え方.....	1-26
仕様.....	1-27
第 2 章基本的な使いかた	2-1
通常モードの画面説明	2-2
初期画面の表示欄について	2-2
初期画面のタッチキーについて	2-3
計量・包装をします	2-4
包装のみの作業.....	2-4
メインメニューの表示方法.....	2-6
メインメニューの表示と切替	2-6
文字入力のしかた.....	2-7
第 3 章こんなこともできます	3-1
呼出 No. を入力して呼び出します.....	3-2
商品一覧から商品データを呼び出します	3-3
商品を検索して呼び出します	3-4
メモプリセットキーから商品データを呼び出します	3-5
メモプリセットキーを登録します	3-5
メモプリセットキーを使って商品を呼び出します	3-6
メモプリセットキーを消去します	3-7
商品データを変更、追加します	3-8
100g 単価を変更します	3-8
売価表のトレー欄にトレー No. を入力します	3-9
売価表の売価欄に売価を入力します	3-10
トレー一覧画面でトレーを変更します	3-11
青果物のイメージ一覧でトレー (包装形状) を変更します	3-12
上下限金額を設定します	3-13
ファンクションキーの便利機能	3-14

第4章各データの登録のしかた.....	4-1
登録メニューについて.....	4-2
基本的な呼出と登録のしかた.....	4-4
商品登録.....	4-5
商品データ登録「売価・風袋」画面の登録.....	4-6
商品データ登録「リンク1」画面の登録.....	4-8
商品データ登録「リンク2」画面の登録.....	4-10
商品データ登録「栄養成分詳細」画面の登録.....	4-11
商品データ登録「イメージ」画面の登録.....	4-13
商品データ登録「印字・発行」画面の登録.....	4-14
商品データ登録「日付」画面の登録.....	4-16
商品データ登録「コード」画面の登録.....	4-17
商品データ登録「トレー」画面の登録.....	4-19
トレー登録.....	4-21
トレー一覧画面の登録.....	4-21
トレーの手動登録(ハードトレー商品).....	4-22
トレーの手動登録(ソフトトレー商品).....	4-25
トレーの手動登録(ノートレー商品).....	4-28
フィルムの簡易調整.....	4-30
トレー名登録.....	4-32
プリセットキー登録.....	4-33
プリセットの選択.....	4-33
プリセットキーの登録.....	4-35
プリセットキーの名称表示を編集するには.....	4-37
プリセットキーの文字サイズを変更するには.....	4-38
プリセットキーを着色するには.....	4-39
プリセットキーにイメージ画像を割り当てるには.....	4-40
プリセットキーのサイズを変更するには.....	4-41
プリセットキーの配置を変更するには.....	4-42
プリセットキーを複製するには.....	4-43
プリセットキーを削除するには.....	4-43

第 5 章データ集計します	5-1
集計には	5-2
総合計	5-3
分類別集計	5-4
指定単品別集計	5-5
単品別集計	5-6
時間帯別集計	5-8
包装モード別集計	5-9
トレー別集計	5-10
集計クリア	5-11
第 6 章集計データを修正します	6-1
置数減算	6-2
置数加算	6-3
第 7 章設定をします	7-1
暗証番号設定	7-2
キーロック設定	7-3
集計加算設定	7-4
商品自動更新設定	7-5
商品初期値設定	7-6
商品一括変更設定	7-7
第 8 章調整をします	8-1
日付時刻調整	8-2
タッチパネル調整	8-3
画面輝度調整	8-4
付録その他	付録 -1
エラーの解除方法	付録 -2

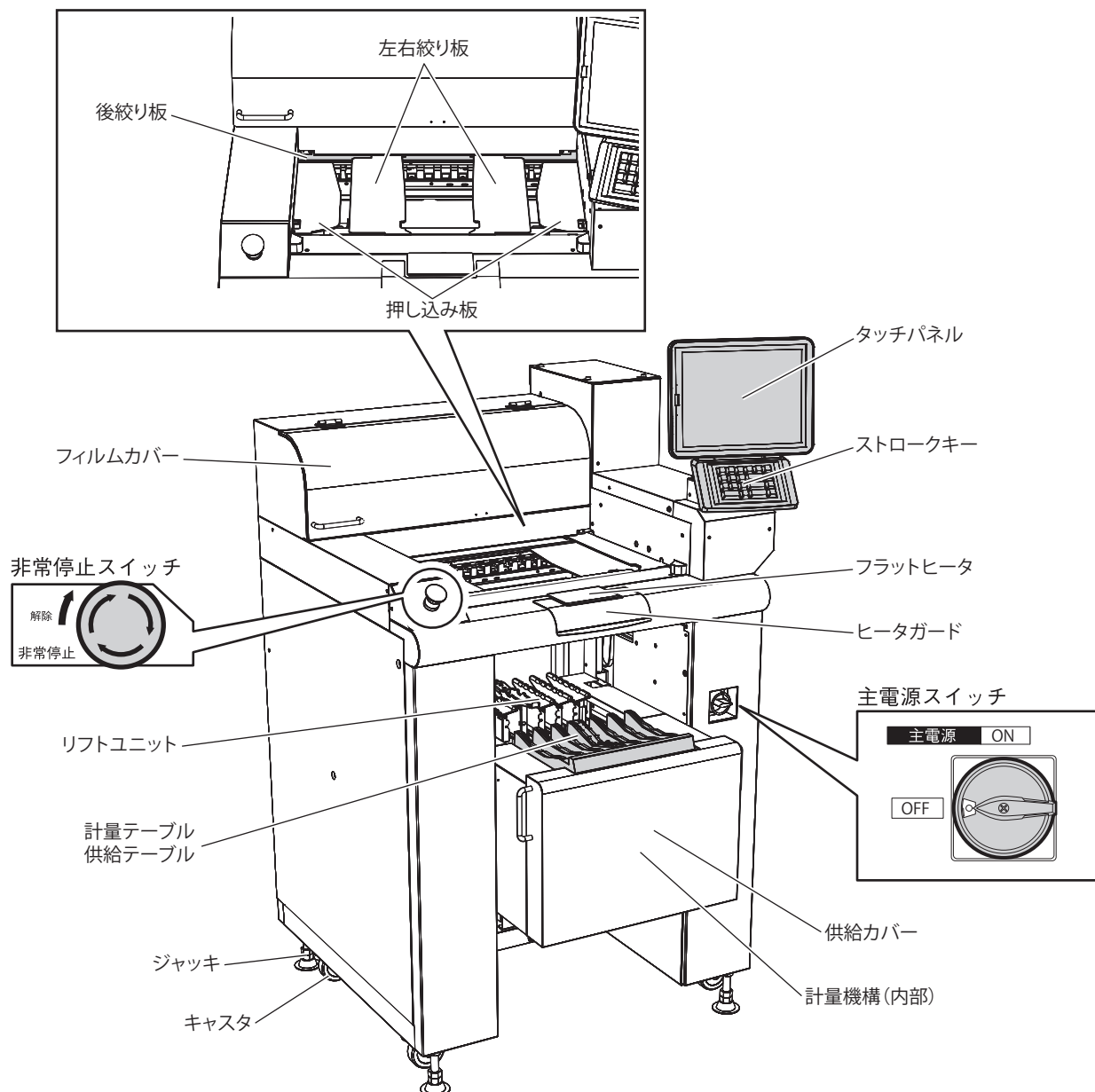


第 1 章
ご使用になる前に

各部の名称と機能

本機の各部の名称と機能について説明します。
本書は下記の名称を使って説明していますので、ここで各部の名称を覚えてから以降のページを読んでください。

本体外観



付属品

■全バリエーション共通

- ・食品衛生法に関する情報通知書：1 枚
- ・取扱説明書（抜粋）：1 冊
- ・清掃用ブラシ：1 本
- ・保証書：1 枚
- ・初期動作点検表：1 枚
- ・おもり：1 個
- ・おもり使用方法：1 枚

ストロークキー部



定額	定金額を変更するとき、および単価商品を定額商品に変更するときを使用します。
単価	単価を変更するとき、および単価商品を単価商品に変更するときを使用します。
呼出	入力してある商品やPOP、コメントなどのデータを呼び出します。
消	入力数値の消去、エラー解除などに使用します。
M特	商品の値引きをするときに使用します。
店	店別運用の場合に使用します。
ゼロ	ハカリのゼロ点を補正します。
印字	手動設定で包装動作を開始するときに使用します。
風	風袋中の副材重量の変更に使用します。

使用できるトレイとフィルム

ご使用いただくトレイとフィルムは、本機にあった指定のものをお使いください。

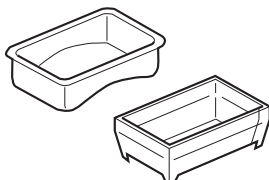
トレイの種類

■使用できないトレイ、商品

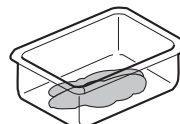
発泡(PSP)、透明(OPS、HPS、PP)、その他トレイで、下図のように一部使用できないトレイがあります。



- 極端な変形トレイ、商品搬送および、フィルムの張り調整が困難です。



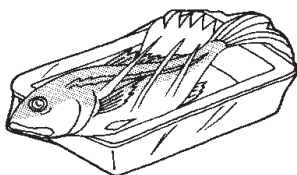
- 底部がくぼんでいるもの
フィルムのシールができません。



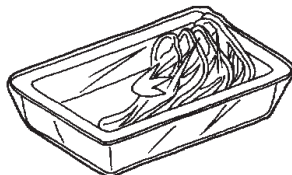
- センサーで検知できないトレイ
透明材質で、中身が詰まっていないものは検知できません。
※透明材質でも、色付き、透明度の低いものはセンサーで検知できる場合があります。

■盛りつけかた

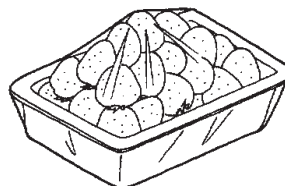
盛りつけかたによって包装の仕上がりが大きく変わります。安定した仕上がりを保つために下図のような盛りつけにしないでください。



- 中味が飛び出している



- 中味が片寄っている



- 盛りすぎ

■包装できる商品の大きさ

・幅 80~350mm 奥行 80~250mm 高さ 10~170mm

▲ 注意

・本機で使用できるトレイの大きさは上記の範囲ですが、MAX 幅 (350mm) × MAX 奥行 (250mm) または、MIN 幅 (80mm) × MIN 奥行 (80mm) などの許容最大値、最小値の組合せのトレイは使用できません。寸法が上記範囲内であっても、形状、材質、重量によっては包装できない場合があります。

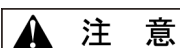
フィルムの種類

使用するフィルムは、機械巻き用 1000/1200m 巻き、幅 350, 400, 450, 500mm を、使用するトレイに合わせてお使いください。フィルムは、イシダ指定グレードをご使用ください。

▲ 注意

指定フィルム以外のものを使用すると、包装できなくなることがあります。フィルムについては、イシダサービスマンにおたずねください。

日常のお手入れ



注意

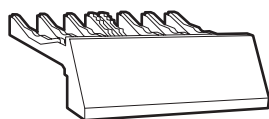
日常のお手入れを行うときは、必ず主電源スイッチをOFFにしてから作業を行ってください。また、作業直後のフラットヒーターには余熱が残っています。直接手で触れないでください。

本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防止するためにも日常のお手入れが必要です。作業後は、毎日清掃して常に清潔を保つようにしてください。

供給ユニットの奥にあるリフトユニット、計量テーブル、供給テーブルを清掃してください。
詳しい清掃方法については、1-7ページ「清掃のしかた」を参照してください。



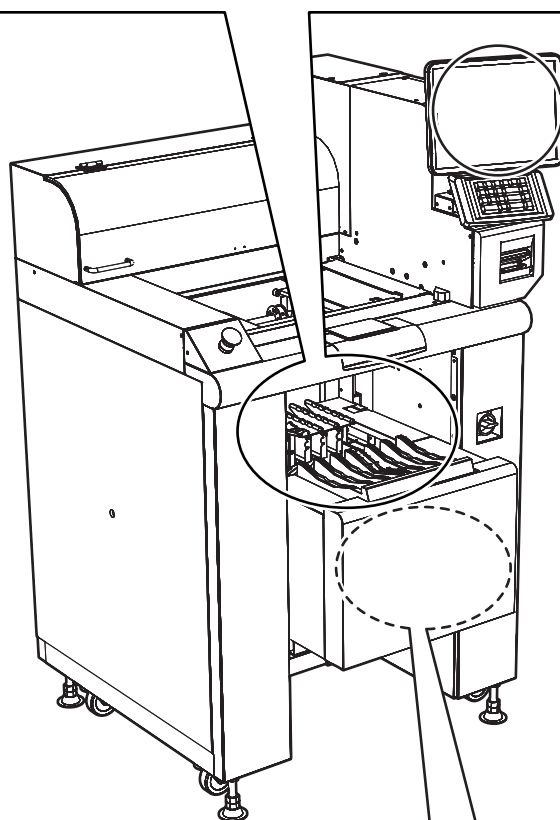
リフトユニット



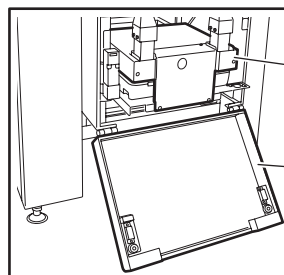
計量テーブル



供給テーブル



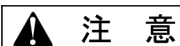
画面や本体外板は乾いた布で拭いてください。食品残渣が付着した場合は、アルコールを含浸したふきんで拭いてください。シンナー、ベンジン等の薬品を使用しないでください。



ハカリカバー

供給カバー

供給カバーと供給部内にあるハカリカバーを清掃してください。
詳しい清掃方法については、1-7ページ「清掃のしかた」を参照してください。



注意

各駆動部に注油の必要はありません。
また、本機に直接水をかけないでください。故障の原因となります。

清掃のしかた

ここでは、各部の分解手順、清掃方法および清掃後の動作確認について説明します。

清掃上のご注意

常に良好な状態で日常の操作を行っていただくために、実際の作業のまえには必ず以下の項目を点検してください。

注意

- ・ 清掃作業は、必ず主電源スイッチを OFF にして、しばらくたってから作業をしてください。電源を遮断しても、フラットヒーターなどしばらくは熱い部分があります。
- ・ 本機を清掃する人は、長い髪は束ね、帽子を着用し、作業に適した服装・靴で作業をしてください。
- ・ 清掃作業は、必ず作業前に手洗いし、衛生的な手袋を着用してから行ってください。
- ・ 使用するふきんは中性洗剤で湿らせ、固くしぼった状態で使用してください。
- ・ 食品やトレーが直接に接触する箇所には、必ずアルコール(80vol%)を噴霧して、殺菌を行ってください。
- ・ キー操作によるテンキーの汚れが激しい場合は、テンキーカバー(オプション)を取り付け適宜清掃をしてください。
- ・ ロール台のローラーは、アルコールで拭き取らないでください。

分解と清掃

分解手順に沿って、各部の清掃方法について説明します。

1. 画面右下の「ファンクション」ボタンをタッチし、ポップアップメニューから「清掃準備」をタッチします。



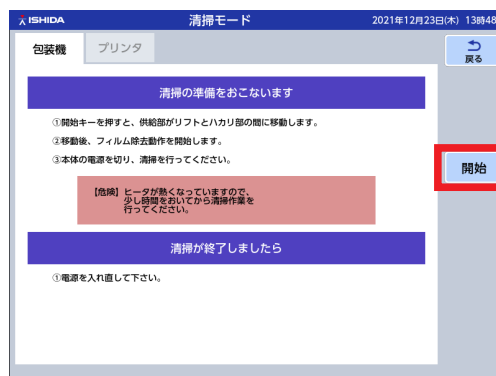
清掃モード画面が表示されます。



2. 清掃モード画面の「開始」をタッチします。



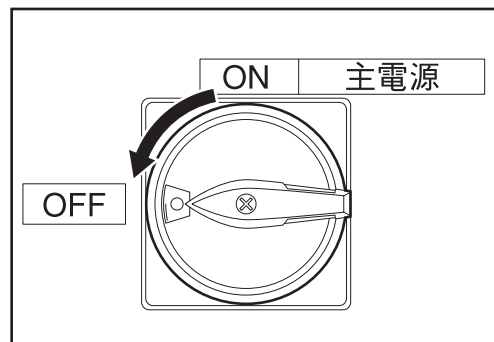
清掃モードが実行され、供給部がリフト付近へ移動します。移動後、フィルム除去動作を行います。フィルム除去後、非常停止を押した状態で、左右/後絞り板をフリー(手で動かせる状態)になります。



「戻る」をタッチすると、生産画面に戻ります。

警告

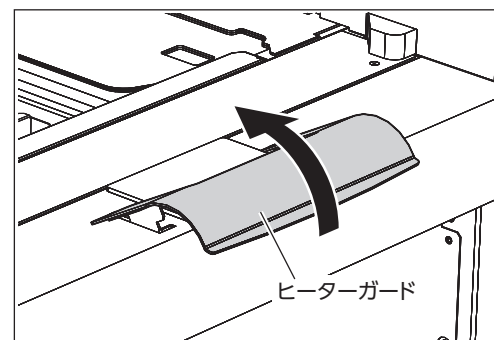
フラットヒーターは主電源スイッチをOFFしてもしばらくは高温です。やけどの恐れがありますので、30分以上たってヒーターが冷めていることを確認してから清掃してください。

3. 本機左面にある主電源スイッチをOFFにします。**警告**

作業後のフラットヒーターは高温になっています。15分以上たってヒーターが冷めていることを確認してから清掃してください。

4. ヒーターガードを清掃します。

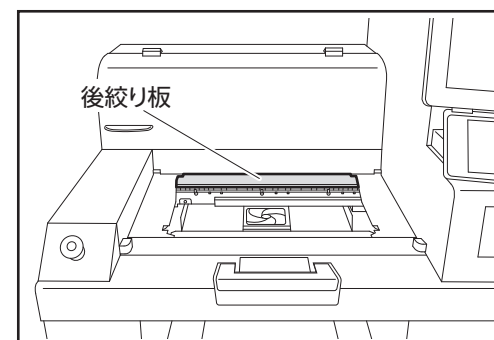
ヒーターガードを持ち上げ、ふきんを使用して汚れを拭き取ります。食品残渣が付着しているときは、アルコールを含ませたふきんを使用して汚れを拭き取ります。

**注意**

後絞り板を引き出す際、フィルムカッターで手を切らないように注意してください。また、後絞り板を元の位置に移動させるとき、手を挟まないように注意してください。

5. 後絞り板を清掃します。

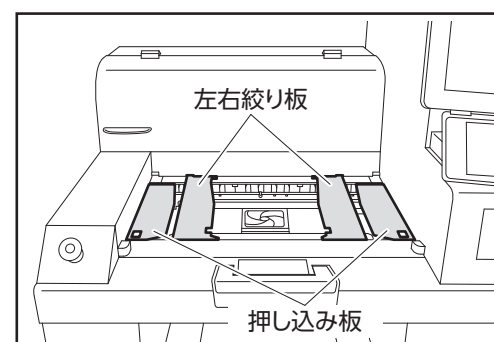
後絞り板を手前に引き出し、ふきんを使用して汚れを拭き取ります。食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸したふきんで拭きます。拭き取った後、後絞り板を元の位置に移動させます。

**注意**

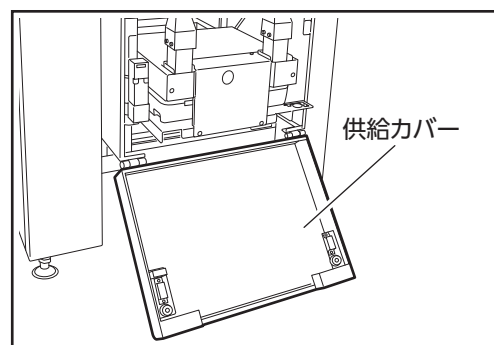
左右絞り板を引き出す際、トレー押さえに手をぶつけないように注意してください。また、左右絞り板を元の位置に移動させるとき手を挟まないように注意してください。

6. 左右絞り板を清掃します。

左右絞り板を内方向に引き出し、ふきんを使用して汚れを拭き取ります。食品残渣が付着したときは、アルコールを含浸させたふきんで拭きます。拭き取った後、左右絞り板を元の位置に移動させます。



7. 供給カバーを開きます。



▲ 注意

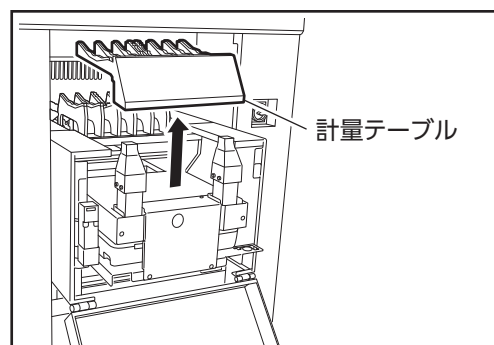
計量テーブルを取り外す際、周辺部にぶつけないように注意してください。

▲ 注意

計量テーブルの裏面にくぼみがあるため、拭き残しがないように注意してください。

8. 計量テーブルを清掃します。

計量テーブルを取り外し、水洗い、もしくはふきんを使用して汚れを拭き取ります。
食品残渣が付着しているときは、アルコールを含浸させたふきんを使用して汚れを拭き取ります。



▲ 注意

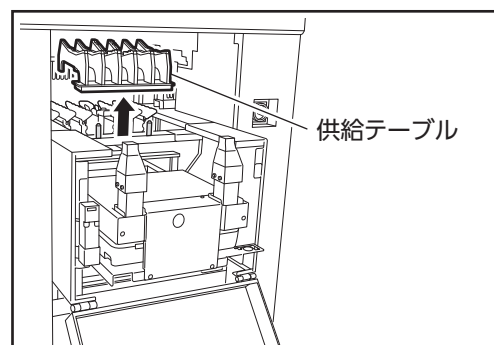
供給テーブルを取り外す際、周辺部にぶつけないように注意してください。

▲ 注意

供給テーブルの裏面にくぼみがあるため、拭き残しがないように注意してください。

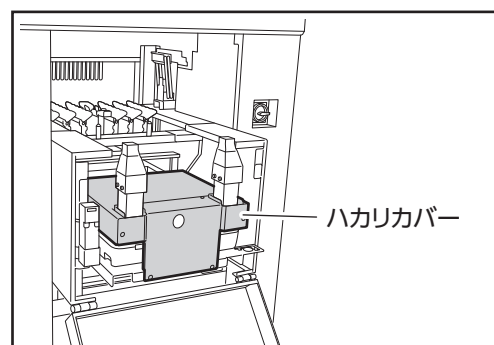
9. 供給テーブルを清掃します。

供給テーブルを取り外し、水洗い、もしくはふきんを使用して汚れを拭き取ります。
食品残渣が付着しているときは、アルコールを含浸させたふきんを使用して汚れを拭き取ります。



10. ハカリカバーを清掃します。

ハカリカバーの汚れをふきんを使用して拭き取ります。
食品残渣が付着しているときは、アルコールを含浸させたふきんを使用して汚れを拭き取ります。



▲ 注意

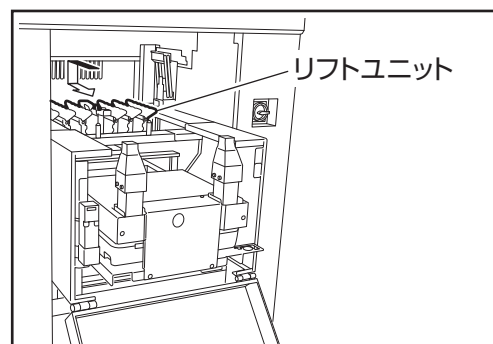
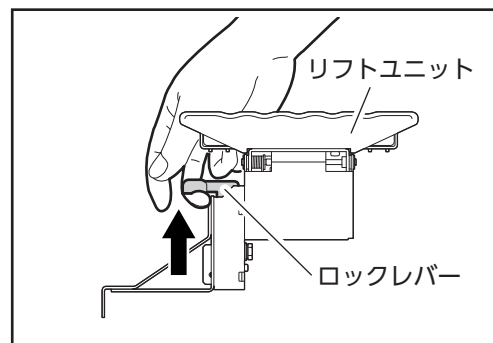
リフト部を取り外す際、周辺部にぶつけないように注意してください。

11. リフトユニットを清掃します。

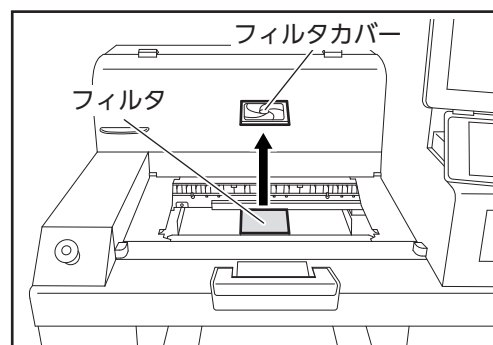
取り外したリフトユニットを水洗いします。リフト脱着部にアルコールを噴霧します。

リフトユニットの取り外し

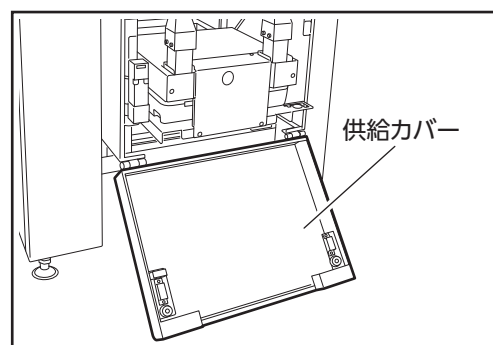
- ① リフトユニットのロックレバーを矢印方向に押し上げて解除します。
- ② リフトユニットを奥へスライドさせ、取り外します。

**12. 温風ヒーター部のフィルタを清掃します。**

温風ヒーター部のフィルタカバーを取り外し、フィルタの汚れをふきんを使用して拭き取ります。食品残渣が付着しているときは、アルコールを含浸させたふきんを使用して汚れを拭き取ります。

**13. 供給カバーを清掃します。**

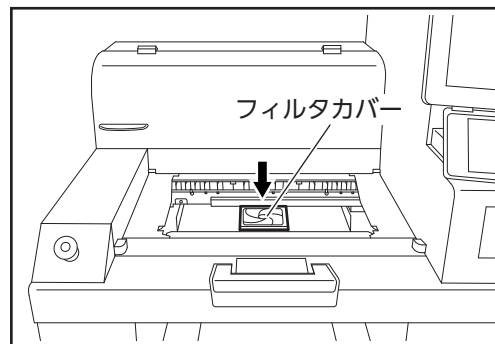
供給カバー内部の汚れをふきんを使用して拭き取ります。食品が付着しているときは、アルコールを含浸させたふきんを使用して汚れを拭き取ります。



組み立て

清掃後の各部の組み立て手順について説明します。

1. フィルタカバーを取り付けます。



▲ 注意

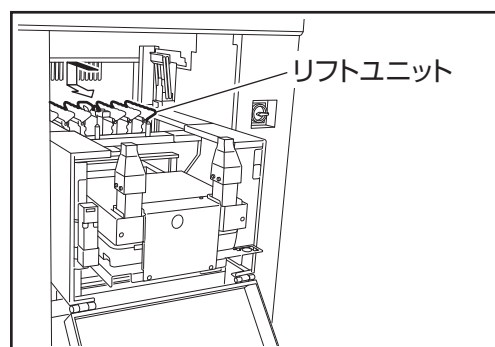
リフトユニットは水洗いした後、よく乾燥させてから取り付けてください。

▲ 注意

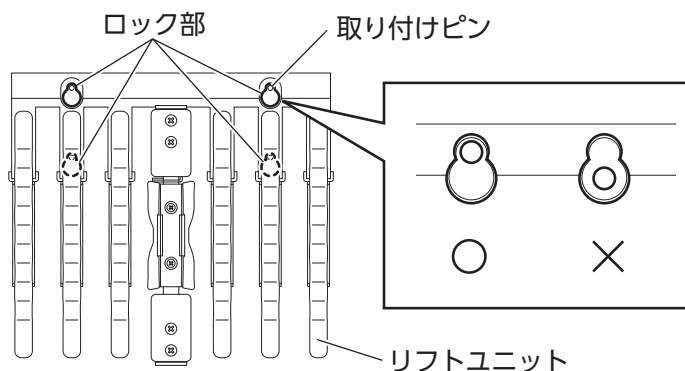
リフト部を周辺部にぶつけないように注意してください。

2. リフトユニットを取り付けます。

- ① リフトユニットを包装機と水平になるように取り付け、手前にスライドさせます。
リフトユニットの取り付け後、リフトユニットを真上から見て取り付けピンがリフトユニットのロック部に取り付けられていること、リフトユニットを前後に動かしてガタツキがないことを確認してください。



取り付けした後、アルコールを噴霧します。



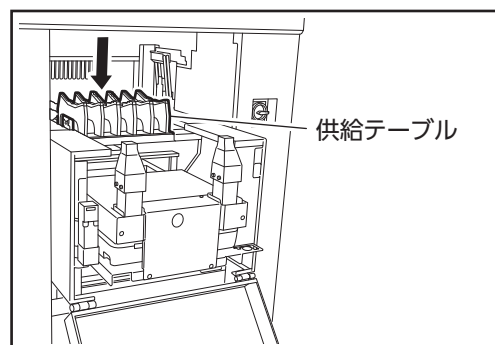
▲ 注意

供給テーブルを取り付ける際、周辺部にぶつけないように注意してください。

供給テーブルは水洗いした後、よく乾燥させてから取り付けてください。

3. 供給テーブルを取り付けます。

供給テーブルを供給部の取り付け部にはめ込みます。

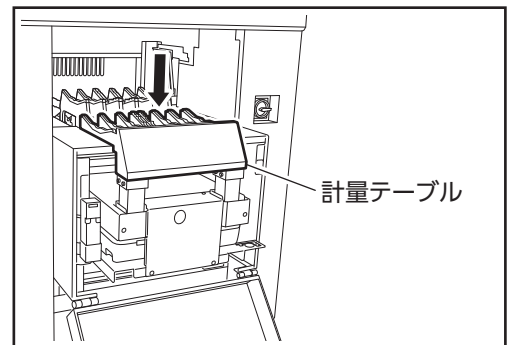
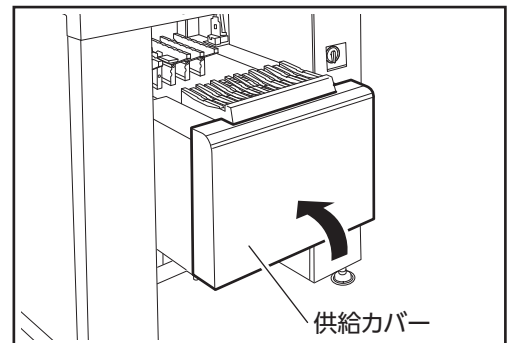


▲ 注意

計量テーブルを取り付ける際、周辺部にぶつけないように注意してください。
計量テーブルは水洗いした後、よく乾燥させてから取り付けてください。

4. 計量テーブルを取り付けます。

計量テーブルを供給部の取り付け部にはめ込みます。

**5. 供給カバーを閉じます。**

動作確認

清掃後の本機の動作確認について説明します。

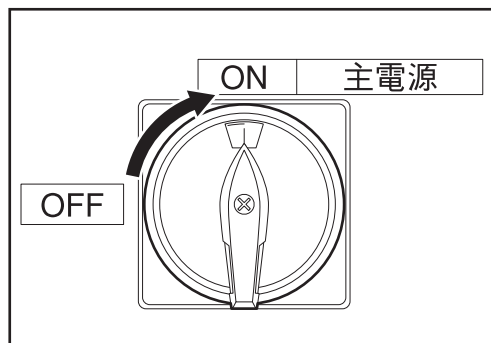
警告

主電源スイッチを ON にすると各部ファンなどが急に動作することがあります。主電源スイッチ ON 時は本機内部に手などを絶対に入れないでください。また、主電源スイッチを濡れた手で触ると感電の恐れがあります。絶対に濡れた手で触らないでください。

1. 本機左面にある主電源スイッチを ON にします。

タッチパネルに復帰動作の確認画面が表示されます。

画面が表示されるまで約 1 分間かかります。



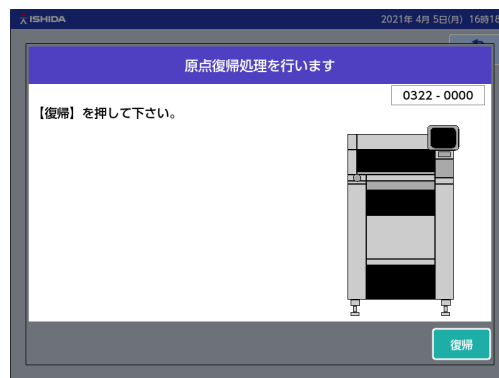
警告

フラットヒーター部は高温になるため、やけどの恐れがあります。手、衣類などが、絶対に触れないようにしてください。

2. 復帰動作の確認画面に表示された「復帰」をタッチします。



コンベア、リフト部などの原点復帰が行われ、初期画面が表示されます。復帰後、時計確認画面が表示されます。「確認」をタッチすると生産画面が表示されます。



警告

復帰動作中には包装機内に手などを入れないでください。

3. ストローキキーの「ゼロ」を押します。

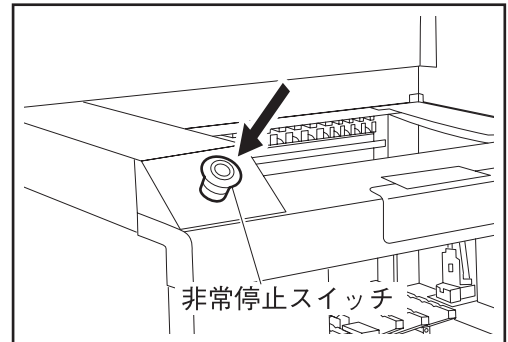


ハカリのゼロ点補正が行われ、ゼロ点補正終了後は、ゼロ表示欄に「ゼロ点」と表示されます。

4. 計量チェックを行います。

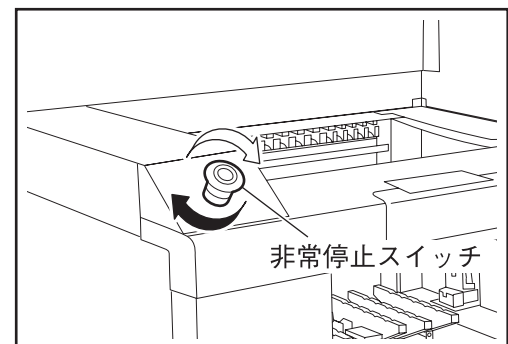
計量器の使用頻度を考慮していただき、例えば 1 日 1 回は付属のおもりなどを用いて始業点検（計量チェック）を行ってください。

5. 本機正面左側にある非常停止スイッチを押します。



6. 床に落ちたゴミをモップなどを使用して除去します。

7. 非常停止スイッチを解除します。



運転の開始と終了のしかた

ここでは、包装機を起動させるとき、および終了させるときの手順について説明します。

起動のしかた

警告

主電源スイッチを ON にすると各部ファンなどが急に動作することがあります。主電源スイッチ ON 時は本機内部に手などを絶対に入れないでください。また、主電源スイッチを濡れた手で触ると感電の恐れがあります。絶対に濡れた手で触らないでください。

警告

フラットヒーター部は高温になるため、やけどの恐れがあります。手、衣類などが、絶対に触れないようにしてください。

警告

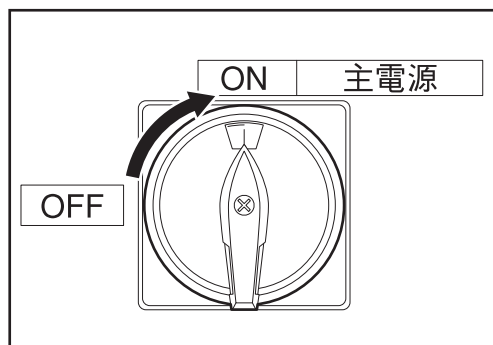
復帰動作中には包装機内に手などを入れないでください。

1. 計量部、包装部に商品が載っていないことを確認します。

2. 本機左面にある主電源スイッチを ON にします。

タッチパネルに復帰動作の確認画面が表示されます。

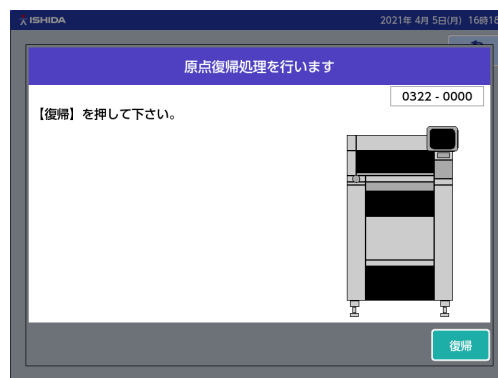
画面が表示されるまで約 1 分間かかります。



3. 復帰動作の確認画面の「復帰」をタッチします。

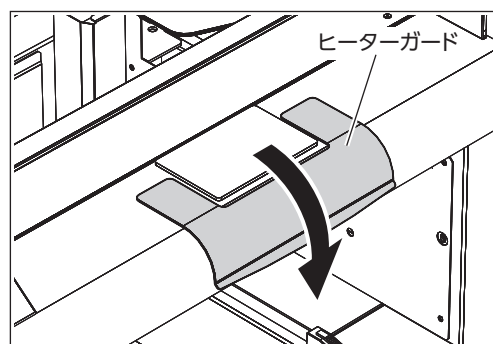
復帰

コンベア、リフト部などの原点復帰が行われ、初期画面が表示されます。復帰後、時計確認画面が表示されます。



4. 包装作業を行う場合、ヒーターガードをガード解除位置に下ろします。

ヒーターガードを手前に引いてから下ろします。

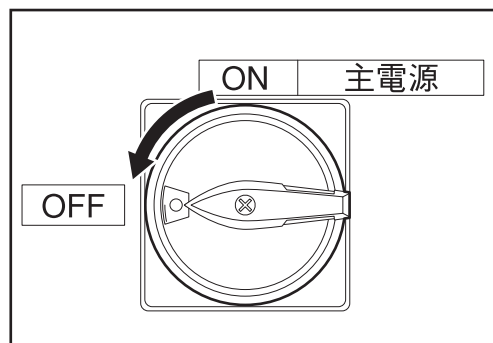


終了のしかた

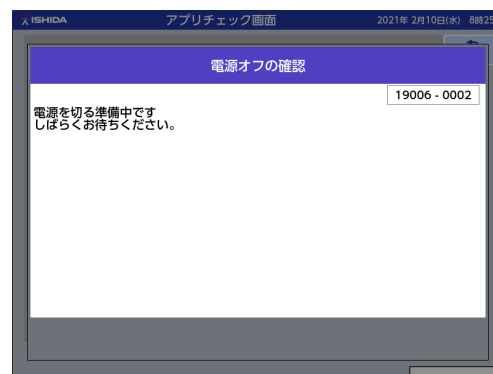
警告

フラットヒーターは主電源スイッチを OFF してもしばらくは高温です。やけどの恐れがあります。絶対に触れないでください。

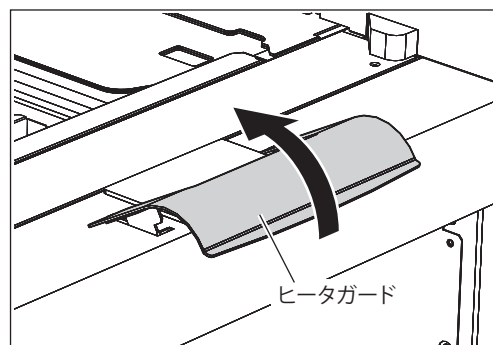
1. 計量部、包装部に商品が載っていないことを確認し、主電源スイッチを OFF にします。



2. 確認画面が表示され、本機の電源が自動的に切れます。



3. ヒーターガードをガード位置に持ち上げます。



注意

- ・ イシダロゴが表示されている間は、電源を入れ直さないでください。
- ・ 次の電源投入は、画面が完全に消えてから行ってください。

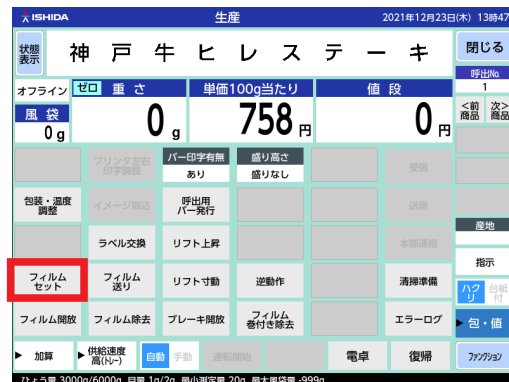


フィルムのセットと交換のしかた

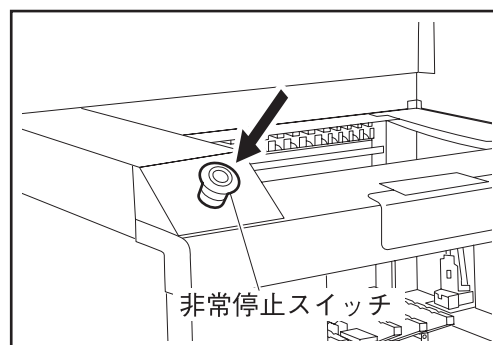
ここでは、フィルムのセットと交換の方法について説明します。十分に理解してからセットしてください。

フィルムのセット

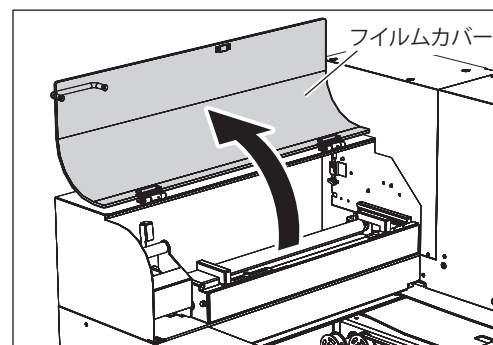
- 画面右下の「ファンクション」ボタンをタッチし、ポップアップメニューから「フィルムセット」をタッチします。



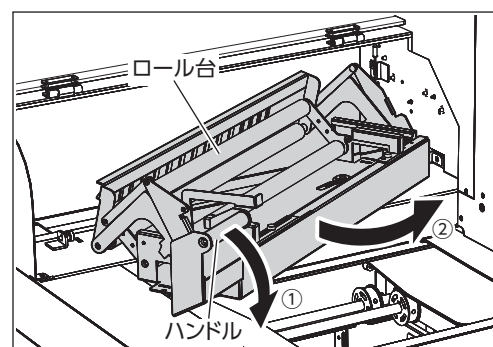
- 本機正面左側にある非常停止スイッチを押します。



- フィルムカバーを開きます。



- ハンドルを手前に引き、ロール台を矢印方向にスライドさせます。



▲ 注意

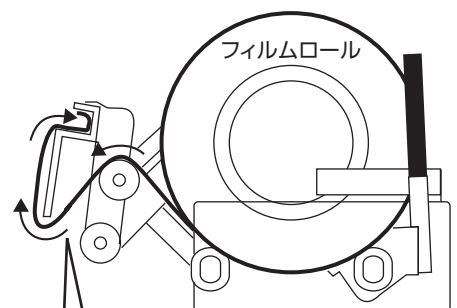
フィルムの巻き方向を間違えないようにしてください。故障の原因となります。

5. フィルムロールをロール台にセットします。

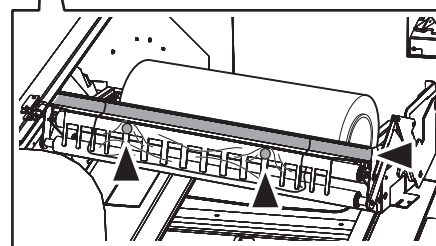
使用済みのフィルム紙管が残っている場合は、フィルム紙管を取り外した後に作業を行ってください。

6. フィルムを通します。

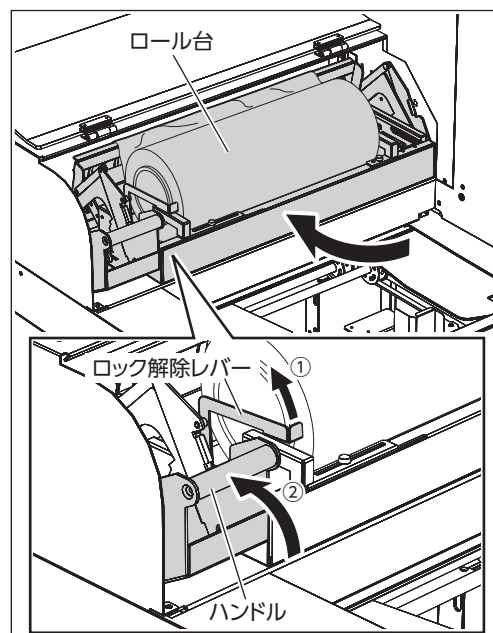
右図のように通してください。



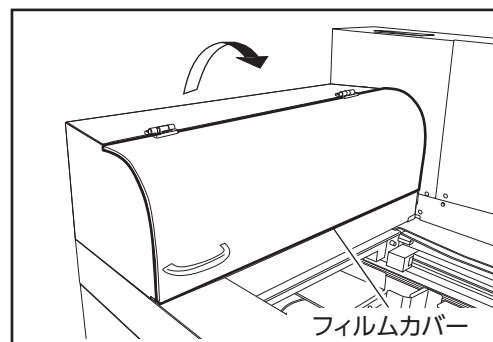
緑のシール部分(○2つとバー)にくっつけて取り付けてください。

**7. ロール台を元の位置に戻し、ハンドル、ロック解除レバーを倒します。**

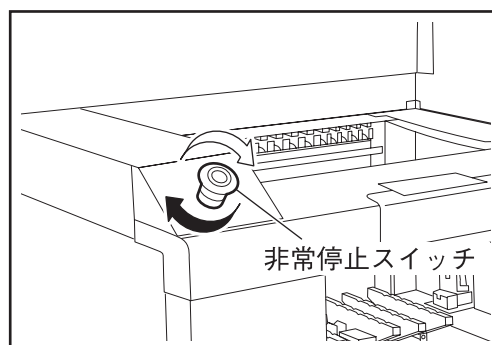
ロール台を矢印方向にスライドさせます。ハンドルを持ち上げながらロック解除レバーを引き上げ、ハンドルと一緒に奥に倒します。



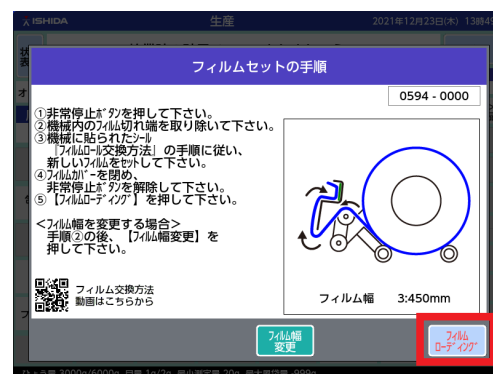
8. フィルムカバーを閉じます。



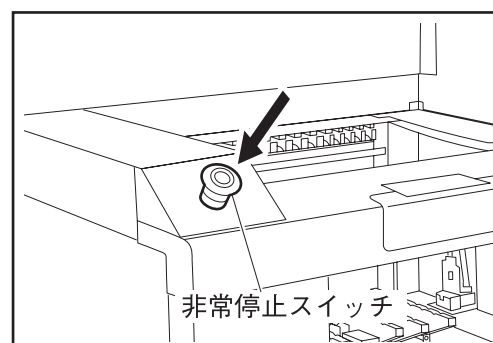
9. 非常停止スイッチを解除します。



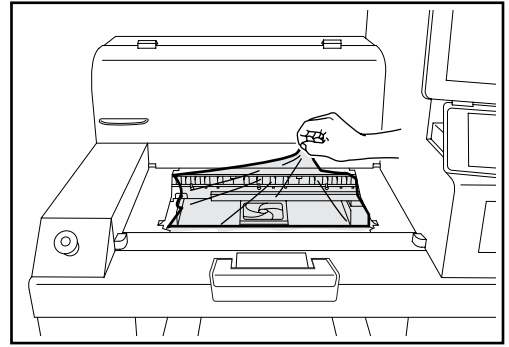
10. フィルムロール交換画面に表示されている「フィルムローディング」をタッチします。



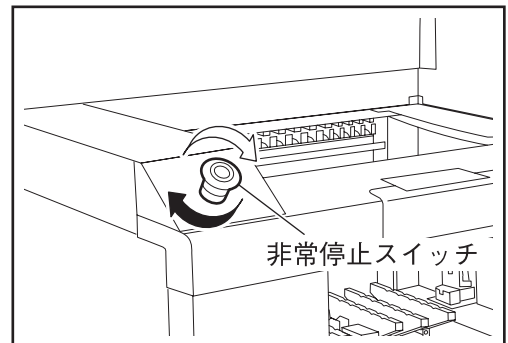
11. ローディングが完了したら、本機正面左側にある非常停止スイッチを押します。



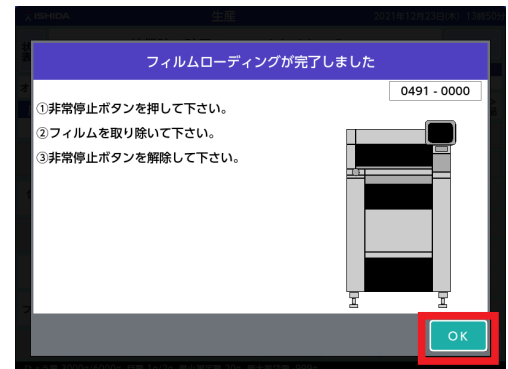
12. 包装機上にあるフィルムを取り除きます。



13. 非常停止スイッチを解除します。



14. フィルムロール交換画面に表示されている「OK」をタッチします。

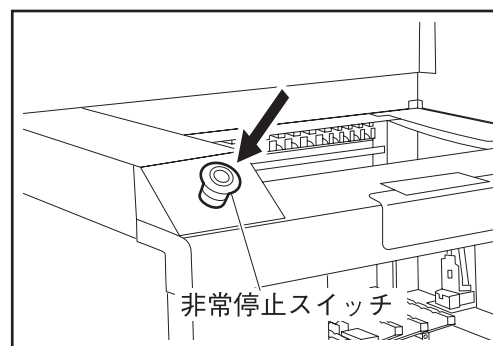


フィルムの交換（フィルム幅変更）

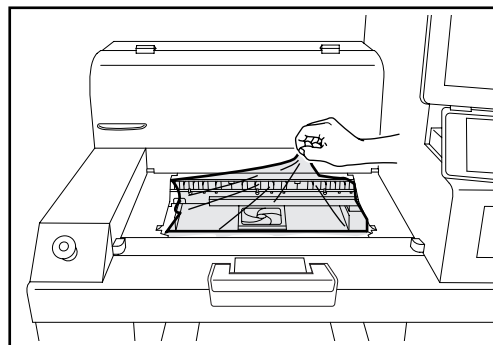
- 画面右下の「ファンクション」ボタンをタッチし、ポップアップメニューから「フィルムセット」をタッチします。



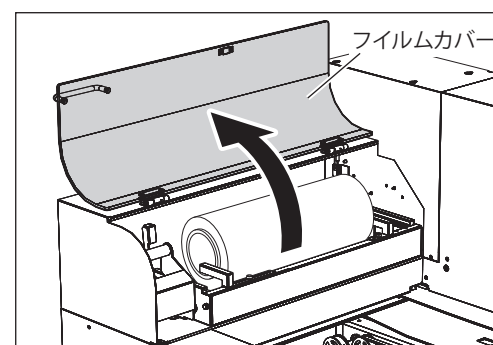
- 本機正面左側にある非常停止スイッチを押します。



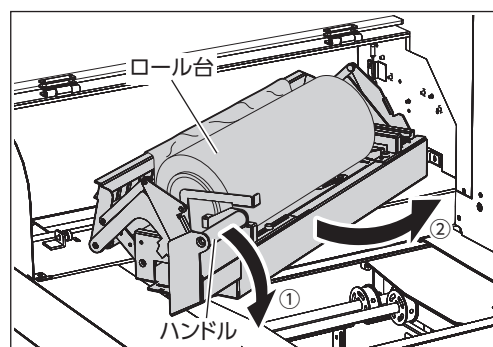
- 包装部上にあるフィルムを取り除きます。



- フィルムカバーを開きます。

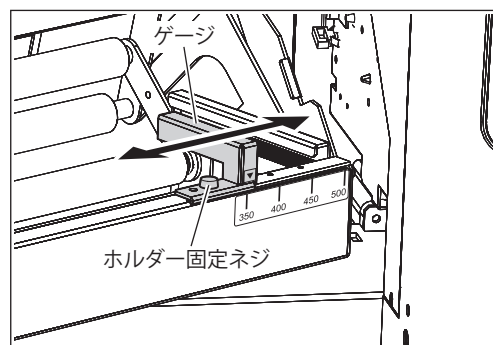


5. ハンドルを手前に引き、ロール台を矢印方向にスライドさせます。



6. 使用していたフィルムロールを取り外します。

7. ホルダー固定ネジを緩め、ロール台のゲージを新しいフィルムロールに合うようにスライドさせます。



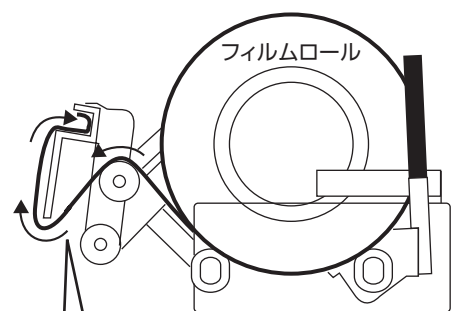
▲ 注意

フィルムの巻き方向を間違えないようにしてください。故障の原因となります。

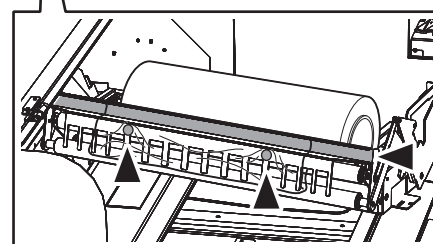
8. 新しいフィルムロールをロール台にセットします。

9. フィルムを通します。

右図のように通してください。

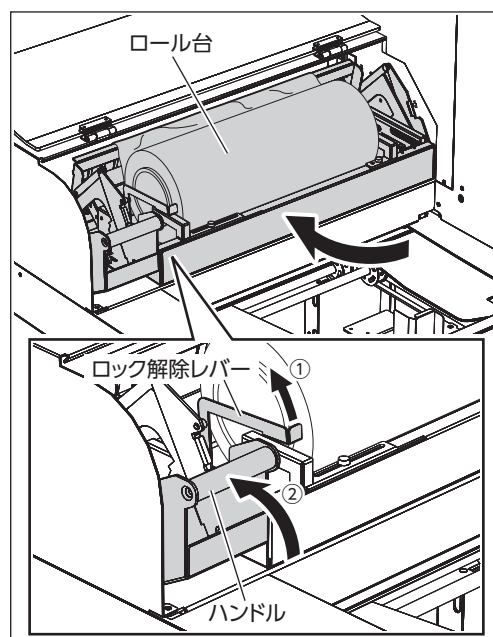


緑のシール部分(○2つとバー)にくっつけて取り付けてください。

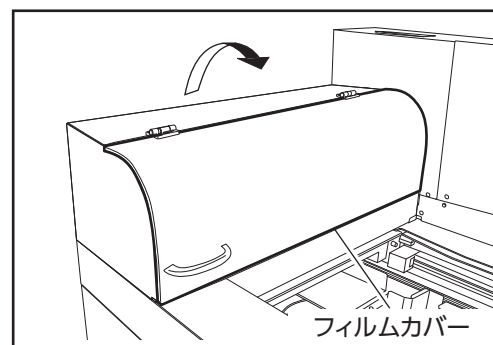


10. ロール台を元の位置に戻し、ハンドル、ロック解除レバーを倒します。

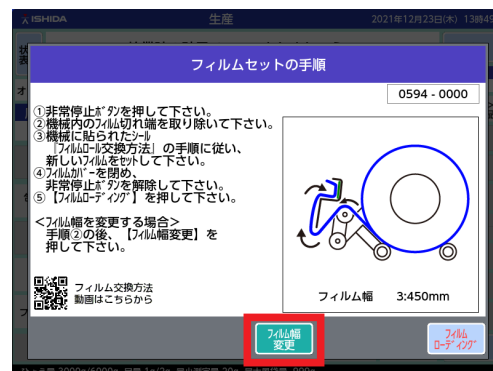
ロール台を矢印方向にスライドさせます。ハンドルを持ち上げながらロック解除レバーを引き上げ、ハンドルと一緒に奥に倒します。



11. フィルムカバーを閉じます。



12. フィルムロール交換画面に表示されている「フィルム幅変更」をタッチします。

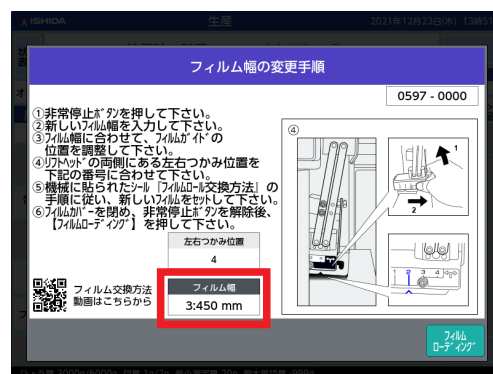


13. フィルム幅変更画面の「フィルム幅」に変更されたフィルム幅を入力します。

【例】フィルム幅 450mm の場合



フィルムに対応した左右つかみ位置が表示されます。



▲ 注意

「フィルム幅」は手順 8 で変更した値を入力します。入力したフィルム幅と左右つかみの現在位置が適合しない場合は、「左右つかみ位置を変更してください」と表示されます。

▲ 注意

フィルム幅は 10mm 単位で入力してください。

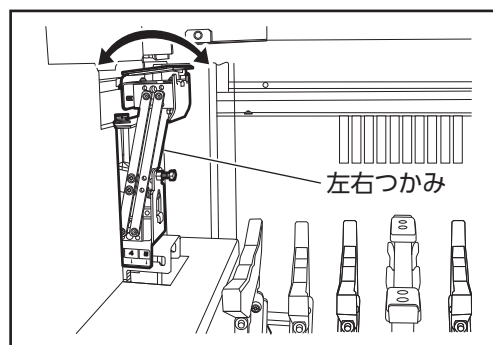
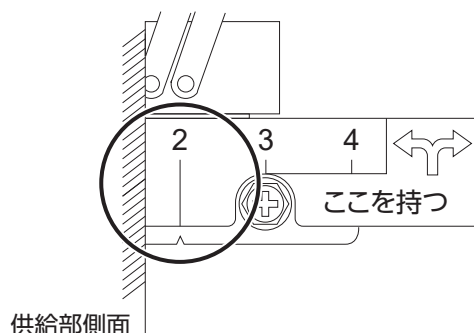


「ここを持つ」と記載されている箇所を手で持って移動させてください。

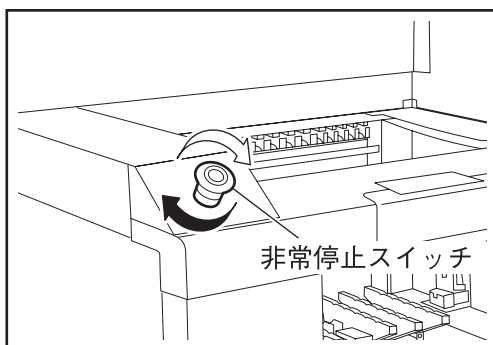
14. 左右つかみ（左右 2 箇所）を手順 13 に対応した位置に移動させます。

左右つかみを持ち上げた後、左右に移動させます。左右つかみのラベルの線を切り込みに合わせるように移動させます。

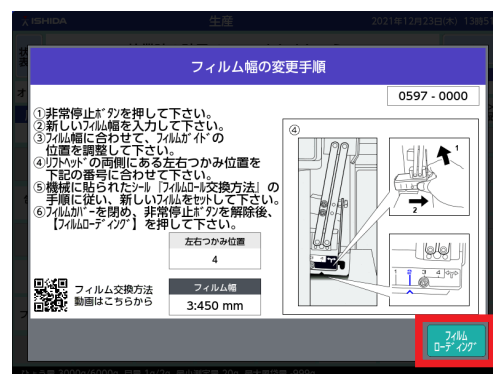
【例】左右つかみ位置が「2」の場合



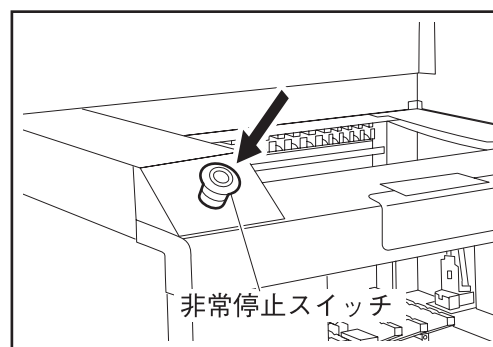
15. 非常停止スイッチを解除します。



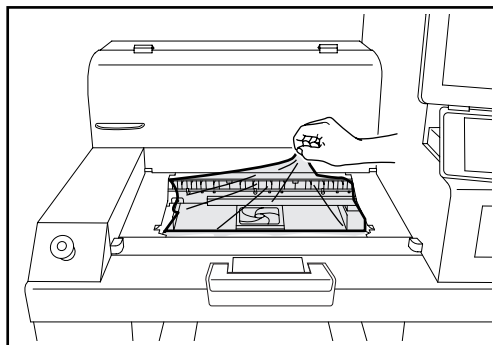
16. フィルム幅変更画面に表示されている「フィルムローディング」をタッチします。



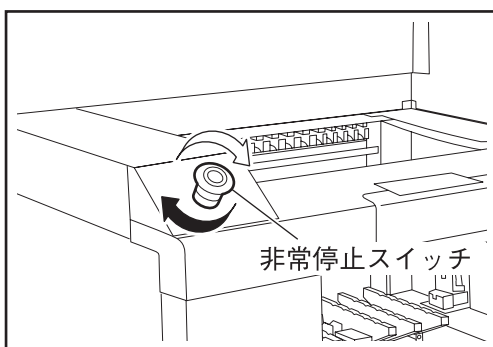
17. ローディングが完了したら、本機正面左側にある非常停止スイッチを押します。



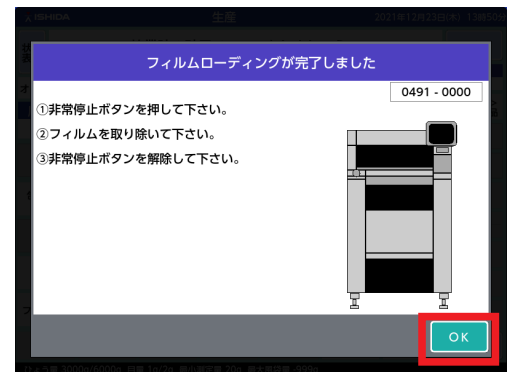
18. 包装機上にあるフィルムを取り除きます。



19. 非常停止スイッチを解除します。



20. フィルムロール交換画面に表示されている「OK」をタッチします。



風袋重量の考え方

風袋とは？

パック商品の総重量は商品の正味重量と、商品を引き立てる飾り物や、商品に付属している醤油などの調味料および、フィルム、トレーの重量から構成されています。これらの内、商品の正味重量以外の全ての重量をまとめて、「風袋」と呼びます。

商品の正味重量を計算するために、本機では風袋を以下のように考えています。
総風袋は、通常画面で商品呼び出したときに画面に表示されます。

総風袋 = **トレー重量 + フィルム重量**

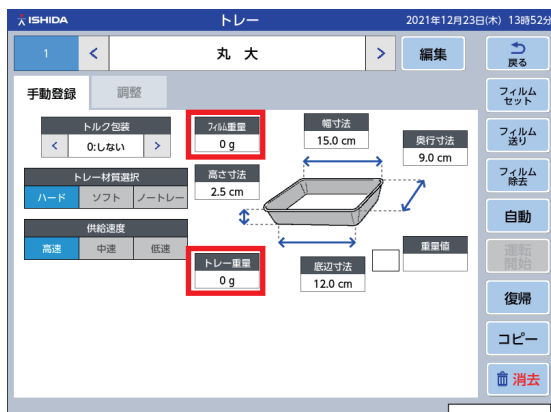
+ **副材重量**

（
・わさび
・醤油
・たれ
・飾り物 など
）

<トレー重量 + フィルム重量>

トレー毎に重さの定まった風袋なので
トレーデータに登録します。

4-27P「トレー登録」参照



<副材重量>

商品によって内容が変わる風袋なので
商品データに登録します。

4-3P「商品登録」参照



- 2箇所にも風袋登録を行うことで、同一商品でトレーサイズを変更した場合にも自動的に正味重量が計算されます。

- 包装・値付時と値付時では、表示される風袋重量が違います。

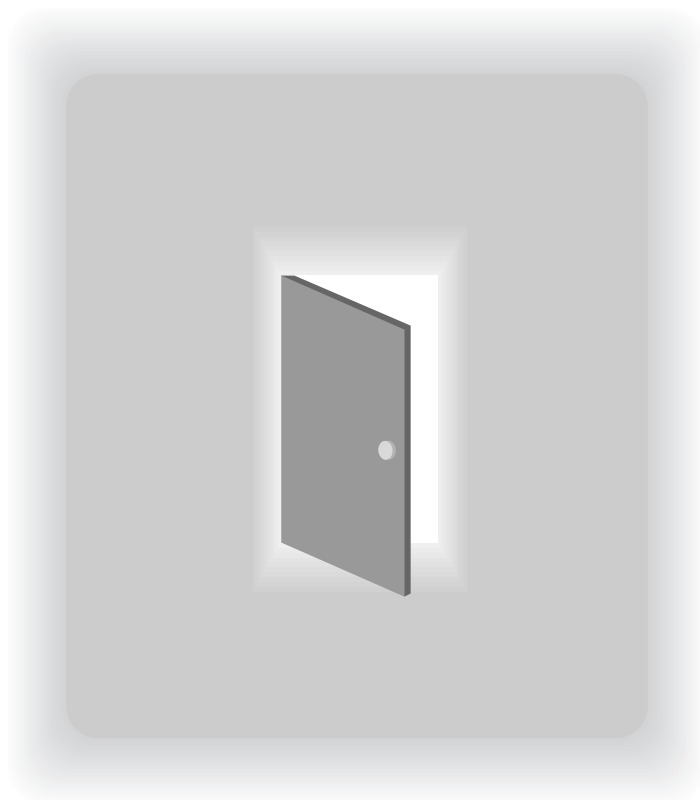
包・値 → 風袋 = トレー重量 + 副材重量

値付 → 風袋 = 総風袋 = (トレー重量 + フィルム重量) + 副材重量

仕様

●タイプ		WM-AI VF UNタイプ(プリンターなし仕様)
●計量部	秤量	6000g(6kg)
	目量	0g~3000g/1g 3000g~6000g/2g
	最小測定量	20g
	計量精度	1/3000(Ⅲ級)
●表示操作部	表示方式	12.1inch TFTカラー液晶タッチパネル 800×600ドット (SVGA)
	テンキーユニット 辞書機能	20キー 約50000語
	登録数	最大約30000アイテム ※可変長のため、他の項目の登録数により増減します。
●包装部	包装可能質量	10~3000g(3kg)
	包装速度	18パック/分 (MAX) ※ヒートシールOFFの場合 15パック/分 (MAX) ※ヒートシールONの場合
	包装サイズ	幅 80~350mm 奥行 80~250mm 高さ 10~170mm (トレイ高さ70mmまで)
	フィルム寸法	350, 400, 450, 500mm (機械巻1000m/1200m)
	使用フィルム	塩化ビニール、ポリオレフィン機械巻用
●その他	電源・消費電力	単相/3相 200V 1.8kW
	使用環境	温度 5~35℃ 湿度 20~85% (結露なきこと)

- 対象物の形状その他の条件により、上記包装サイズ内であっても包装、及び自動認識できないものもあります。
- 外観・仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。



第2章

基本的な使いかた

通常モードの画面説明

初期画面の表示欄について

■計量画面

商品名、産地名、POP、レジコード、コメント表示欄

重さ表示欄

100g単価表示欄

値段表示欄

内部時計表示欄

ゼロ表示欄
(ハカリのゼロ点補正をすると「ゼロ」と表示されます。)

呼出No.表示欄

風袋表示欄

下限金額表示欄

上限金額表示欄

トレーNo.表示欄

ヒーター温度表示欄

■定額画面

定重量表示欄

定金額表示欄

定額個数・記号表示欄

下限重量表示欄

上限重量表示欄

初期画面のタッチキーについて

■計量画面

挿入されたUSBメモリの状態を表示します。

インライン/オフラインの切り換えができます。(通常: オフライン)

メインメニューが表示されます。

数値入力後タッチするとデータ変更ができます。そのままタッチすると「商品一覧」画面が表示されます。

前後の呼出No.の商品に切り替えます。

数値入力後タッチするとデータ変更ができます。

包装モードを切り換えます。

ポップアップメニューが表示されます。

数値入力後タッチするとデータ変更ができます。そのままタッチすると「トレー一覧」画面が表示されます。3-10ページ参照

メインファンクションキー
3-22ページ「ファンクションキーの便利機能」参照

■定額画面

数値入力後タッチするとデータ変更ができます。そのままタッチすると「定額記号一覧」画面が表示されます。

数値入力後タッチするとデータ変更ができます。そのままタッチすると「上下限重量」画面が表示されます。

数値入力後タッチするとデータ変更ができます。

計量・包装をします

WM-AI VF は、計量・包装作業のほかに、商品によって包装のみの作業も可能です。

包装のみの作業

【例】商品の呼出 No.5 に登録されている「ポテトサラダ」を包装だけ行います。

注意

タッチパネルは指で軽く押してください。爪の先やシャープペンシルなどの先のとがったもので押すと、タッチパネルに破損が生じます。



商品の搬送を手動で行う場合は、「自動」をタッチして「手動」を表示しておきます。



包装のみの作業は、10g 以上の商品から作業できます。

注意

使用するトレーが表内にはない時は、トレー No. を表内に入力してください。



「空欄タッチ」

注記

トレーは必ず計量テーブルの手前中央に置くようにしてください。左右にずれていたり、斜めになっているとトレーを正しく認識できない場合があります。

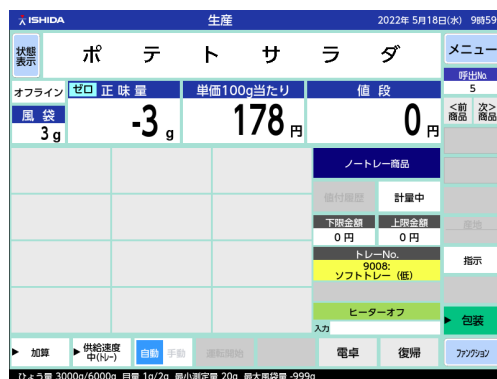


手順 2 で、運転モードを「手動」に設定している場合は、「運転開始」をタッチすることにより商品の計量安定後、動作が開始されます。

1. 初期画面の状態から、商品の呼出 No. を入力します。



画面に「ポテトサラダ」の品名などの商品データが呼び出されます。

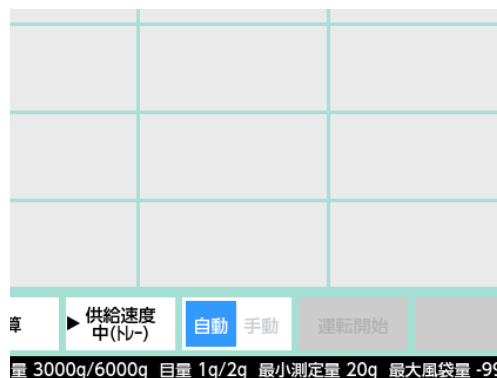


2. 運転モードの表示を「自動」に切り換えます。

自動 手動

ファンクションキーの表示部をタッチすると、「自動」→「手動」の順に切り換わります。

通常は「自動」が表示されています。



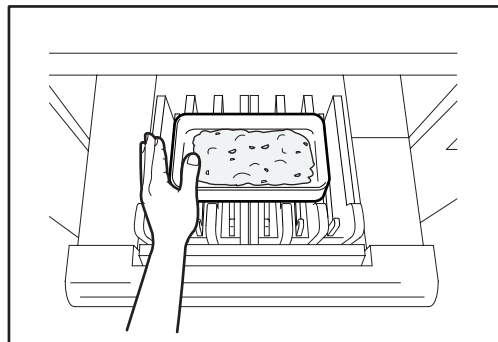
3. 売価表に使用するトレー No. が登録されていることを確認します。

あくまでも使用トレーが確定するまでに必要なオペレーションであり、確定後はトレー No. を意識することなく、作業が行えます。



4. 商品を計量テーブルの手前中央に載せます。

商品が計量後、リフト部に移動されます。



警告

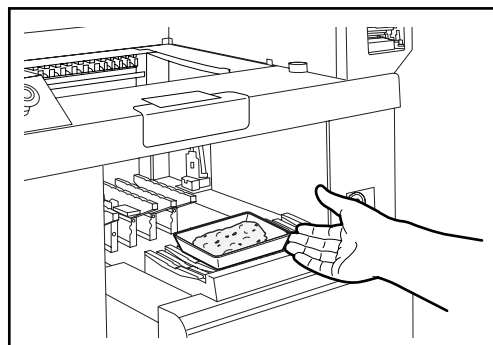
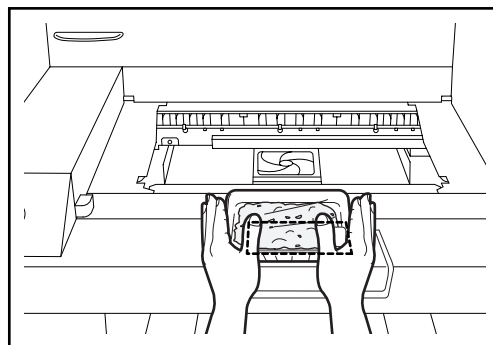
一旦、計量テーブルに商品を載せたあとは手を触れないでください。商品を載せた後、供給部に手を入れると自動的にテーブルが作動し、手などをはさみ込みます。

**参考**

排出された商品を取り除かないと、次の商品は搬送されません。10秒以上残っている場合、エラーメッセージが表示されます。

5. 続けて商品を投入します。

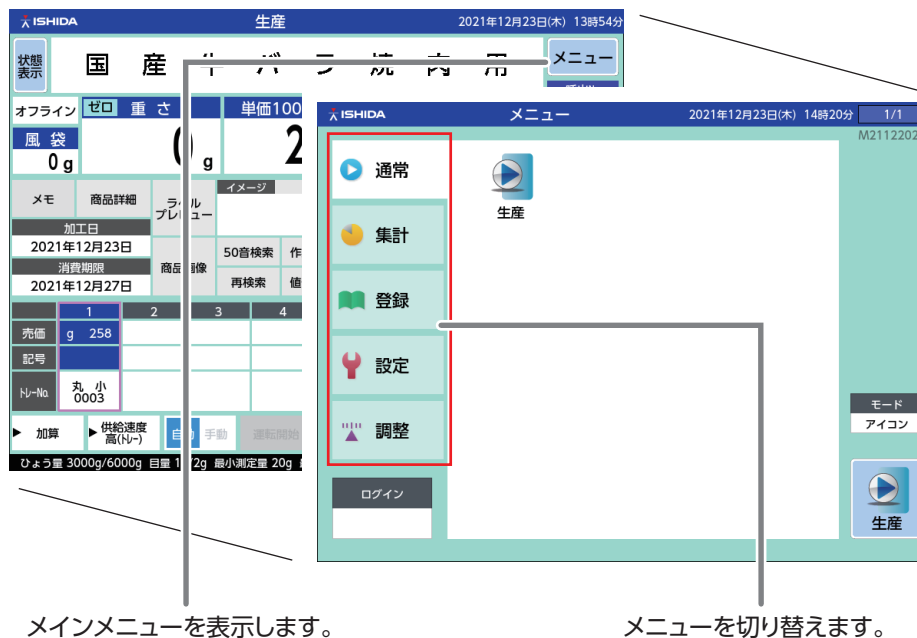
次の商品を計量テーブルに投入すると、前の商品が包装後、排出されてラベルが発行されます。同時に、後で投入した商品が計量されてリフト部に移動されます。

**6. 商品底部をフラットヒーターに押し当て、フィルムを溶着させます。**

メインメニューの表示方法

本機の設定や調整、各種データの登録は、メインメニューからメニューを切り替えて実行します。

メインメニューの表示と切替



1. 通常モードの初期画面から「メニュー」をタッチします。

メインメニュー画面が表示されます。



2. 画面左側のメニューボタンをタッチして、メニューを切り替えます。

各モードのメニュー一覧が表示されます。











参照
各モードに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号(4~6桁)入力後、「ログイン」をタッチします。暗証番号の設定はP7-3「暗証番号設定」を参照してください。

文字入力のかた

ここでは、商品名登録を例に文字入力のかたを説明します。
 (文字登録画面は、各項目共通ですが用途の違いにより使えないキーがあります。)



キー表示	はたらき
文字入力キー	入力切替キーの設定によって、キーの表示内容は異なります。
	アルファベット入力
	数字入力
	かな入力
	記号入力
	「が」「ぎ」「ぐ」「げ」などの入力
	「ぱ」「ぴ」「ぷ」「ぺ」などの入力
	長音の入力
	スペースの入力
入力切替キー	文字の入力方法や内容を切り換えるときに使用します。
	入力方法を切り替えます。 ローマ字ひらがな / ローマ字カタカナ / ひらがな / カタカナ / 英記号 / JIS コード
	かな、アルファベットの大文字 / 小文字入力を切り換えます。
	文字の全角 / 半角 / 半角英数入力を切り換えます。
	内容の大文字 / 小文字 / 原材料入力を切り換えます。
	挿入は表示欄のカーソルの位置に文字を挿入し、選択は変更する範囲を指定します。
	文字飾りを指定します。 飾りなし / 強調 / 反転 / 下線 / 枠囲み

キー表示	はたらき
	カーソル位置の後ろの文字を1つずつ削除します。
	カーソル位置の前の文字を1つずつ削除します。
	カーソル位置で改行します。
	他の呼出 No. に登録されている内容をコピーして、新しい項目を作成します。
	カーソルを移動します。また、文字変換候補の選択にも使用します。
	行頭、行末にカーソルを移動します。
	入力、変換した文字を確定します。
	入力中の文字を変換します。

【例】あらかじめ登録されている商品名「牛肉ステーキ用」を使って「オーストラリア産 牛肉ステーキ」を入力する場合

▲ 注意

新規で登録する場合は、手順2～4をとばしてください。

1. 新規で登録する呼出 No. を入力します。



入力した呼出No.が表示されます。

ISHIDA		商品詳細				
呼出No.	1234	Q	W	E	R	T
登録文字数	000	A	S	D	F	G
現在の段数	001	=	Z	X	C	V
▶ローマ字ひらがな						

2. ベースになる商品名を呼び出します。

コピー元の商品呼出No.
(1~999999)



コピーの実行確認画面が表示されます。

実行 を押すとコピーが行われます。

ISHIDA		商品詳細				
牛肉ステーキ用						
呼出No.	1234	Q	W	E	R	T
登録文字数	007	A	S	D	F	G
現在の段数	001	=	Z	X	C	V
▶ローマ字ひらがな						
あ・A		あ・a	¥	\$	%	& !



参考

確定していない文字は、**文字消去** を押すと全て削除されます。

また **左削除** を押すとカーソルの1つ手前の文字を消すことができます。

3. 文字を削除します。



削除する文字にカーソルを合わせ、

削除 をタッチします。

ISHIDA		商品詳細				
牛肉ステーキ						
呼出No.	1234	Q	W	E	R	T
登録文字数	006	A	S	D	F	G
現在の段数	001	=	Z	X	C	V
▶ローマ字ひらがな						
あ・A		あ・a	¥	\$	%	& !



参考

文字列を直接タッチしてカーソル位置を指定することもできます。

4. 文字を挿入する位置にカーソルを合わせます。



挿入する位置にカーソルを合わせ、**挿入** が選択されていることを確認します。

選択 が選択されている場合は、**挿入** をタッチし、表示を **挿入** に切り換えます。

ISHIDA		商品詳細				
牛肉ステーキ						
呼出No.	1234	Q	W	E	R	T
登録文字数	006	A	S	D	F	G
現在の段数	001	=	Z	X	C	V
▶ローマ字ひらがな						
あ・A		あ・a	¥	\$	%	& !

5. 半角のカタカナを入力します。

商品名表示欄下部に「オーストラリア」と表示されます。

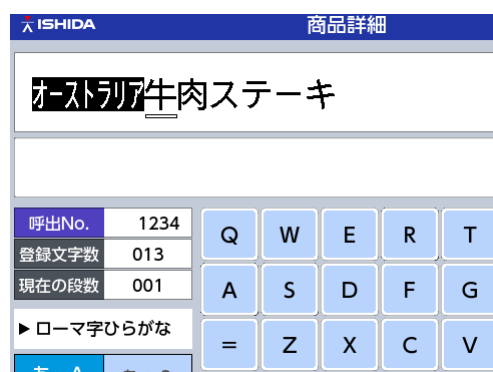
半角文字入力する場合は、**全角** **半角** **半英数** の **半角** をタッチして、入力を切り換えます。
反転文字を入力する場合は、**▶飾りなし** をタッチして、プルダウンメニューから **▶反転** を選択して切り換えます。




6. 入力した文字を確定します。



入力した文字が正しければ、**確定** をタッチします。
画面上部の商品名表示欄に「オーストラリア」と表示されます。

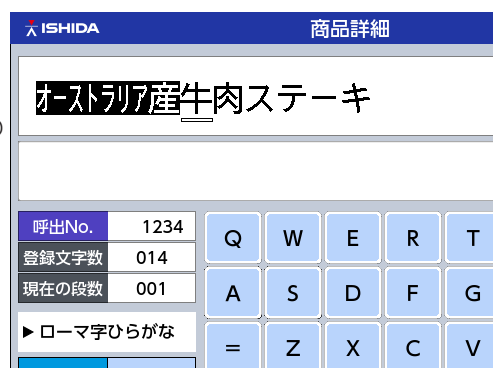


正しく漢字が変換されない場合は、正しく変換されるまで **変換** をタッチしてください。

変換候補群は、 にて切り換えます。

7. 全角の漢字を入力します。

全角漢字を入力するので、**全角** **半角** **半英数** の **全角** をタッチして、入力を切り換えます。
商品名表示欄下部で入力、変換した文字を確認して、**確定** をタッチします。
商品名表示欄上部に「産」と表示されます。

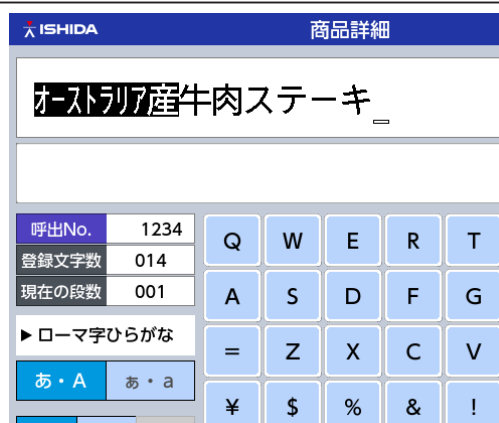


【例】続けて原材料「アミノ酸」を2段目に入力します。

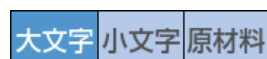


文字列を直接タッチしてカーソル位置を指定することもできます。

8. 反転文字を解除し、カーソルを最後の文字の後に移動します。



9. 「原材料」をタッチし、原材料に変更します。



10. 「改行」をタッチしてカーソルを2段目に移します。




11. 原材料名を入力します。

原材料名の入力方法については前述の商品名入力の方法と同様です。

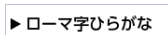
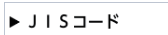
12. 商品詳細（商品名登録）画面の「戻る」をタッチします。

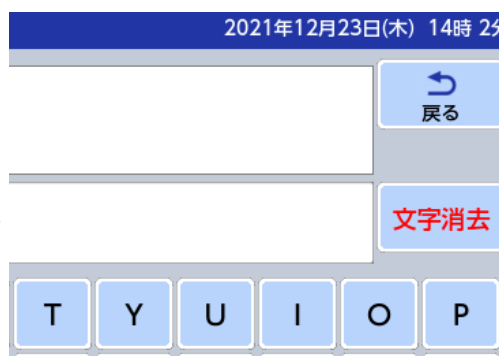
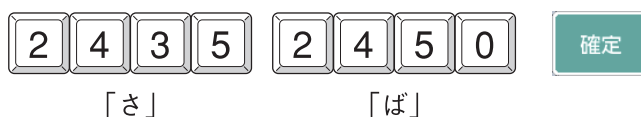


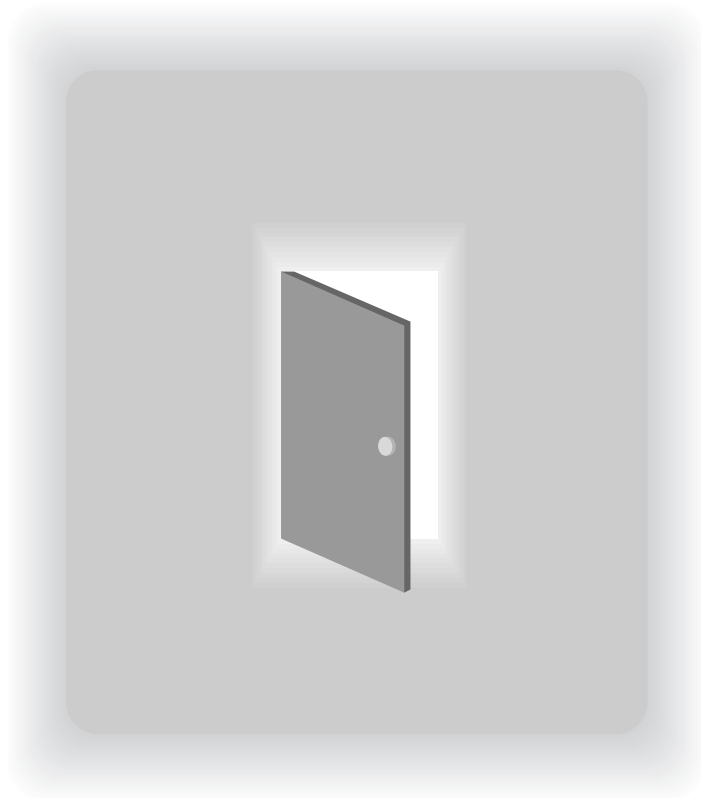
データ保存の実行確認画面が表示されます。
 をタッチするとデータが保存され、商品データ登録画面に戻ります。

●JISコードによる文字入力も可能です

【例】JISコードで「さば」と入力します。

JIS入力する場合は、文字入力の前に  をタッチしてプルダウンメニューから  を選択します。



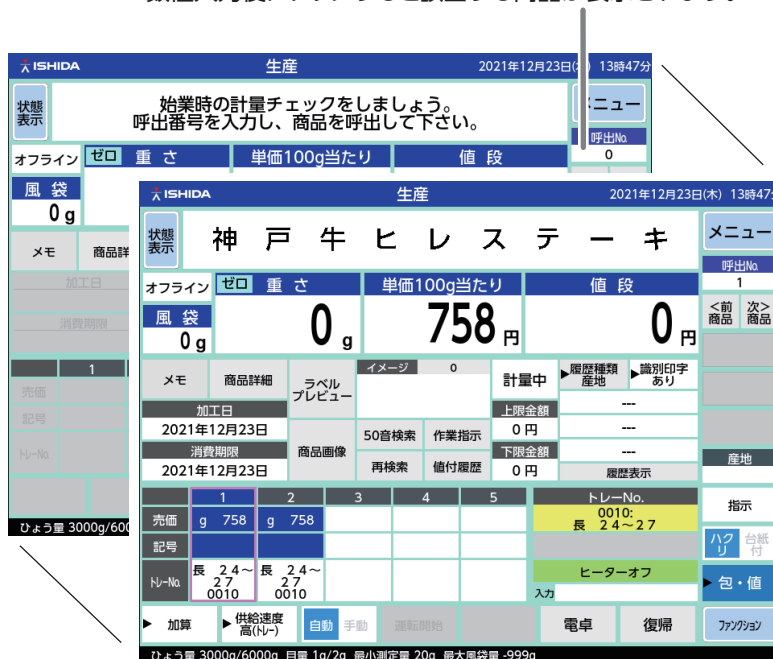


第3章

こんなこともできます

呼出 No. を入力して呼び出します

数値入力後にタッチすると該当する商品が表示されます。



【例】はっきりと覚えていない呼出 No. 「？」の国産牛バラ焼肉用を呼び出す場合



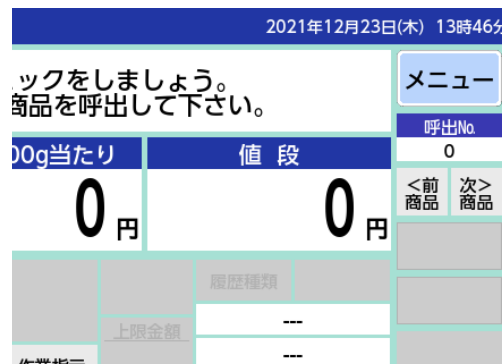
商品呼出は「置数 + 呼出」でも行えます。



1. 「これくらいかな？」と思われる呼出 No. を入力し、「呼出 No.」をタッチします。



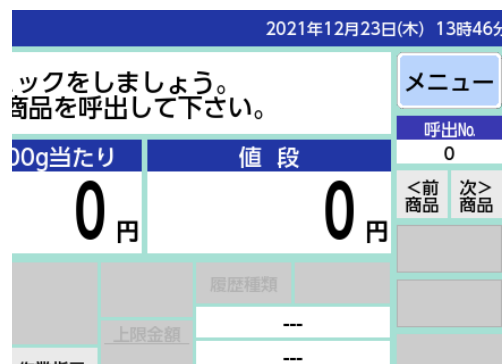
入力した呼出 No. の商品が呼び出されます。



2. 「<前 商品> または 「次> 商品」をタッチします。



呼び出されている商品の前または後の呼出 No. の商品が呼び出されます。



商品一覧から商品データを呼び出します

そのままタッチすると、商品一覧画面が表示されます。



【例】 呼出 No.5 の「国産牛バラ焼肉用」の商品データを呼び出します。

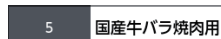
1. 「呼出 No.」 をタッチします。



商品一覧画面が表示されます。



2. 呼び出したい商品をタッチして選択します。



自動的に生産画面に戻り、呼び出された「国産牛バラ焼肉用」の商品データが表示されます。



商品呼出は「置数 + 呼出」でも行えます。



一覧の右側に灰色のスクロールバーが表示されている場合は、スクロールバーをタッチして一覧をスクロールすることができます。

商品を検索して呼び出します

登録されている商品から、呼び出したい商品名に含まれる文字列をキーワードとして検索し、呼び出すこともできます。

1. 「呼出 No.」 をタッチします。

呼出No.
0

商品一覧画面が表示されます。

生産		2021年12月23日(木) 13時55分	
チェックをしましょう。 商品と呼出して下さい。		メニュー	
呼出No.		0	
100g当たり	値段	<前商品>	>次商品
0円	0円		
履歴種類			
上限金額	---		
作業指示	---		
下限金額	---		

2. 「検索文字列表示欄」 をタッチします。

検索文字列

文字入力画面が表示されます。

5	国産牛ハーフ焼肉用	
6	国産牛カレーシチュー用	
7	豚バラスライス	
8	豚肩スライス	
9	豚モモスライス	
10	豚ロースしゃぶしゃぶ用	
検索文字列		検索



文字入力の方法については、2-11P「文字入力のしかた」を参照してください。

3. 検索したい文字列を入力し、「戻る」をタッチします。

戻る

商品一覧画面に戻ります。

商品一覧：検索文字列編集		2021年12月23日(木) 14時4分									
戻る		文字消去									
呼出No.	1	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P
登録文字数	000	A	S	D	F	G	H	J	K	L	~
現在の段数	001	=	Z	X	C	V	B	N	M	@	_
ローマ字ひらがな		¥	\$	%	&	!	?	()	"	:
あ・A	あ・a	SP	-	+	*	/
全角	半角	半英数									
大文字	小文字	原材料									
挿入	選択	削除	左削除	改行	確定						
<<	<	>	>>	コピー	変換						

4. 商品一覧画面で「検索」をタッチします。

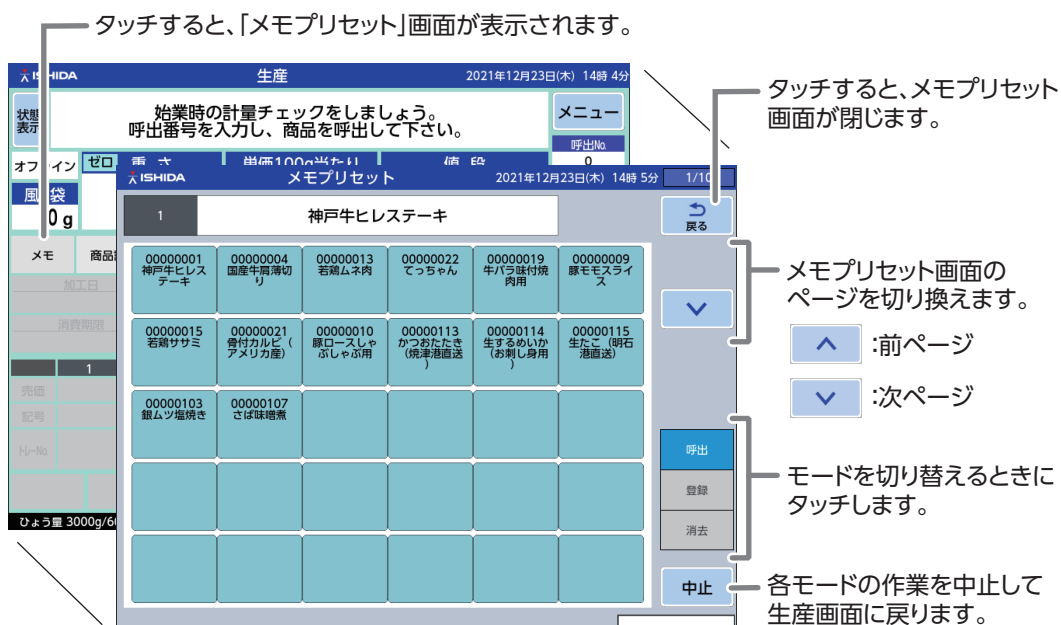
検索

入力した文字列を含む商品の一覧が表示されます。
一覧表示の中から呼び出したい商品を選択します。

5	国産牛ハーフ焼肉用	
6	国産牛カレーシチュー用	
7	豚バラスライス	
8	豚肩スライス	
9	豚モモスライス	
10	豚ロースしゃぶしゃぶ用	
検索文字列	国産	検索

メモプリセットキーから商品データを呼び出します

よく呼び出す商品名をメモプリセットキーに登録して、効率よく作業を進めることができます。



メモプリセットキーを登録します

【例】画面の上に呼び出されている呼出 No.1 の「国産牛ヒレステーキ」をメモプリセットキーに登録します。

1. 登録したい商品が呼び出されている画面で、「メモ」をタッチします。



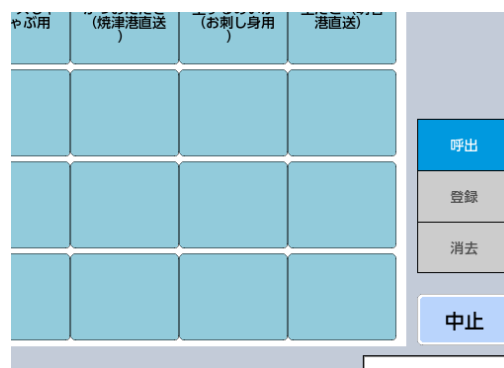
「メモプリセット」画面が表示されます。



2. 「登録」をタッチします。



メモプリセット登録モードに切り替わります。



注意

すでに登録済みのメモプリセットキーをタッチすると、上書きされます。



置数+メモプリセットキーにより、登録することもできます。

3. 「メモ」 をタッチします。



メモプリセットキーが登録されます。

00000015 若鶏ササミ	00000021 骨付カルビ (アメリカ産)	00000010 豚ロースしゃぶしゃぶ用	00000113 かつおたたき (焼津港直送)
00000103 銀ムツ塩焼き	00000107 さば味噌煮		

メモプリセットキーを使って商品呼び出します

【例】「国産牛ヒレステーキ」をメモプリセットキーを使って呼び出します。

1. 「メモ」 をタッチします。



「メモプリセット」画面が表示されます。

ISHIDA 生産

状態表示 始業時の計量チェックをしましょう。呼出番号を入力し、商品と呼出して下さい。

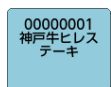
オフライン ゼロ 重さ 単価100g当たり 値

風袋 0g 0g 0円

メモ	商品詳細	ラベルプレビュー	イメージ	履歴種
加工日				上限金額
消費期限		50音検索	作業指示	下限金額
	商品画像	再検索	値付履歴	

1 2 3 4 5 ト

2. 「神戸牛ヒレステーキ」が登録されているメモプリセットキーをタッチします。



自動的に生産画面に戻り、「国産牛ヒレステーキ」の商品データが表示されます。

神戸牛ヒレステーキ	国産牛肩薄切り	若鶏ムネ肉	てっちゃん	牛バラ豚肉用
00000015 若鶏ササミ	00000021 骨付カルビ (アメリカ産)	00000010 豚ロースしゃぶしゃぶ用	00000113 かつおたたき (焼津港直送)	00000113 生するめ (お刺し)
00000103 銀ムツ塩焼き	00000107 さば味噌煮	00000001 神戸牛ヒレステーキ		

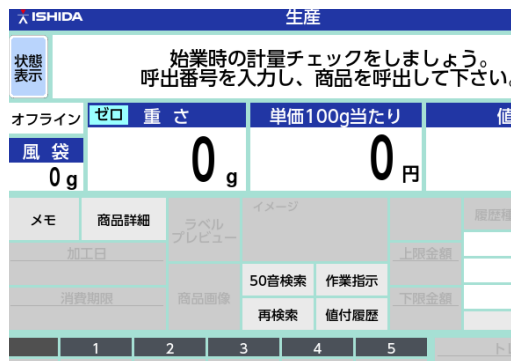
メモプリセットキーを消去します

【例】メモプリセットキーに登録された「国産牛ヒレステーキ」を消去します。

1. 「メモ」をタッチします。

メモ

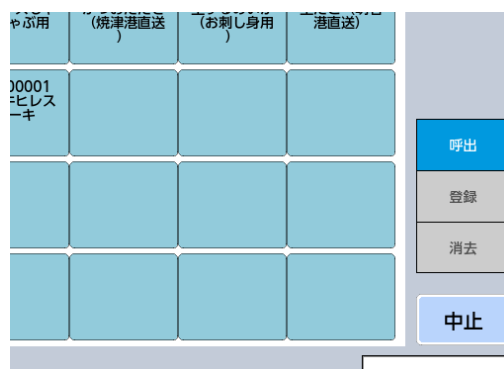
「メモプリセット」画面が表示されます。



2. 「消去」をタッチします。

消去

メモプリセット消去モードに切り替わります。



3. 「神戸牛ヒレステーキ」と表示されたメモプリセットキーをタッチします。

0000001
神戸牛ヒレ
ステーキ

メモプリセットキーの表示が消去され、ブランクになります。



商品データを変更、追加します

作業中に、登録されている商品データの一部を変更したい場合は、以下の手順にしたがって操作してください。ここでは、単価（定金額）、トレーの変更、追加、値引きのしかたについて説明します。

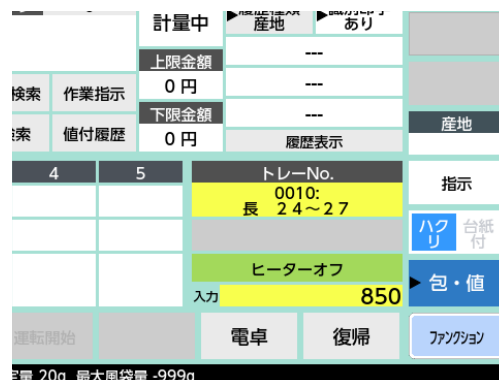
100g 単価を変更します

【例】100g 単価を 798 円から 850 円に変更します。

- 商品が呼び出されている画面で変更したい金額 850 円をテンキーにて入力します。



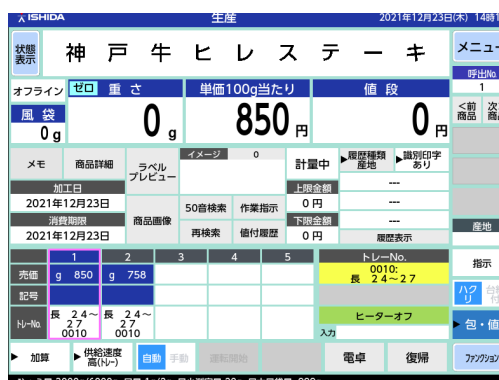
画面右下の数値入力欄に 850 と表示されます。



- ストロークキーの「単価」を押します。



単価が 798 円から 850 円に変わりました。



テンキー入力後、タッチキーの単価欄をタッチして単価を変更することもできます。



定額商品の場合は、**定額** を押します。



- 単価商品を定額商品に変更するときは、数値（定金額）入力後、**定額** を押します。
(単価をそのまま定金額に変更する場合は、数値入力の必要はありません。)

- 定額商品を単価商品に変更するときは、数値（単価金額）入力後、**単価** を押します。
(定金額をそのまま単価に変更する場合は、数値入力の必要はありません。)

売価表のトレー欄にトレー No. を入力します

トレーには、それぞれ番号が付けられており、番号毎にトレーの名称や大きさ、重さなどの情報が管理されています。売価表には5種類までトレー番号を登録しておくことができます。売価表のデータを使用してトレー自動認識を行うため、使用するトレーは全て入力しておいてください。

【例】売価表2に「トレー No.1」を入力します。

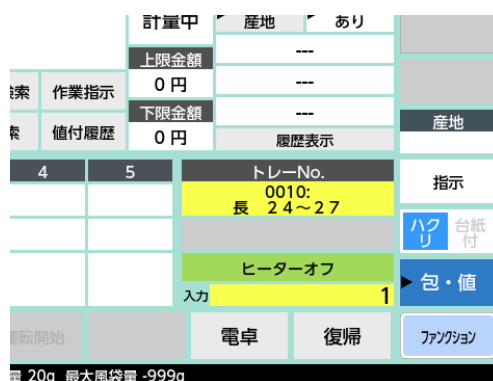


「トレー登録」については、4-27ページ参照

1. 商品が呼び出されている画面でトレー番号1を入力します。

1

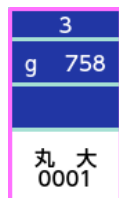
画面右下の数値入力欄に「1」と表示されます。



▲ 注意

トレー No. 入力後、単価（定額）を入力しない場合は、「売価1（売価表左端）」の売価を参照します。

2. 売価表3のトレー欄をタッチします。



売価表の売価欄に売価を入力します

売価表に単位・定金額を入力することにより、複数売価の運用が可能になります。

【例】売価表3に「定金額 980円」を入力します。

1. 商品が呼び出されている画面で980円を入力します。



画面右下の数値入力欄に「980」と表示されます。

2. 売価表3の下の売価欄をタッチします。

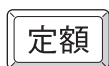


g 980 と表示されます。



数値入力時には、売価表1に登録された計量モード（単価または定金額）にて設定されます。

3. 表示を定金額に切り換えます。



g 表示が消え、定金額に変わります。

トレー一覧画面でトレーを変更します

ここでは、使用したいトレー No. がわからない場合、生産（トレー一覧）画面からトレーを変更するしかたについて説明します。

トレーを飛ばずにトレー一覧画面を閉じるときにタッチします。

No.	トレー名	幅(cm)	奥行き(cm)	高さ(cm)	トレー	風袋(g)	フリス(g)
1	丸 大	15.0	9.0	2.5	ハード	0	0
2	丸 中	33.0	10.0	2.0	ハード	0	0
3	丸 小	20.0	12.0	3.0	ハード	0	0
4	丸 1/2	28.0	21.0	2.5	ハード	0	0
5	丸 1/4	16.0	16.0	7.0	ハード	0	0
6	丸 1/4角あり	17.0	12.0	7.0	ソフト	0	0
7	長 10~23	20.0	7.0	7.0	ノートレー	0	0
8	長 10~23太	15.0	13.0	4.0	ノートレー	0	0
9	長 10~23細	18.0	18.0	13.0	ノートレー	0	0
10	長 2.4~2.7	15.0	10.0	7.0	ノートレー	0	0

トレー No. 長 2.4~2.7 0010

1 トレー一覧画面が表示されます。

- 商品が呼び出されている画面で「売価表のトレー欄」をタッチします。



生産（トレー一覧）画面が表示されます。

- 使用するトレー表示欄をタッチします。



自動的に生産画面に戻り、トレー No. 表示欄に「1」と表示されます。

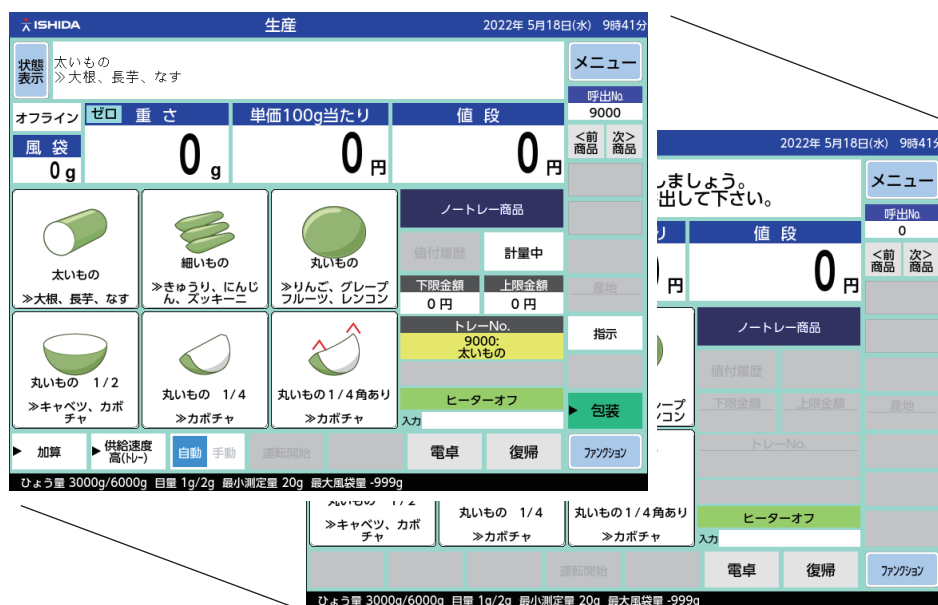


トレー呼出は「トレー No. 入力+呼出」でも行えます。

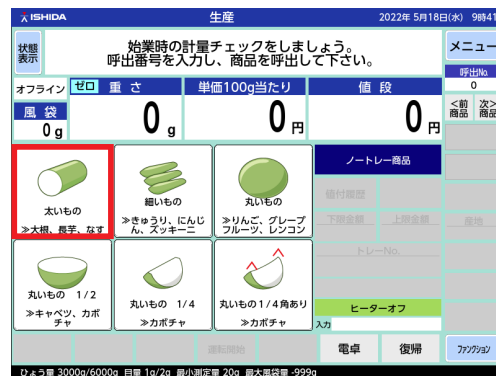


青果物のイメージ一覧でトレー（包装形状）を変更します

ここでは、青果物を包装する際にイメージ一覧から包装形状を変更するしかたについて説明します。商品名に包装形状名称を登録して運用します。



1. 包装形状キーをタッチします。



2. 選択した包装形状名称が表示されます。



上下限金額を設定します

商品販売金額の上限および下限値を設定し、計量時の販売金額がその範囲内であれば、包装・値付作業をスタートします。

※計量商品のみのみ



数値入力後にタッチすると、
上限金額/下限金額がセットされます。

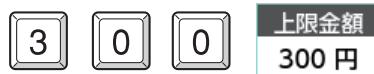


計量前に上下限金額入力欄の上の「計量中」をタッチすると、表示が「無効」になり、一時的に上下限金額を無視して作業ができます。



1. 上限金額 / 下限金額を入力し、入力欄をタッチします。

【例】 上限金額に 300 円を設定する場合

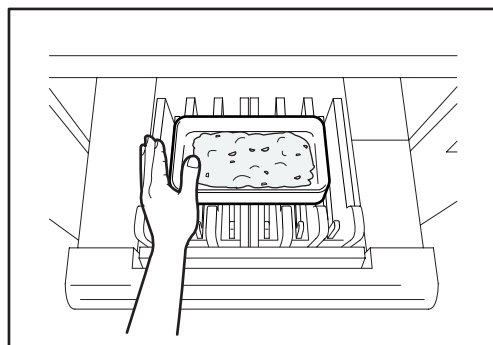


設定金額が入力されます。



2. 商品を計量テーブルの手前中央に載せます。

商品が計量され、計量後の金額が設定範囲内の場合のみ、リフト部に移動されます。



注記

トレーは必ず計量テーブルの手前中央に置くようにしてください。左右にずれていたり、斜めになっているとトレーを正しく認識できない場合があります。

計量結果は、以下のように表示されます。



金額が不足



金額が範囲内



金額が超過

ファンクションキーの便利機能

WM-AI VF は、数多くのファンクションが搭載されています。本紙では納品時には設定されていないキーを含めて説明しています。また、ファンクションキーの位置はご使用方法に合わせて、変更されている場合があります。(未設定キーのご使用に際しては、イシダサービスマンにご相談ください。)

ファンクションキーを使った便利な機能について説明します。

呼び出した商品に対して各操作を行ってください。


数値ファンクションキー

ポップアップファンクションキー
メインファンクションキーに表示できないファンクションキーが配列されています。

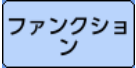
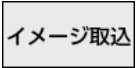

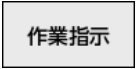
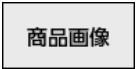
ポップアップ画面が表示されます。
もう一度タッチすると閉じます。

■ファンクションキーの説明

ファンクションキー	はたらきと使いかた
神戸牛ヒレステーキ	・タッチすると指定した商品呼び出します。
電卓	・タッチすると「電卓」画面が表示されます。
定単価	・タッチすると「定単価」モードに切り換わります。 注 記 : 使用法は「単価」キー、「定額」キーと同様ですが、運用についてはイシダサービスマンにご相談ください。
エラーログ	・タッチすると「エラーログ」画面が表示されます。
履歴表示	・タッチすると「履歴」画面が表示されます。 ・過去に生産した商品をタッチで呼び出すことができます。
ロット英数字	・タッチすると、ロット英数字を入力する画面を表示します。
個体・ロット・産地1	・タッチすると、個体1～3No、ロット1～3、産地3履歴を表示します。
重量チェック	・タッチすると「上下限重量」画面が表示されます。
指示	・タッチすると「生産数設定」画面が表示されます。 ・商品ごとに生産数を決めて作業するとき使用します。

ファンクションキー	はたらきと使いかた
直消去	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、直前に包装機内に供給された商品（リフト部）、あるいはラベルを貼り付けられた商品（排出部）の実績を消去します。 ・リフト部、排出部それぞれに商品がある場合は、商品を限定するための「直消去」画面が表示されます。
品消去	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、画面に表示中の商品を対象に呼出後に生産された実績をすべて消去します。
清掃準備	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると「清掃モード」画面が表示されます。 ・本機の清掃前にタッチしてください。
包装・温度調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーター温度調整、フィルムの張り調整する際に使用します。
フィルム除去	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、フィルム除去動作が開始されます。
リフト上昇	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、リフトが上昇位置まで上昇します。
リフト寸動	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、リフトが上限位置内で上方向に寸動します。 <p> 警告 : リフト寸動中は、包装機内に手などを入れないでください。</p>
ブレーキ開放	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、リアユニット部のブレーキが開放され、前後に手で動かせるようになります。
フィルム開放	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、「フィルム開放」画面が表示されます。 ・フィルムロールにフィルムを巻き戻すことができます。（異常時の対策）
逆動作	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、供給テーブルが逆方向に寸動します。
フィルム巻付き除去	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、「フィルム巻付き除去」方法の説明画面が表示されます。
保持なし	<ul style="list-style-type: none"> ・当日中、価格を保持できる機能の設定有無を切替えます。 <p><u>注 記</u> : 設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。</p>
受信	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、事前に設定したマスターデータを受信します。 <p><u>注 記</u> : 設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。</p>
送信	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、事前に設定したマスターデータを送信します。 <p><u>注 記</u> : 設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。</p>
終了	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、ラベル発行実績を上位に送信し、当日分の実績を消去します。 <p><u>注 記</u> : 設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。</p>
50音検索	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると「50音検索」画面を表示します。



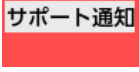

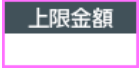


ファンクションキー	はたらきと使いかた
単語更新	・タッチすると、単語を更新します。
再検索	・タッチすると「再検索」画面を表示します。
POP発行	・タッチすると「POP発行」画面を表示します。 <u>注 記</u> ：設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。
本部連絡	・タッチすると、本部からの連絡データを表示します。 <u>注 記</u> ：設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。
実績送信	・タッチすると、本部へ実績データを送信します。 <u>注 記</u> ：設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。
値付履歴	・タッチすると「値付履歴」画面を表示します。
前商品	・タッチすると、呼出中の商品の1つ前の商品呼び出します。
後商品	・タッチすると、呼出中の商品の1つ後の商品呼び出します。
単語リンク	・タッチすると、50音検索に使用する単語リンクマスタを更新し、検索機能を向上させます。
原材料編集	・タッチすると「原材料編集」画面を表示します。
フィルムセット	・タッチすると、フィルムがセットされます。
フィルム送り	・タッチすると、フィルムが送り出されます。
メモ	・タッチすると「メモプリセット」画面が表示されます。
ガイド表示欄	・タッチすると、生産（ラベル発行）累計を表示します。
上ページ	・タッチすると、表示中のプリセット一覧のページの1つ上、または1つ下のページに切り替えます。
下ページ	
グループジャンプ	・タッチすると、設定したプリセット一覧のグループに切り替えます。
ページジャンプ	・タッチすると、設定したプリセット一覧のページに切り替えます。

ファンクションキー	はたらきと使いかた
	・タッチすると「プリセットキー」画面が表示されます。
	・タッチすると、USB メモリーなどから画像ファイルを取り込みます。
	・タッチすると「実績修正」画面を表示します。
	・タッチすると「作業指示」画面を表示します。
	・タッチすると「商品画像」画面を表示します。

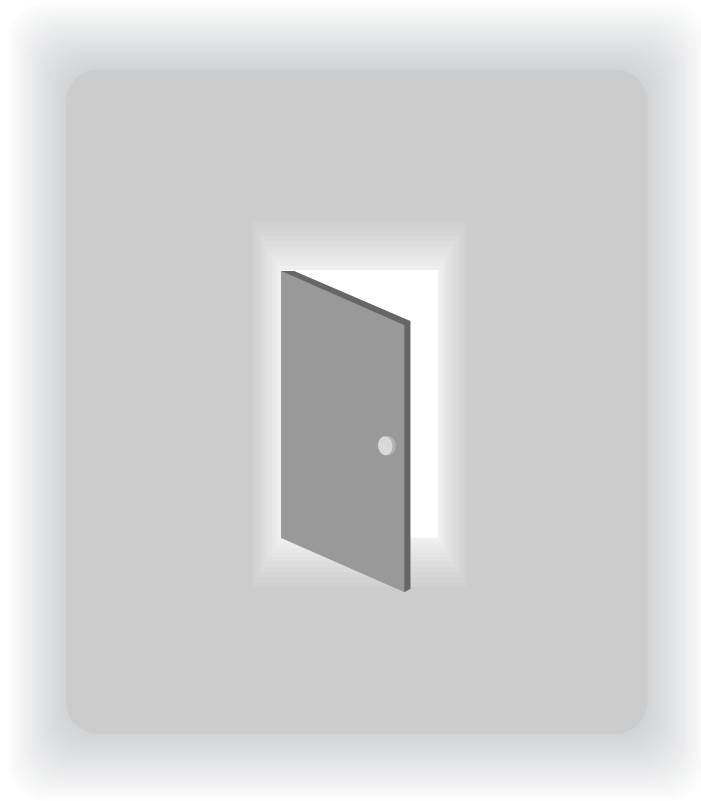
■数値ファンクションキーの説明

各設定を解除する場合は、「0」を入力してからタッチします。

ファンクションキー	はたらきと使いかた
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">加工日</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">消費期限</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、加工日・消費期限を設定できます。 ・そのままタッチすると「加工日・消費期限」画面が表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">キーロック</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・パスワードに設定した数値入力後にタッチすると、キーロックを解除することができます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">自動</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、ラベルの発行タイミングを設定できます。 <p>自動： 計量安定により、動作が開始されます 手動： 計量安定後に、「印字」キーを押すことで、動作が開始されます。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">リスト呼出</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、「商品一覧」画面を表示し、一覧から商品呼び出します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">加算</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、呼出中の商品に対する集計に加算します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">下限値 g</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">上限値 g</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、重量の下限値・上限値を設定できます。 ・そのままタッチすると「下限値・上限値」画面が表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">部門No.</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、部門 No. を設定できます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">店No.</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「店切替あり」設定時のみ入力可能です。 ・数値入力後にタッチすると、店 No. を設定できます。 <p>注 記：「店切替あり」設定時のみ入力可能です。この場合「0」入力による解除はできません。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">生産数</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると、商品呼出した時点からの生産数を表示します。商品を再呼出すると、「0」に戻ります。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">トレーNo.</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、トレー No. を設定できます。 ・そのままタッチすると「トレー一覧」画面が表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">器物状態表示欄</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチするとヒーター温度や前面カバー解放中などの包装機の状態を表示します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">5売価タイトル</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、5売価タイトル No. を設定できます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">5売価金額</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、5売価金額を設定できます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">5売価記号</div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 15px;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、5売価記号を設定できます。 ・そのままタッチすると「記号一覧」画面が表示されます。

ファンクションキー	はたらきと使いかた
	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、5売価トレイを設定できます。 ・そのままタッチすると「トレイ一覧」画面が表示されます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・数値入力後にタッチすると、包装モードを設定できます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・上位システムにヘルプ通知を行う際に使用します。 <p><u>注 記</u>：設定についてはイシダサービスマンにご相談ください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・計量時の下限金額を設定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・計量時の上限金額を設定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・計量後の金額が、設定した上下限値の範囲に入っているかどうかの状態を表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチすると「盛り高さ」画面が表示されます。 ・盛り高い商品を包装する場合に使用します。 ・「盛り高さ」を選択すると、商品の盛り高さに合わせた包装をします。

※バリエーションによっては、使用できないキーもあります。



第4章

各データの登録のしかた

登録メニューについて



登録メニューの項目

登録項目	登録内容
商品	商品の名称および、その商品に付随するデータ（単価、定金額、風袋、レジコードなど）を登録します。 <u>注 記</u> 商品に付随するデータをあらかじめ登録しておいてから商品を登録してください。
原材料	使用頻度の高い原材料名をセットして登録します。
POP	POP(「店長のおすすめ」「本日限り」など)を登録します。
コメント	コメント(販促メッセージなど)を登録します。
産地	産地名を登録します。
保存温度	保存温度を登録します。
保存方法	保存方法を登録します。
店舗	店舗の名称、住所、および付随するデータを登録します。
トレー	使用するトレーの名称、大きさ、重量、フィルムなどを登録します。
定額記号	定額記号を登録します。
カロリー	カロリー名を登録します。
プリセットキー	プリセットキーの配置と設定を登録します。
フリー 1 ~ 15	新規マスターを 15 種類まで登録します。

登録項目	登録内容
部位	部位名を登録します。
原産国	原産国名を登録します。
原産地	原産地名を登録します。
加工日タイトル	加工日タイトル(加工日や陳列日など)の印字文字列を登録します。
店タイトル	店名タイトル(加工元や販売店など)の印字文字列を登録します。
分類	分類の名称を登録します。
商品単語	50音検索用の単語を登録します。
栄養成分	栄養成分を登録します。
栄養成分単位	栄養成分に使用する単位を登録します。
原料	原料を登録します。
原材料リンク	原料を組み合わせて原材料表示内容として登録します。

■操作が共通の項目

以下の項目は一覧からデータ呼び出し、編集を行う操作が共通です。

- ・ 原材料
- ・ POP
- ・ コメント
- ・ 産地
- ・ 保存温度
- ・ 保存方法
- ・ 定額記号
- ・ カロリー
- ・ フリー 1 ~ 15
- ・ 部位
- ・ 原産国
- ・ 原産地
- ・ 加工日タイトル
- ・ 店タイトル
- ・ 分類
- ・ 原料

共通の操作については、4-4P「基本的な呼出と登録のしかた」参照。

基本的な呼出と登録のしかた

原材料やコメントなどの項目は、共通して以下のように操作します。

1. 登録モードメニューから、任意の項目をタッチします。

各項目の一覧画面が表示されます。



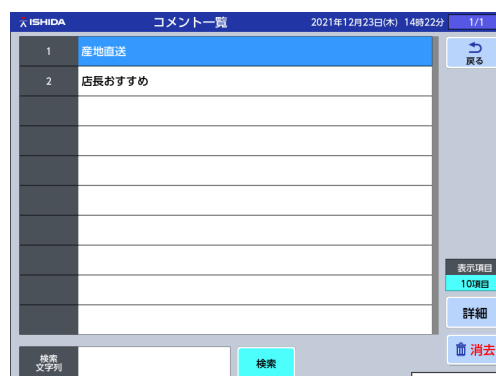
登録済のデータを編集する場合、編集したいNo.にカーソルを合わせて「詳細」をタッチします。「消去」をタッチすると、データを消去します。

2. 呼出 No. を入力します。

【例】コメント No. 「1」の場合

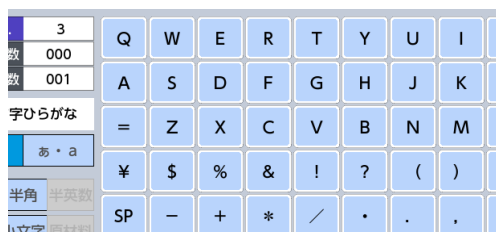


新規の場合は登録の確認画面が表示されますので「実行」をタッチします。タッチすると、文字編集画面が表示されます。



文字入力の方法については、2-11P「文字入力のしかた」を参照してください。

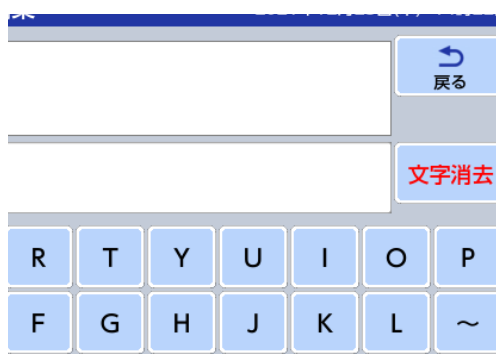
3. 文字入力します。



4. コメント編集画面の「戻る」をタッチします。

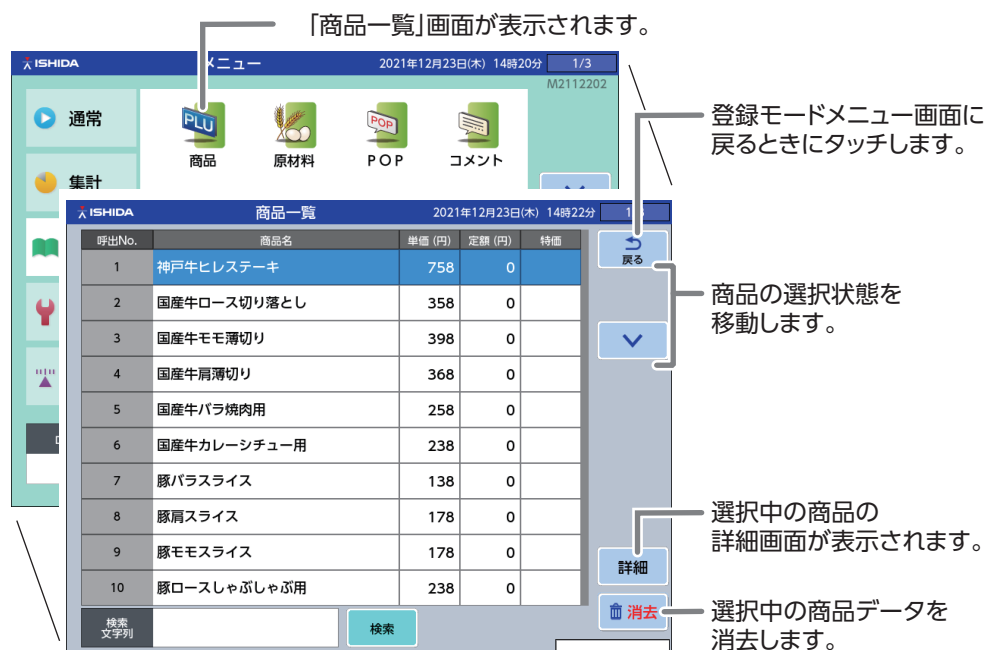


入力したデータが保存され、一覧画面に戻ります。



商品登録

商品の名称および、その商品に付随するデータ（単価、定金額、風袋、レジコード、POP 番号など）を登録します。商品データの登録は、商品一覧画面で登録する商品欄を選択してから行います。以下の手順を参考に操作を行ってください。



参考
一覧の右側に灰色のスクロールバーが表示されている場合は、スクロールバーをタッチして一覧をスクロールすることができます。

参考
商品呼出 No. は、4、6、8 桁に設定設定することができます。初期値は 6 桁です。

参考
登録済の商品データを修正する場合は、修正したい商品にカーソルを合わせて「詳細」をタッチします。

参考
商品データ登録画面は、8 画面あります。画面下部のタブをタッチして画面を切り換えて各項目を登録してください。

1. 登録メニュー画面の「商品」をタッチします。



商品一覧画面が表示されます。



2. 商品の呼出 No. を入力します。

【例】呼出 No. 「1」の場合



商品呼出 No. は、最大 6 桁まで入力できます。(1 ~ 999999)

商品データ登録「売価・風袋」画面が表示されます。



商品データ登録「売価・風袋」画面の登録

数値入力後にタッチすると、そのNo.の商品に切り替わります。
左右の < > をタッチすると、前後の商品に切り替わります。

商品名を編集する画面が表示されます。

商品データを保存して、商品一覧画面に戻ります。

単価No.を切り換えます。





呼出中の商品データをコピーして別の商品No.を割り当てます。










呼出中の商品データを消去します。
(単価No.1以外の場合は、呼出中の単価データが消去されます。)

定額記号一覧画面が表示されます。

■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
計量モード	計量モードを選択します。	計量の場合 → "0: 計量" 定額の場合 → "1: 定額" 定単価の場合 → "2: 定単価"
単価	単価「500円」を登録します。 計量モードを「定額」に設定した場合は必要ありません。	単価は最大5桁(0～99999)まで入力できます。 
定金額	定金額「800円」を登録します。 計量モードを「計量」に設定した場合は必要ありません。	定金額は最大5桁(0～99999)まで入力できます。 
定重量	定重量「160g」を登録します。	定重量は最大4桁(0～9999)まで入力できます。 
風袋重量	風袋引き重量「20g」を登録します。(副材重量)	風袋は最大3桁(0～999)まで入力できます。  ※風袋については、1-24P「風袋重量の考えかた」を参照

項目	例	操作
M 特価モード	M 特価モードを選択登録します。	M 特価 (マークダウン金額) の場合 → "1: 特価" -円 (値引額) の場合 → "2: -円" -% (値引率) の場合 → "3: -%" M 単価 (マークダウン単価) の場合 → "4:M 単価"
M 特価	通常金額 800 円の商品を、特売金額 720 円で登録します。	M 特価は、最大 5 桁 (0 ~ 99999) まで入力できます。 M 特価なしの場合  M 特価表示の場合  M 単価表示の場合  -円表示の場合  -% 表示の場合 
単価逆清算	単価と重量値から逆演算して定額商品にユニットプライスを印字します。	単価逆演算をしない場合 → "0: しない" 単価逆演算をする場合 → "1: する"
定額記号	商品の定額記号「1 枚」を選択登録します。	1. タッチし、定額記号一覧画面を表示させます。 2. 商品の個数を入力し、設定したい記号をタッチします。 
定額個数	商品の定額個数「200 個」を選択登録します。	定額個数は、最大 3 桁 (0 ~ 999) まで入力できます。 
税金 No.	商品の税区分を登録します。	各種設定された税区分番号を入力できます。
下限重量	商品の下限重量値「490g」を登録します。	下限重量は、最大 4 桁 (0 ~ 9999) まで入力できます。 
上限重量	商品の上限重量値「510g」を登録します。	上限重量は、最大 4 桁 (0 ~ 9999) まで入力できます。 

商品データ登録「リンク1」画面の登録







商品一覧画面に戻るときにタッチします。

項目	No.	内容
原材料	0	なし
POP	0	なし
コメント	0	なし
産地	1	兵庫県産
保存温度	0	なし
保存方法	0	なし
カロリー	0	なし
加工日タイトル	1	加工日

■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
原材料	原材料 No. 「20」 を登録します。	<p>原材料 No. は、最大 8 桁 (0 ~ 99999999) まで入力できます。</p> <p><input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> 原材料 <input type="text" value="1"/> すけそうたらな 3、黄5)、誰</p> <p>原材料 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして原材料一覧画面を表示し、選択してください。</p>
POP	POP No. 「11」 を登録します。	<p>POP No. は、最大 3 桁 (0 ~ 999) まで入力できます。</p> <p><input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/> POP <input type="text" value="0"/> なし</p> <p>POP No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして POP 一覧画面を表示し、選択してください。</p>
コメント	コメント No. 「5」 を登録します。	<p>コメント No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。</p> <p><input type="text" value="5"/> コメント <input type="text" value="0"/> なし</p> <p>コメント No. がわからないときは、そのまま欄をタッチしてコメント一覧画面を表示し、選択してください。</p>
産地	産地 No. 「5」 を登録します。	<p>産地 No. は、最大 3 桁 (0 ~ 999) まで入力できます。</p> <p><input type="text" value="5"/> 産地 <input type="text" value="4"/> 宮城県産</p> <p>産地 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして産地一覧画面を表示し、選択してください。</p>


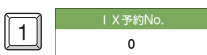
項目	例	操作
保存温度	保存温度 No. 「3」 を登録します。	保存温度 No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。  保存温度 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして保存温度一覧画面を表示し、選択してください。
保存方法	保存方法 No. 「3」 を登録します。	保存方法 No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。  保存方法 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして保存方法一覧画面を表示し、選択してください。
カロリー	カロリー No. 「17」 を登録します。	カロリー No. は、最大 8 桁 (0 ~ 99999999) まで入力できます。  カロリー No. がわからないときは、そのまま欄をタッチしてカロリー一覧画面を表示し、選択してください。
加工日 タイトル	加工日タイトル No. 「5」 を登録します。	加工日タイトル No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。  加工日タイトル No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして加工日タイトル一覧画面を表示し、選択してください。
店タイトル	店タイトル No. 「1」 を登録します。	店タイトル No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。  店タイトル No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして保存温度一覧画面を表示し、選択してください。
フリー 1 ~ 15	フリー 1 No. 「1」 を登録します。	フリー No. は、最大 4 桁 (0 ~ 9999) まで入力できます。  フリー No. がわからないときは、そのまま欄をタッチしてフリー一覧画面を表示し、選択してください。

商品データ登録「リンク2」画面の登録



■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
栄養成分表記	栄養成分を表記するかを選択します。	栄養成分を表記しない → "0:しない" 栄養成分を表記する → "1:する" ※栄養成分表記を「1:する」に設定すると、「成分編集」ボタンが緑色表示になります。
金検 No.	金検 No.「1」を登録します。	金検 No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。  金検 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして金検一覧画面を表示し、選択してください。
IX 予約 No.	IX 予約 No.「1」を登録します。	IX 予約 No. は、最大 3 桁 (0 ~ 999) まで入力できます。  IX 予約 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして IX 予約一覧画面を表示し、選択してください。

商品データ登録「栄養成分詳細」画面の登録

商品一覧画面に戻るときにタッチします。

栄養成分単位を変更した場合は、必ず熱量と各栄養成分の数値をご確認ください。

■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
熱量 (kcal)	[500kcal] を登録します。	<p>注 記 栄養成分単位の設定により、小数点が表示される場合があります。</p>
栄養成分単位	[1 包装当り] を登録します。	<p>欄をタッチし、「栄養成分単位一覧」画面から「1 包装当り」を選択し、タッチします。</p> <p>注 記 使用する単位は、あらかじめ登録しておく必要があります。詳細は「栄養成分単位」をご参照ください。</p>

項目	例	操作
たんぱく質 (g)	「31.8g」を登録します。	<input type="text" value="3"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="たんぱく質(g)"/> 0.0
脂質 (g)	「60.2g」を登録します。	<input type="text" value="6"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="脂質(g)"/> 0.0
炭水化物 (g)	「121.6g」を登録します。	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="炭水化物(g)"/> 0.0
食塩相当量 (g)	「3.70g」を登録します。	<input type="text" value="3"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="食塩相当量(g)"/> 0.00
ナトリウム (mg)	「1456mg」を登録します。	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="ナトリウム(mg)"/> 0
飽和脂肪酸 (g)	「3.20g」を登録します。	<input type="text" value="3"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="飽和脂肪酸(g)"/> 0.00
n-3系脂肪酸 (g)	「1.12g」を登録します。	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="n-3系脂肪酸(g)"/> 0.00
n-6系脂肪酸 (g)	「5.67g」を登録します。	<input type="text" value="5"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="n-6系脂肪酸(g)"/> 0.00
コレステロール (mg)	「193mg」を登録します。	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="9"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="コレステロール(mg)"/> 0
糖質 ((g))	「117.1g」を登録します。	<input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="糖質(g)"/> 0.00
糖類 (g)	「2.2g」を登録します。	<input type="text" value="2"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="糖類(g)"/> 0.00
食物繊維 (g)	「4.50g」を登録します。	<input type="text" value="4"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="食物繊維(g)"/> 0.00

注 記

- ・小数点が含まれる項目に入力する際は、小数点部分の数字も入力するようにしてください。小数点第2位が0の場合は小数点第1位までラベルに印刷されます。
【例】「0.00」と表示されている「食塩相当量 (g)」欄に、「3.70」と入力したい場合

0.00



参考

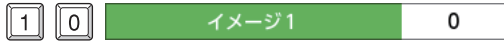
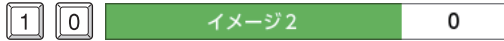


- ・通常、栄養成分表示としてラベルに印刷される項目は「熱量」「たんぱく質」「脂質」「炭水化物」「食塩相当量」「ナトリウム」のみで、その他の項目は登録を行ってもラベルには印刷されません。
その他の項目の印刷については、イシダサービスマンにお問い合わせください。

商品データ登録「イメージ」画面の登録



■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
イメージ1 No.	アイキャッチイメージラベルに印字されるイメージ1No. 「10」を選択登録します。	イメージ1No. は、最大2桁(0～99)まで入力できます。  イメージ1No. がわからないときは、そのまま欄をタッチしてイメージ1一覧画面を表示し、選択してください。
イメージ2 No.	アイキャッチイメージラベルに印字されるイメージ2No. 「10」を選択登録します。 ※副ラベル発行設定時にします。	イメージ2No. は、最大2桁(0～99)まで入力できます。  イメージ2No. がわからないときは、そのまま欄をタッチしてイメージ2一覧画面を表示し、選択してください。
包装容器 No.	包装容器 No. 「10」を登録します。	包装容器 No. は、最大2桁(0～99)まで入力できます。  包装容器 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして包装容器一覧画面を表示し、選択してください。
商品画像 No.	商品画像 No. 「10」を登録します。	商品画像 No. は、最大3桁(0～999)まで入力できます。  商品画像 No. がわからないときは、そのまま欄をタッチして商品画像一覧画面を表示し、選択してください。

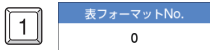

商品データ登録「印字・発行」画面の登録

商品一覧画面に戻るときにタッチします。

The screenshot shows the '商品詳細' (Product Detail) screen for '神戸牛ヒレステーキ'. The top bar includes the ISHIDA logo, the product name, and the date/time (2021年12月23日(木) 14時3分). Below the product name are tabs for '売価', 'リンク1', 'リンク2', 'イメージ', '印字発行', '日付', 'コード', and 'トレー'. The main area contains several settings for labels and printing, each with a dropdown menu and a numeric input field. A '戻る' (Back) button is located in the top right corner, with a callout indicating it is used to return to the product list screen.

■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
表貼種類	表貼ラベルの発行形態（プリンタ、フォーマット、カセット）を固定する場合に使用します。	参照の場合 → "0: 参照" 固定の場合 → "1: 固定"
裏ラベル種類	裏貼ラベルの種類を選択登録します。	裏貼ラベルなしの場合 → "1: なし" バーコードを印字する場合 → "2: 下バー" 原材料を印字する場合 → "3: 原材料" 原材料とバーコードを印字する場合 → "4: 原材料バー" ※裏貼ラベルの種類は設定により拡大できます。 イシダサービスマンにご連絡ください。
表バー印字	表貼ラベル 1 枚目のバーコード印字の有無を選択登録します。	バーコード印字なしの場合 → "0: なし" バーコード印字ありの場合 → "1: あり"
表フォーマット No.	表貼ラベルのフォーマット No. 「1」を登録します。商品ごとに特殊なフォーマットを利用する場合にのみ設定してください。	表フォーマット No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。 
裏フォーマット No.	2 枚発行時の裏貼ラベル (2 枚目) のフォーマット No. 「1」を登録します。商品ごとに特殊なフォーマットを利用する場合にのみ設定してください。	裏フォーマット No. は、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。 




項目	例	操作
発行モード	全てのラベルの発行許可を選択登録します。	ラベル発行ありの場合 → "1: 発行 " ラベル発行禁止の場合 → "2: 発禁 "
表ラベル発行	表貼ラベルの発行を選択登録します。	ラベル発行ありの場合 → "1: 発行 " ラベル発行禁止の場合 → "2: 発禁 "
裏ラベル発行	裏貼ラベルの発行を選択登録します。	ラベル発行ありの場合 → "1: 発行 " ラベル発行禁止の場合 → "2: 発禁 "
副ラベル発行	副ラベル発行の条件に合致した時もこの商品に限っては本体ラベルのみを発行する場合に使用します。	ラベル発行ありの場合 → "1: 発行 " ラベル発行禁止の場合 → "2: 発禁 "
アイキャッチラベル発行	アイキャッチラベル発行の条件に合致した時もこの商品に限っては本体ラベルのみを発行する場合に使用します。	ラベル発行ありの場合 → "1: 発行 " ラベル発行禁止の場合 → "2: 発禁 "
プリンタ切替	IP-AI LX 台紙レスで PP-AI を連動する時に、PP-AI からの発行切替に使用します	ラベル発行パターン (基本) に従う場合 → "0: 参照 " ラベル発行パターン (表貼固定) で指定した PP 固定のフォーマットに従う場合 → "1: PP 固定 "
識別印字	個体識別 No.、ロット No. の印字を選択登録します。	個体識別 No.、ロット No. を印字する場合 → "0: 印字あり " 個体識別 No.、ロット No. を印字しない場合 → "1: 印字なし " 個体識別 No. のみ印字する場合 → "2: 個体印字 " ロット No. のみ印字する場合 → "3: ロット印字 "

商品データ登録「日付」画面の登録



■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
加工日印字	加工日印字を選択登録します。	加工日印字ありの場合 → "1: する" 加工日印字なしの場合 → "2: しない"
加工時刻印字	加工時刻印字を選択登録します。	印字なしの場合 → "0: 印字しない" 加工時刻指定の場合 → "1: 指定" 内蔵時計時刻の場合 → "2: 時計"
加工時刻	加工時刻「6時30分」を登録します。 ※ラベルフォーマットに「加工時刻」が設定されている場合に有効になります。	加工時刻は、0～2359(0:00～23:59)まで入力できます。 
消費日印字	消費日印字を選択登録します。	消費日印字ありの場合 → "1: する" 消費日印字なしの場合 → "2: しない"
消費時刻印字	消費時刻印字を選択登録します。	消費時刻印字ありの場合 → "1: する" 消費時刻印字なしの場合 → "2: しない"
消費時刻	消費時刻「4時間後」を登録します。 ※ラベルフォーマットに「消費時刻」が設定されている場合に有効になります。	消費時刻は、最大4桁(0～9999)まで入力できます。 
消費日期间	消費日期间「10日間」を登録します。	消費日期间は、最大4桁(0～9999)まで入力できます。 

商品データ登録「コード」画面の登録

商品一覧画面に戻るときにタッチします。

ISHIDA 商品詳細 2021年12月23日(木) 14時3分

1 < 神戸牛ヒレステーキ > 編集 戻る

売値 風袋 リンク1 リンク2 イメージ 印字 発行 日付 コード トレー

POSフラグ参照 < 0:参照 > POSコード体系 < 0:参照 >

POSフラグ 02 POSコード 0000000000 レジコード 0

商品コード 00000000 分類No. 0



単価1 単価2 単価3 単価4 単価5

商品コピー 消去

■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
POS フラグ参照	POS フラグ参照を選択登録します。	機械設定を有効にする場合 → "0: 参照" 商品マスタを有効にする場合 → "1: 商品マスタ"
POS コード体系	POS コード体系を選択登録します。	機械設定を有効にする場合 → "0: 参照" NonPLU13 に設定する場合 → "1:NonPLU13" NonPLU8 に設定する場合 → "2:NonPLU8" PLU13 に設定する場合 → "3:PLU13" PLU8 に設定する場合 → "4:PLU8"
POS フラグ	POS フラグ「49」を登録します。フラグ参照を"0: 参照"に設定した場合は必要ありません。	POS フラグは、最大 2 桁 (0 ~ 99) まで入力できます。
POS コード	POS コード「0123456789」を登録します。	商品コードをバーコードに反映させない場合に登録してください。POS コードは最大 10 桁 (0 ~ 9999999999) まで入力できます。
レジコード	レジコード「3」を登録します。	レジコードは、最大 3 桁 (0 ~ 999) まで入力できます。


項目	例	操作
商品コード	商品コード「01234567」を登録します。	商品コードは最大8桁(0～99999999)まで入力できます。 
分類 No.	分類 No. 「7」を登録します。 ※分類 No. 連動に「しない」が設定されている場合に有効となります。	分類 No. は、最大4桁(0～9999)まで入力できます。 

商品データ登録「トレイ」画面の登録



■各項目の登録方法

下記の表に入力例をまとめます。必要な登録項目を選択して入力してください。

項目	例	操作
トレイ No.	トレイ No. 「18」 を登録します。	トレイ No. は、最大 4 桁 (0 ~ 9999) まで入力できます。  トレイ No. がわからないときは、そのまま欄をタッチしてトレイ一覧画面を表示し、選択してください。
包装モード	包装モードを選択登録します。	値付けと包装の場合 → "1: 包装 + 値付" 値付けのみの場合 → "2: 値付" 包装のみの場合 → "3: 包装"
貼付方向	ラベルの貼付方向を選択登録します。	トレイマスターの設定を有効にする場合 → "0: 通常貼付" 横貼りの場合 → "1: 横貼り" 縦貼りの場合 → "2: 縦貼り"
盛り高さ	包装する商品の盛り状態を選択登録します。	盛りなしの場合 → "0: 盛りなし" 小盛りの場合 → "1: 小盛り" 中盛りの場合 → "2: 中盛り" 大盛りの場合 → "3: 大盛り" 盛り高さ自動検知の場合 → "4: 自動"
貼付モード	ラベルの自動貼り、手動貼りを 選択登録します。 商品の表面が水平でないなど、 ラベルの自動貼付がしにくい 商品は「手動貼り」に設定 します。	自動貼りの場合 → "1: 自動貼り" 手動貼りの場合 → "2: 手動貼り"

項目	例	操作
盛り高さ 自動検知	包装する商品の盛り状態を自動検知するか、手動設定するかを選択登録します。表面の光沢が強いものは「0: 選択」に設定します。	盛り高さ手動設定の場合 → "0: 選択 " 盛り高さ自動検知の場合 → "1: 自動 "
供給速度	供給バー、コンベアスピードを選択登録します。	トレーマスターの設定を有効にする場合 → "0: トレー参照 " 高速の場合 → "1: 高速 " 中速の場合 → "2: 中速 " 低速の場合 → "3: 低速 "
包装速度	商品を包装する速度を選択登録します。	トレーマスターの設定を有効にする場合 → "0: トレー参照 " 高速の場合 → "1: 高速 " 中速の場合 → "2: 中速 " 低速の場合 → "3: 低速 "
トレー 自動検知	トレー自動認識設定を登録します。 透明トレーなど、カメラで識別できないトレーを使用する商品は「1: なし」に設定します。	トレー自動検知なしの場合 → "1: なし " トレー自動検知ありの場合 → "2: あり "
トレー押え	トレー押さえ動作を選択登録します。	トレーマスターの設定を有効にする場合 → "0: トレー参照 " トレー押さえを動作しない場合 → "1: しない " トレー押さえを動作する場合 → "2: する "
溶着一旦停止	フィルム溶着の有無を選択登録します。	トレーマスターの設定を有効にする場合 → "0: トレー参照 " フィルム溶着を動作しない場合 → "1: しない " フィルム溶着を動作する場合 → "2: する "

トレー登録

使用するトレーの大きさ、トレー名称などを登録します。トレー登録画面には、トレーを登録する画面とフィルムを調整する画面があります。

トレー一覧画面の登録

1 「トレー一覧」画面が表示されます。

登録モードメニュー画面に戻るときにタッチします。

使用トレー選択画面が表示されます。

選択しているトレーの詳細画面が表示されます。

選択しているトレーデータを消去します。

No.	トレー名	幅(cm)	奥行き(cm)	高さ(cm)	トレー	風袋(g)	フィルム(g)
1	丸 大	15.0	9.0	2.5	ハード	0	0
2	丸 中	33.0	10.0	2.0	ハード	0	0
3	丸 小	20.0	12.0	3.0	ハード	0	0
4	丸 1/2	28.0	21.0	2.5	ハード	0	0
5	丸 1/4	16.0	16.0	7.0	ハード	0	0
6	丸 1/4角あり	17.0	12.0	7.0	ソフト	0	0
7	長 10~23	20.0	7.0	7.0	ノートレー	0	0
8	長 10~23太	15.0	13.0	4.0	ノートレー	0	0
9	長 10~23細	18.0	18.0	13.0	ノートレー	0	0
10	長 24~27	15.0	10.0	7.0	ノートレー	0	0

1. 登録モードメニュー1 / 2画面の「トレー」をタッチします。



トレー

トレー一覧の画面が表示されます。

登録



産地



保存温度



保存方法

設定



トレー



定額記号



カロリー

調整



フィルム1



フィルム2



フィルム3



一覧の右側に灰色のスクロールバーが表示されている場合は、スクロールバーをタッチして一覧をスクロールすることができます。

2. トレー No. を入力します。

【例】トレー No. 「1」の場合

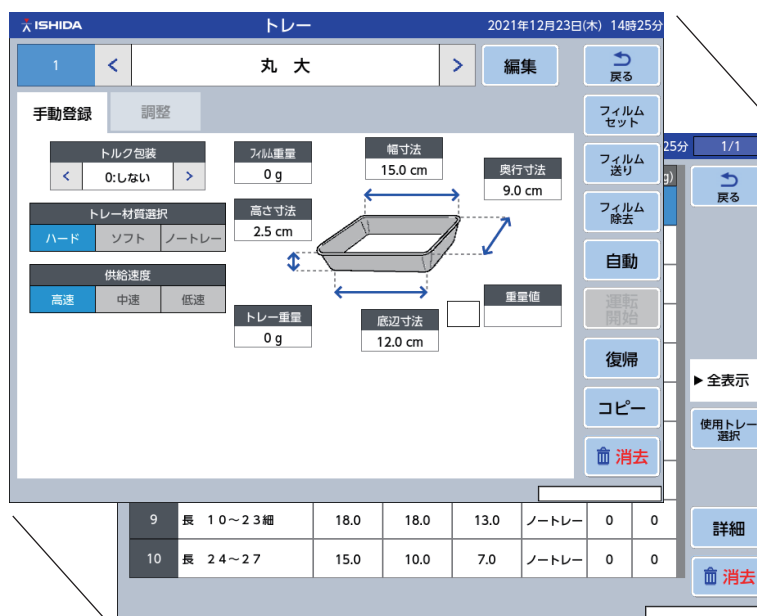


トレー No. は最大4桁 (1 ~ 9999) まで入力できます。

No.	トレー名	幅(cm)	奥行き(cm)	高さ(cm)	トレー	風袋(g)	フィルム(g)
1	丸 大	15.0	9.0	2.5	ハード	0	0
2	丸 中	33.0	10.0	2.0	ハード	0	0
3	丸 小	20.0	12.0	3.0	ハード	0	0
4	丸 1/2	28.0	21.0	2.5	ハード	0	0
5	丸 1/4	16.0	16.0	7.0	ハード	0	0
6	丸 1/4角あり	17.0	12.0	7.0	ソフト	0	0
7	長 10~23	20.0	7.0	7.0	ノートレー	0	0
8	長 10~23太	15.0	13.0	4.0	ノートレー	0	0
9	長 10~23細	18.0	18.0	13.0	ノートレー	0	0
10	長 24~27	15.0	10.0	7.0	ノートレー	0	0

トレーの手動登録（ハードトレー商品）

ハードトレー商品のトレー情報（寸法、重量）、フィルム重量などを手動登録する方法について説明します。

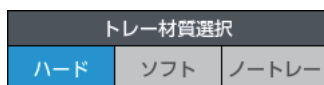


1. トレー登録画面で「手動登録」タブをタッチします。



トレー（手動登録）画面が表示されます。

2. トレー材質選択で「ハード」をタッチします。



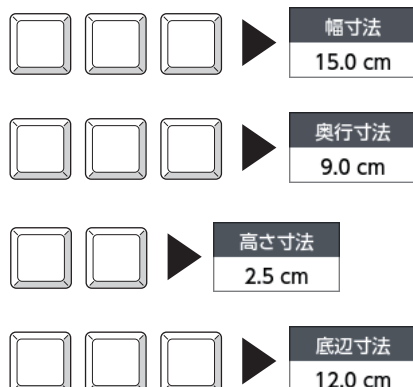
ハードトレー画面が表示されます。

3. 以下の項目を選択登録します。

- トルク包装
- 供給速度



4. トレーの寸法を測り、入力します。

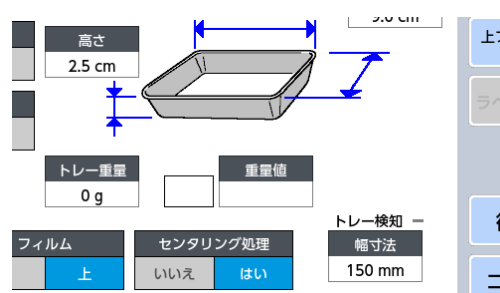


5. 計量部、包装部など各部に物が載っていないことを確認します。

▲ 注意

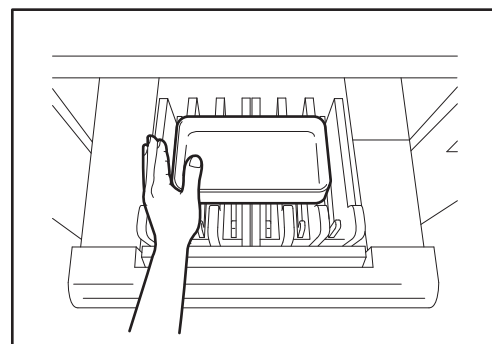
「重量値」をタッチしないとトレー重量の自動設定はできません。

6. 「重量値」をタッチします。

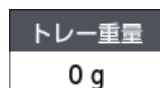


7. 登録するトレーを計量テーブルの中央に載せます。

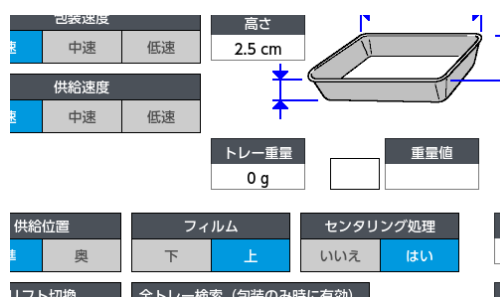
トレーの計量が始まり、トレー重量が重量値欄に表示されます。



8. 「トレー重量」をタッチします。



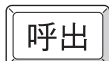
計量されたトレーの重量が登録されます。



9. 計量テーブルに載せているトレーの上に被包装物を載せます。

トレーを搬送します。

10. ストロークキーの「呼出」を押します。



包装動作を開始し、包装されたトレーが排出されます。




フィルムの張り調整方法については、4-29P「フィルムの簡易調整」を参照してください。

11. 排出された包装済みのトレーを計量皿の上に載せます。

包装した商品からフィルムを取ります。→画面の「重量値」を押します。→フィルムを計量皿に置きます。→画面の「フィルム重量」を押します。→フィルム重量の計算結果が登録されます。

12. 包装した仕上り状態が不十分な場合には、「調整」をタッチします。

A rectangular button with a thin border and the Japanese characters "手動登録" (Manual registration) centered inside.

手動登録

A rectangular button with a thin border and the Japanese characters "調整" (Adjust) centered inside.

調整

トレー（調整）画面が表示されます。
包装済のトレーの計量、計算を開始し、フィルム重量の計算結果が登録されます。

トレーの手動登録（ソフトトレー商品）

ソフトトレー商品のトレー情報（寸法、重量）、フィルム重量などを手動登録する方法について説明します。

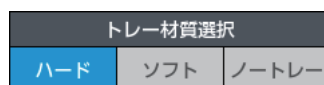


1. トレー登録画面で「手動登録」タブをタッチします。



トレー（手動登録）画面が表示されます。

2. トレー材質選択で「ソフト」をタッチします。



ソフトトレー画面が表示されます。

3. 以下の項目を選択登録します。

●供給速度



4. トレーの寸法を測り、入力します。

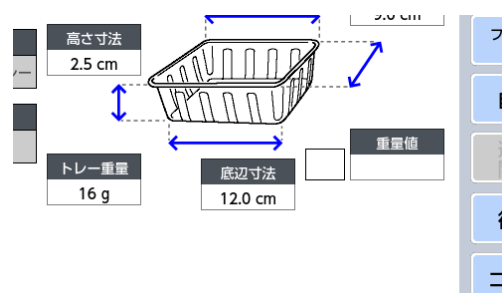


5. 計量部、包装部など各部に物が載っていないことを確認します。

▲ 注意

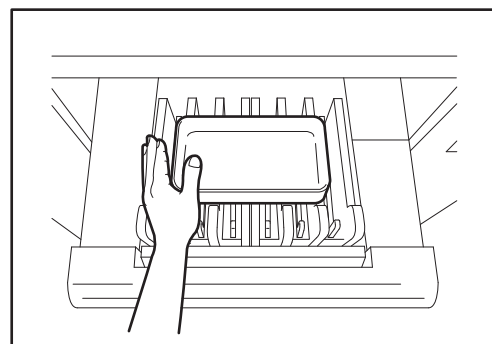
「重量値」をタッチしないとトレー重量の自動設定はできません。

6. 「重量値」をタッチします。

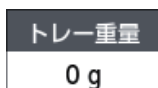


7. 登録するトレーを計量テーブルの中央に載せます。

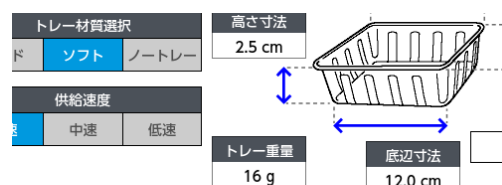
トレーの計量が始まり、トレー重量が重量値欄に表示されます。



8. 「トレー重量」をタッチします。



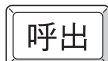
計量されたトレーの重量が登録されます。



9. 計量皿に載せているトレーの上に被包装物を載せます。

トレーを搬送します。

10. ストロークキーの「呼出」を押します。



包装動作を開始し、包装されたトレーが排出されます。




参照

フィルムの張り調整方法については、4-29P「フィルムの簡易調整」を参照してください。

11. 排出された包装済みのトレーを計量皿の上に載せます。

包装した商品からフィルムを取ります。→画面の「重量値」を押します。→フィルムを計量皿に置きます。→画面の「フィルム重量」を押します。→フィルム重量の計算結果が登録されます。

12. 包装した仕上り状態が不十分な場合には、「調整」をタッチします。



トレー（調整）画面が表示されます。
包装済のトレーの計量、計算を開始し、フィルム重量の計算結果が登録されます。

トレーの手動登録（ノートレー商品）

ノートレー商品の情報（寸法、重量）、フィルム重量などを手動登録する方法について説明します。

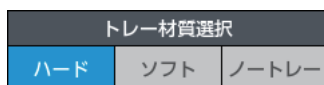


1. トレー登録画面で「手動登録」タブをタッチします。



トレー（手動登録）画面が表示されます。

2. トレー材質選択で「ノートレー」をタッチします。



ノートレー画面が表示されます。

3. 「包装条件」をタッチし、商品の形状を選択登録します。



4. 以下の項目を選択登録します。

●供給速度



5. 商品の寸法を測り、入力します。



長手方向の平均的な寸法を入力します。



短手方向の平均的な寸法を入力します。



平均的な高さ寸法を入力します。

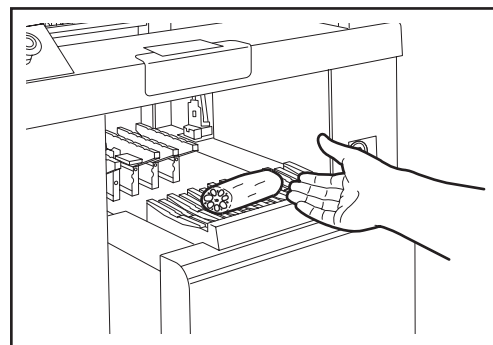


計量テーブルに接している部分の長手方向の寸法を目安として、最小寸法を入力します。
球状の商品は 60cm 以上の数値を入力してください。

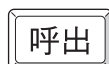
6. 計量部、包装部など各部に物が載っていないことを確認します。

7. 登録する商品を計量テーブルの中央に載せます。

商品の計量が始まり、商品が搬送されます。



8. ストローキーの「呼出」を押します。



包装動作を開始し、包装されたトレイが排出されます。

9. 包装した仕上り状態が不十分な場合には、「調整」をタッチします。



トレイ（調整）画面が表示されます。
包装済のトレイの計量、計算を開始し、フィルム重量の計算結果が登録されます。

フィルムの簡易調整

トレーテスト実行後にフィルムの張りを調整できます。



1. トレー登録画面で「調整」タブをタッチします。



トレー（調整）画面が表示されます。

2. 必要な項目を設定します。

項目	例						
前中央張り	トレー手前側のフィルム張り強さを調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">前中央張り</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table> </div>	前中央張り			-	0	+
前中央張り							
-	0	+					
後中央張り	トレー奥側のフィルム張り強さを調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">後中央張り</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table> </div>	後中央張り			-	0	+
後中央張り							
-	0	+					
前左右張り	トレー手前側左右方向のフィルム張り強さを調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">前左右張り</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table> </div>	前左右張り			-	0	+
前左右張り							
-	0	+					
後左右張り	トレー奥側左右方向のフィルム張り強さを調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">後左右張り</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table> </div>	後左右張り			-	0	+
後左右張り							
-	0	+					
左右絞り量	包装時の左右方向に対するフィルムの折り込み量を調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">左右絞り量</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table> </div>	左右絞り量			-	0	+
左右絞り量							
-	0	+					
左右張り	フィルムを左右に引き伸ばす時間を調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">左右張り</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table> </div>	左右張り			-	0	+
左右張り							
-	0	+					
シール加熱	インパルスシール部による加熱時間を調整します。 <div style="text-align: right;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td colspan="3">シール加熱</td></tr> <tr><td>-</td><td>8</td><td>+</td></tr> </table> </div>	シール加熱			-	8	+
シール加熱							
-	8	+					

項目	例							
前後ストレッチ量	フィルムを前後に引き伸ばす量を調整します。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">前後ストレッチ量</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table>	前後ストレッチ量			-	0	+
前後ストレッチ量								
-	0	+						
左右ストレッチ量	フィルムを左右に引き伸ばす量を調整します。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">左右ストレッチ量</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table>	左右ストレッチ量			-	0	+
左右ストレッチ量								
-	0	+						
リヤクランプ開放	フィルムをつかんでいる時間を調整します。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">リヤクランプ開放</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table>	リヤクランプ開放			-	0	+
リヤクランプ開放								
-	0	+						
シール冷却	インパルスシール部の加熱終了後、シール部から後絞り板を離すまでの時間を調整します。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">シール冷却</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table>	シール冷却			-	0	+
シール冷却								
-	0	+						
シール位置	インパルスシールの位置を調整します。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">シール位置</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table>	シール位置			-	0	+
シール位置								
-	0	+						
フィルム長さ	フィルムカット長さを調整します。	<table border="1"> <tr><td colspan="3">フィルム長さ</td></tr> <tr><td>-</td><td>0</td><td>+</td></tr> </table>	フィルム長さ			-	0	+
フィルム長さ								
-	0	+						

トレー名登録

1. トレー登録画面で「編集」をタッチし、トレー名編集画面を表示させます。



参照

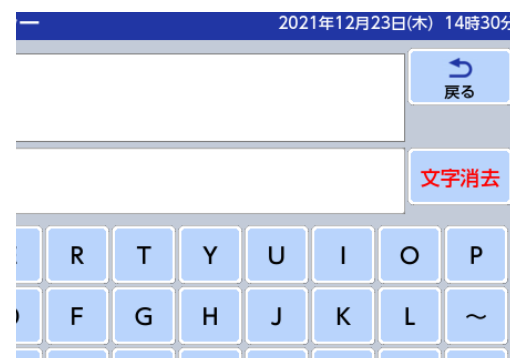
文字入力の方法については、2-11P「文字入力のしかた」を参照してください。

2. トレー名を入力します。

トレー名の文字数は、最大9文字まで入力できます。



3. トレー (トレー名編集) 画面の「戻る」をタッチします。

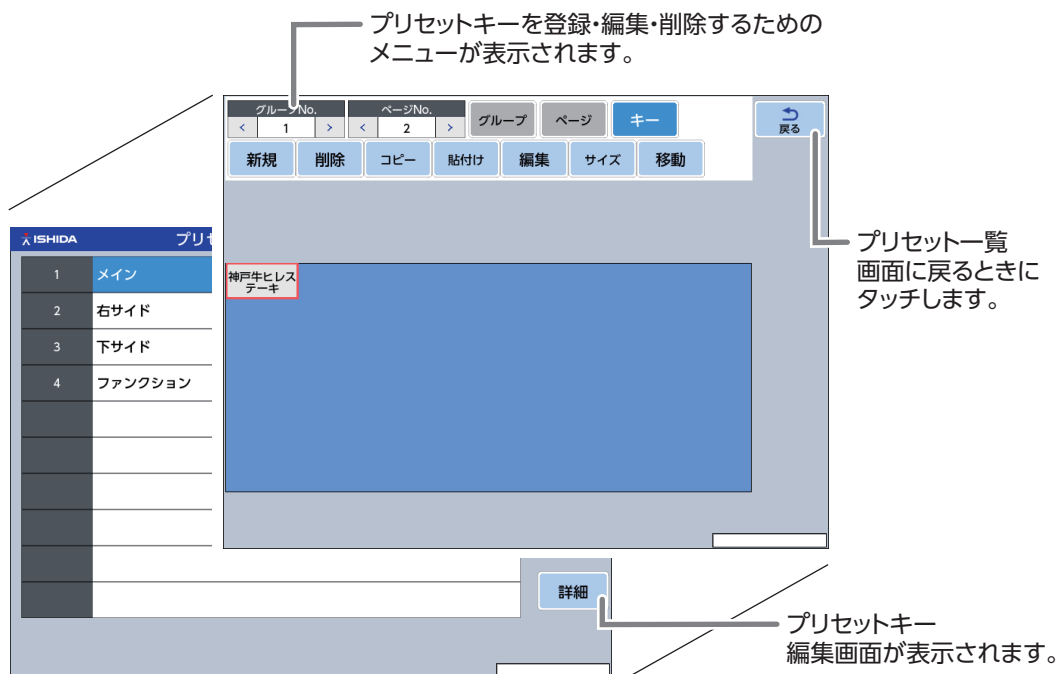


プリセットキー登録

プリセットキーとは、各画面にて自由に登録できるキーのことです。
希望に応じて、各機能を使いやすいように登録しておくことができます。



プリセットキーに登録できるボタンについては 3-24P 「ファンクションキーの便利機能」をご参照ください。



プリセットの選択

1. 登録メニュー画面の「プリセットキー」をタッチします。



プリセット
キー

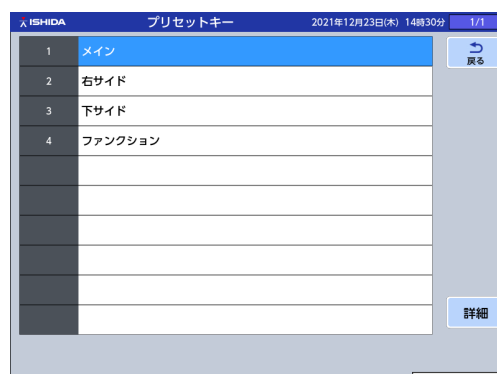
プリセット一覧画面が表示されます。



2. 編集するプリセットを選択し、「詳細」をタッチします。

詳細

プリセット編集画面が表示されます。



下記の表にプリセット画面が使用される箇所をまとめます。

プリセット名称	使用箇所	
メイン	通常画面での主な操作に使用します。	
右サイド	通常画面で機能を使用する場合に使用します。	
下サイド	通常画面で機能を使用する場合に使用します。	
ファンクション	通常画面で機能を使用する場合に使用します。 ※「ファンクション」キーをタッチすると表示される画面です。	

プリセットキーの登録

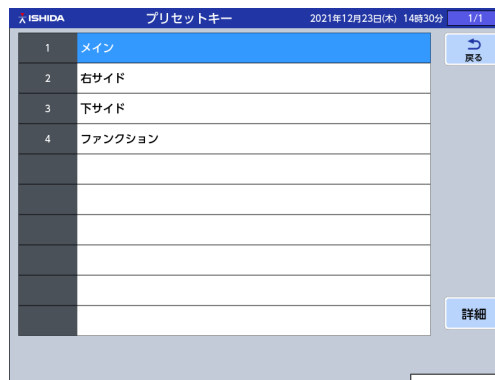
プリセットキーの登録方法と表示内容の変更方法について説明します。

【例】ファンクションキーに商品プリセットキーを登録する場合

1. プリセッター一覧画面で、「ファンクション」を選択し「詳細」をタッチします。

詳細

プリセット編集画面が表示されます。

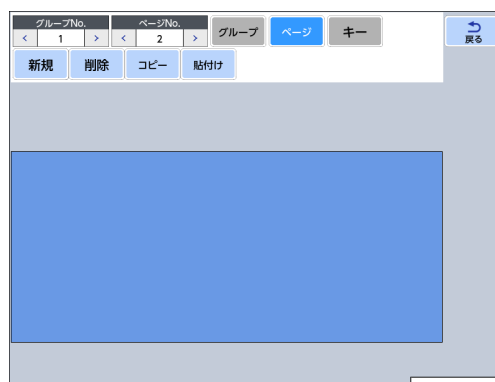


2. プリセットキーを登録するページとグループを指定します。



グループ、ページが1つの場合は、選択する必要はありません。

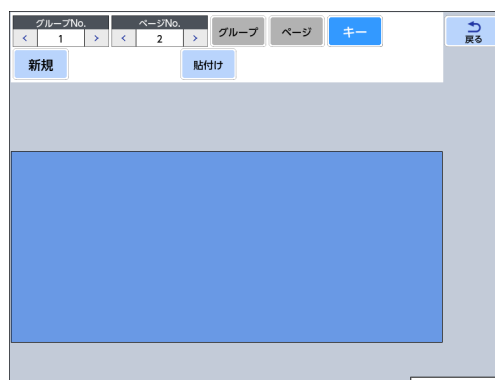
グループNo.		ページNo.			
<	1	>	<	2	>



グループ、ページの利用については「グループ・ページを利用したプリセットを作るには」をご覧ください。

3. プリセット編集画面で「キー」をタッチします。

キー



4. プリセット編集画面で「新規」をタッチします。

新規

プリセット機能一覧画面が表示されます。



参照

登録できるプリセットキーについては、3-24P「ファンクションキーの便利機能」を参照してください。

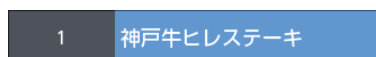
5. プリセット機能一覧画面で「商品」をタッチします。



商品一覧画面が表示されます。

ISHIDA プリセット				2021年12月23日(木) 14時31分	1/7
0	(なし)	47	フリー-1	戻る	
1	商品	48	フリー-2		
15	小計	49	フリー-3		
23	イメージ1	50	フリー-4		
24	イメージ2	51	フリー-5		
31	空送り	52	フリー-6		
33	加工日	53	フリー-7		
34	消費期限	54	フリー-8		
37	バー印字有無	55	フリー-9		
44	電卓	56	フリー-10		

6. 商品一覧画面でプリセットキーに割り当てたい商品の表示欄をタッチします。



商品のキーが割り当てられます。割り当てたプリセットキーの変更方法については以降のページを参照してください。

ISHIDA 商品一覧				2021年12月23日(木) 14時32分	1/8
1	神戸牛ヒレステーキ		戻る		
2	国産牛ロース切り落とし				
3	国産牛モモ薄切り				
4	国産牛肩薄切り				
5	国産牛バラ焼肉用				
6	国産牛カレースチュー用				
7	豚バラスライス				
8	豚肩スライス				
9	豚モモスライス				
10	豚ロースしゃぶしゃぶ用				

検索文字列 検索 ジャンプ



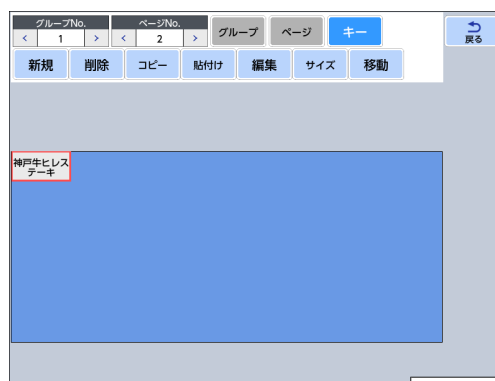
グループNo.	ページNo.	グループ	ページ	キー	戻る	
< 1 >	< 2 >					
新規	削除	コピー	貼付け	編集	サイズ	移動
神戸牛ヒレステーキ						

プリセットキーの名称表示を編集するには

プリセットキーの名称表示を編集する方法について説明します。

1. 名称表示を編集したいプリセットキーをタッチして選択します。

選択されているキーは赤枠表示になります。



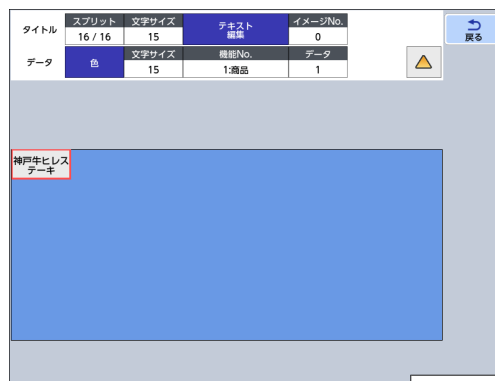
2. 「編集」をタッチします。

編集

3. 「テキスト編集」をタッチします。

テキスト
編集

文字列編集画面が表示されます。



4. 任意の文字を入力し、「戻る」をタッチします。

戻る

入力した文字列がプリセットキーに反映表示されます。

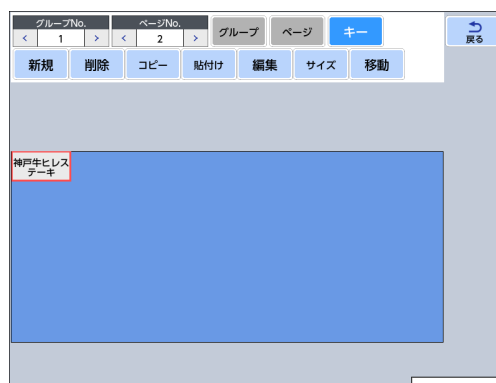


プリセットキーの文字サイズを変更するには

プリセットキーの文字サイズを変更する方法について説明します。

1. 文字サイズを変更したいプリセットキーをタッチして選択します。

選択されているキーは赤枠表示になります。

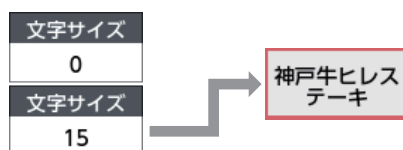


2. 「編集」をタッチします。

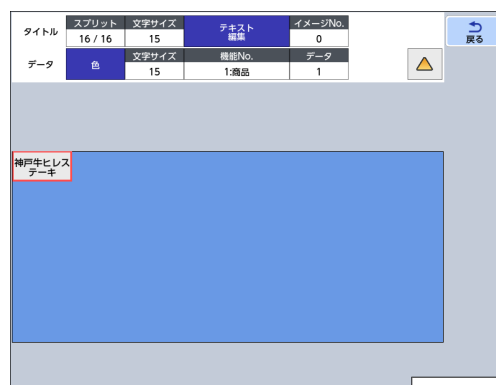
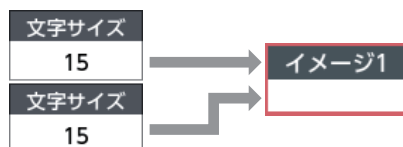


3. 「文字サイズ」を変更します。

【1 段表示ボタンの場合】

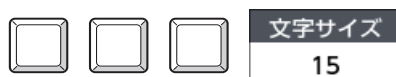


【2 段表示ボタンの場合】



上段、下段の枠の上下高さは、「スプリット」に数値を入力して変更することができます。

上段、下段の枠内の文字サイズを変更します。文字サイズは数値入力後に欄をタッチします。(0～255)

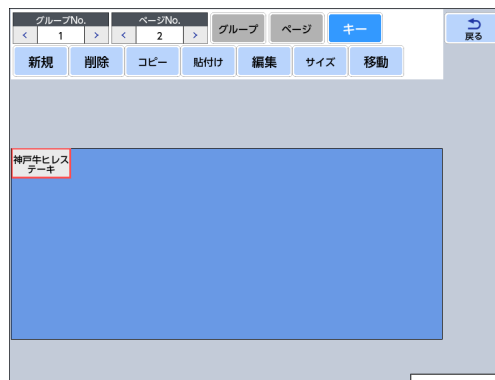


プリセットキーを着色するには

プリセットキーの背景色、文字色を変更する方法について説明します。

1. 着色したいプリセットキーをタッチして選択します。

選択されているキーは赤枠表示になります。



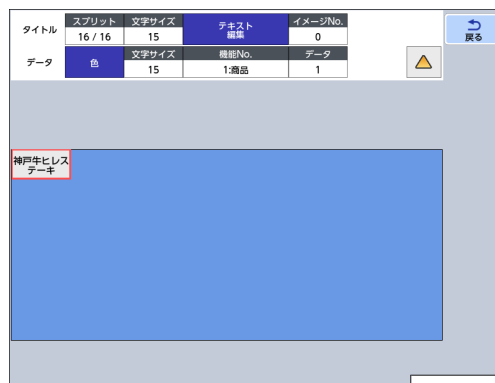
2. 「編集」をタッチします。



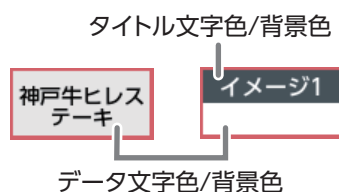
3. 「色」をタッチします。



色設定画面が表示されます。

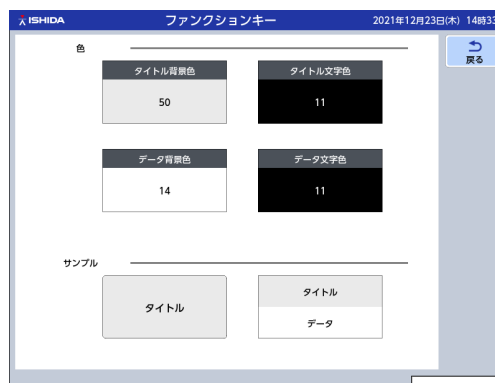


4. 背景色、文字色を変更します。



色を変更したい項目をタッチします。色選択画面が表示されますので、設定したい色をタッチして選択します。

タッチすると色設定画面に戻り、選択した色に変更されたキーサンプルが表示されます。

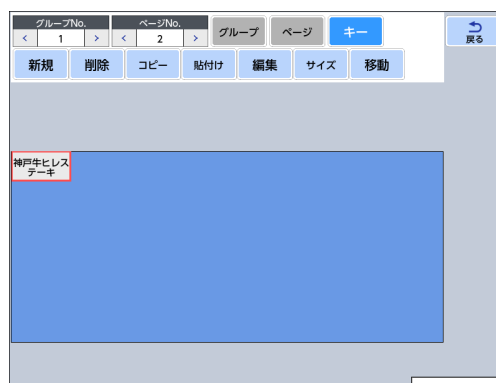


プリセットキーにイメージ画像を割り当てるには

プリセットキーにイメージ画像を割り当てる方法について説明します。

1. イメージを割り当てたいプリセットキーをタッチして選択します。

選択されているキーは赤枠表示になります。



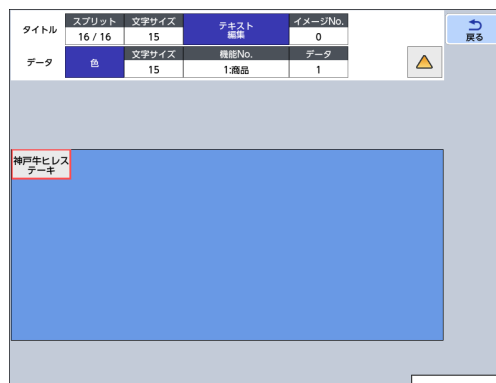
2. 「編集」をタッチします。

編集

3. 「イメージ No.」をタッチします。

イメージNo.
0

イメージ一覧画面が表示されます。



イメージ画像を割り当てた後は、プリセットキーの文字サイズ、文字色を調節して、名称を見やすくしてください。

4. 任意のイメージを選択し、「確定」をタッチします。

確定

プリセットキーにイメージが割り当てられた状態が表示されます。



プリセットキーのサイズを変更するには

プリセットキーのサイズの変更方法について説明します。

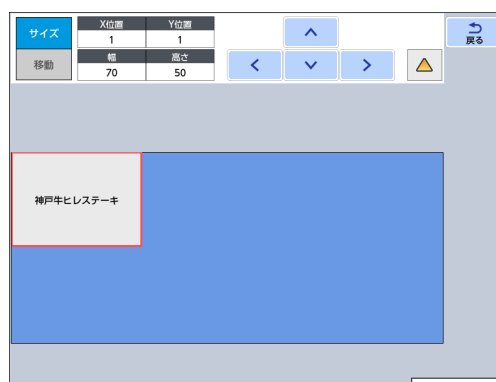
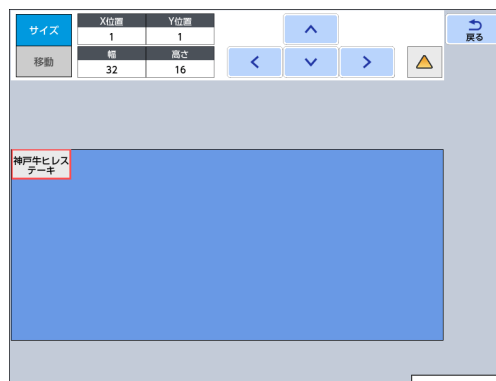
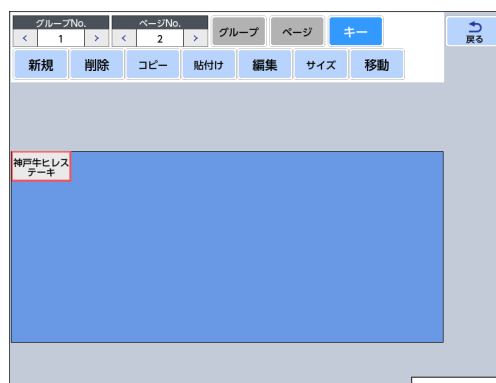
1. サイズを変更したいプリセットキーをタッチして選択します。

選択されているキーは赤枠表示になります。

2. 「サイズ」をタッチします。

サイズ

3. キーを任意のサイズに変更します。



プリセットキーの配置を変更するには

プリセットキーの配置の変更方法について説明します。

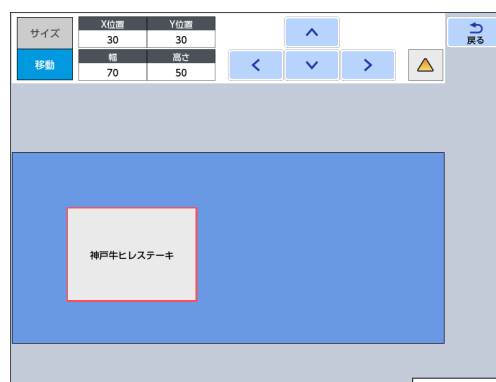
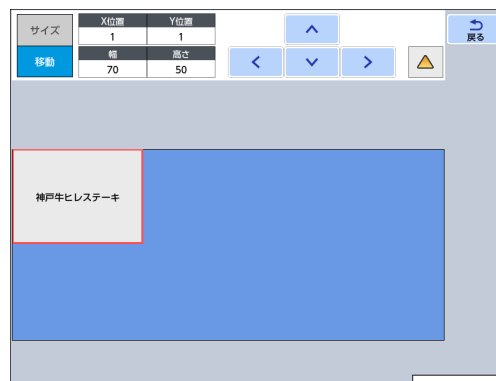
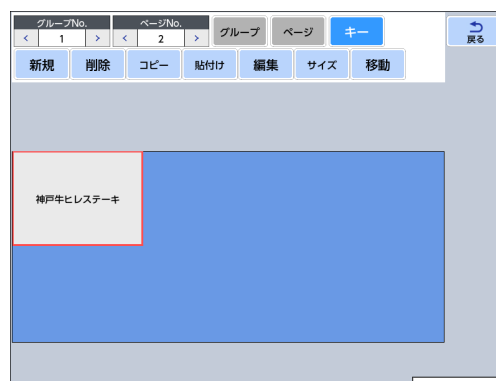
1. 配置を変更したいプリセットキーをタッチして選択します。

選択されているキーは赤枠表示になります。

2. 「移動」をタッチします。

移動

3. キーを任意の位置に移動します。

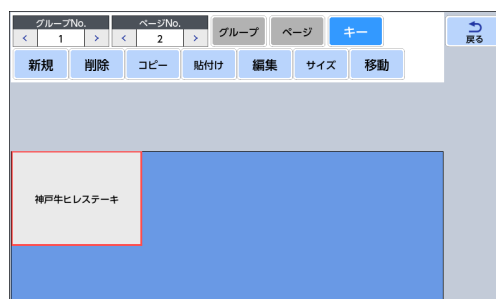


プリセットキーを複製するには

プリセットキーを複製する方法について説明します。

- 複製したいプリセットキーをタッチして選択します。

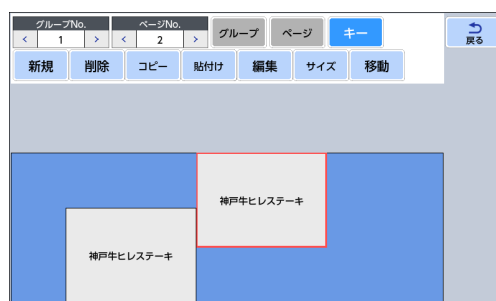
選択されているキーは赤枠表示になります。



- 「コピー」、「貼付け」の順にタッチします



手順 1. で選択したキーが複製されます。

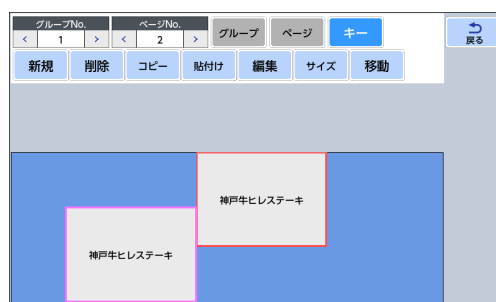


プリセットキーを削除するには

プリセットキーを削除する方法について説明します。

- 削除したいプリセットキーをタッチして選択します。

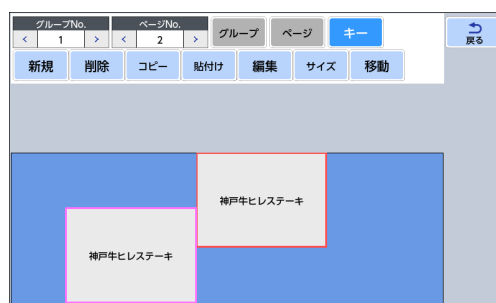
選択されているキーは赤枠表示になります。

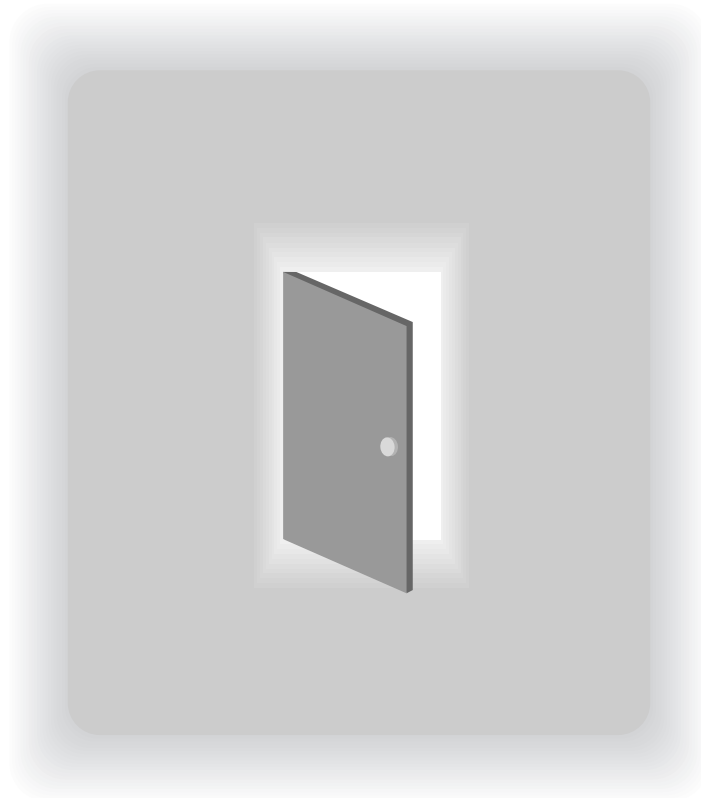


- 「削除」をタッチします



手順 1. で選択したキーが削除されます。





第5章

データ集計します

集計には

ここでは各集計項目について簡単に説明します。

■日計

生産当日の集計をデータ表示します。

日計総合計	当日の生産データを集計表示します。
日計分類別	当日の生産データを分類ごとに集計表示します。
日計指定単品	当日の任意の単品データを集計表示します。
日計単品別	当日の生産データを単品ごとに集計表示します。また、金額順や個数順に集計表示することもできます。

■累計

集計クリアを行うまでの全ての生産データを集計表示します。

累計総合計	蓄積されている全生産データを集計表示します。
累計分類別	蓄積されている全生産データを分類ごとに集計表示します。
累計指定単品	蓄積されている任意の単品データを集計表示します。
累計単品別	蓄積されている全生産データを単品ごとに集計表示します。また、金額順や個数順に集計表示することもできます。

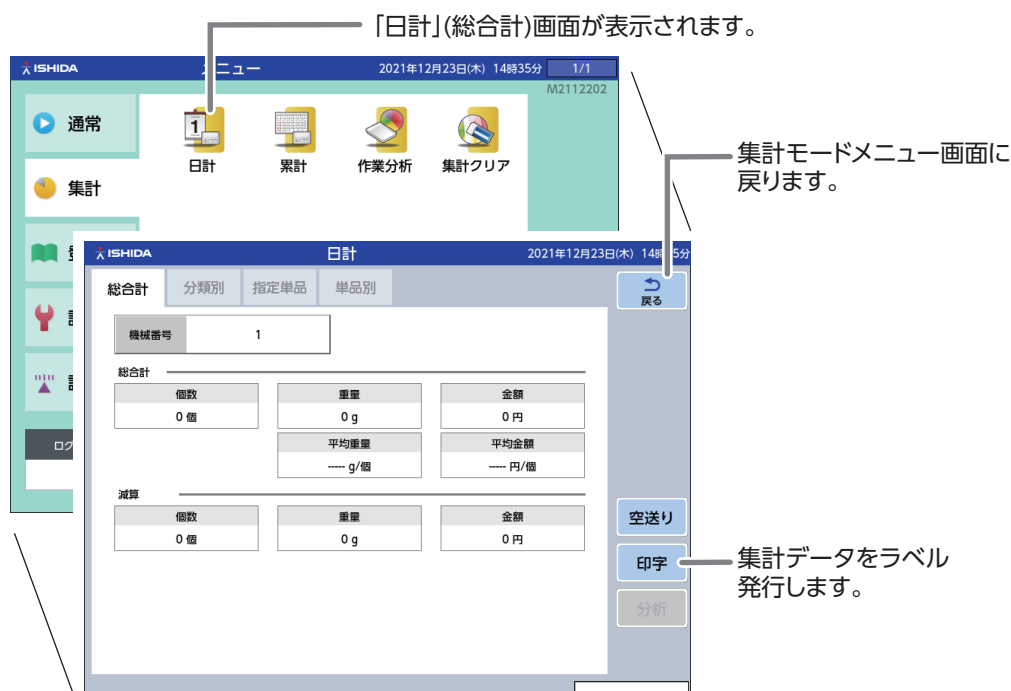
■作業分析

集計クリアを行うまでの総生産数を1時間ごとに区切り、集計表示します。

時間帯別分析	蓄積されている生産数、金額を1時間ごとに集計表示します。
包装モード別分析	包装モード別生産数を1時間ごとに集計表示します。
トレー別分析	トレーごとの生産数を包装モード別に集計表示します。

総合計

生産個数、重量、金額を集計します。ここでは、日計総合計を例に説明しています。



注意

本機からの集計出力は行えません。集計を出力する場合は、外部機器の接続が必要です。詳しくは、イシダサービスマンにお尋ねください。

1. 集計メニュー画面で「日計」をタッチします。



日計

日計（総合計）画面が表示されます。

2. 日計（総合計）画面で「総合計」タブをタッチします。

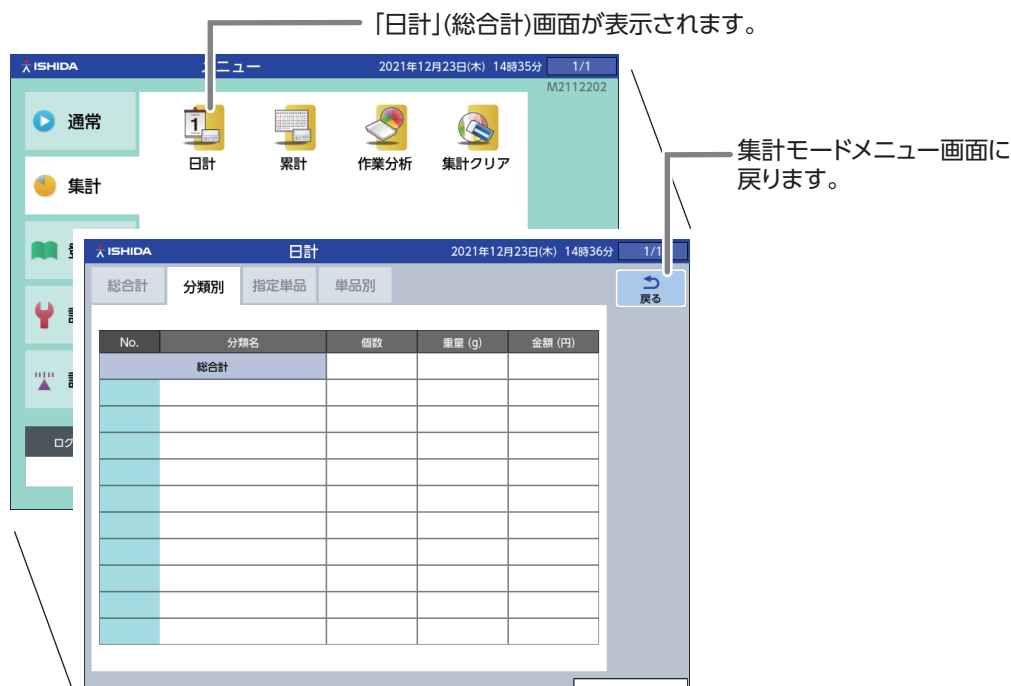


日計（総合計）画面に切り換わり、個数、重量、平均重量、金額、平均金額が表示されます。

※累計総合計も、同様の手順にて操作を行います。

分類別集計

各分類ごとの生産個数、重量、金額を集計します。ここでは、日計分類別集計を例に説明しています。



1. 集計メニュー画面で「日計」をタッチします。



日計

日計（総合計）画面が表示されます。

▲ 注意

本機からの集計出力は行えません。集計を出力する場合は、外部機器の接続が必要です。詳しくは、イシダサービスマンにお尋ねください。

2. 日計（総合計）画面で「分類別」タブをタッチします。

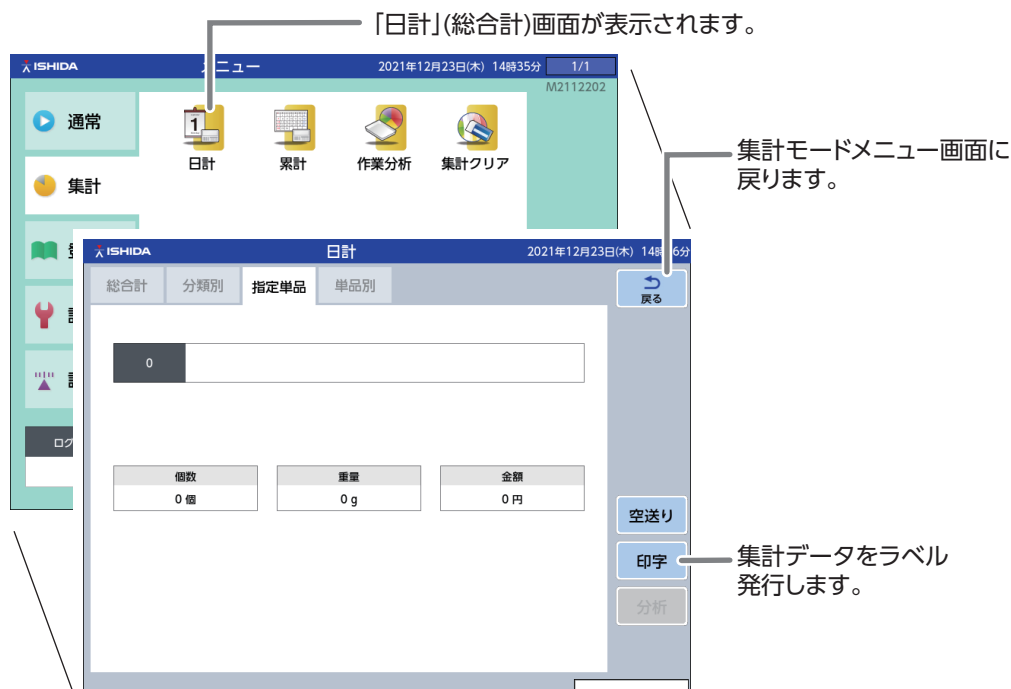


日計（分類別）画面に切り換わり、分類ごとの個数、重量、金額が表示されます。

※累計分類別集計も、同様の手順にて操作を行います。

指定単品別集計

任意の単品について集計を行います。ここでは、日計指定単品別集計を例に説明しています。



1. 日計（総合計）画面で「指定単品」タブをタッチします。



日計（指定単品）画面が表示されます。

▲ 注意

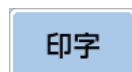
日計指定単品別、累計指定単品別集計は、ラベルにより発行します。

2. 商品呼び出します。

集計したい商品の商品番号を入力し、ストロークキーの「呼出」キーを押します。



3. 集計ラベルを発行するときには「印字」をタッチします。



指定単品の集計ラベルが発行されます。



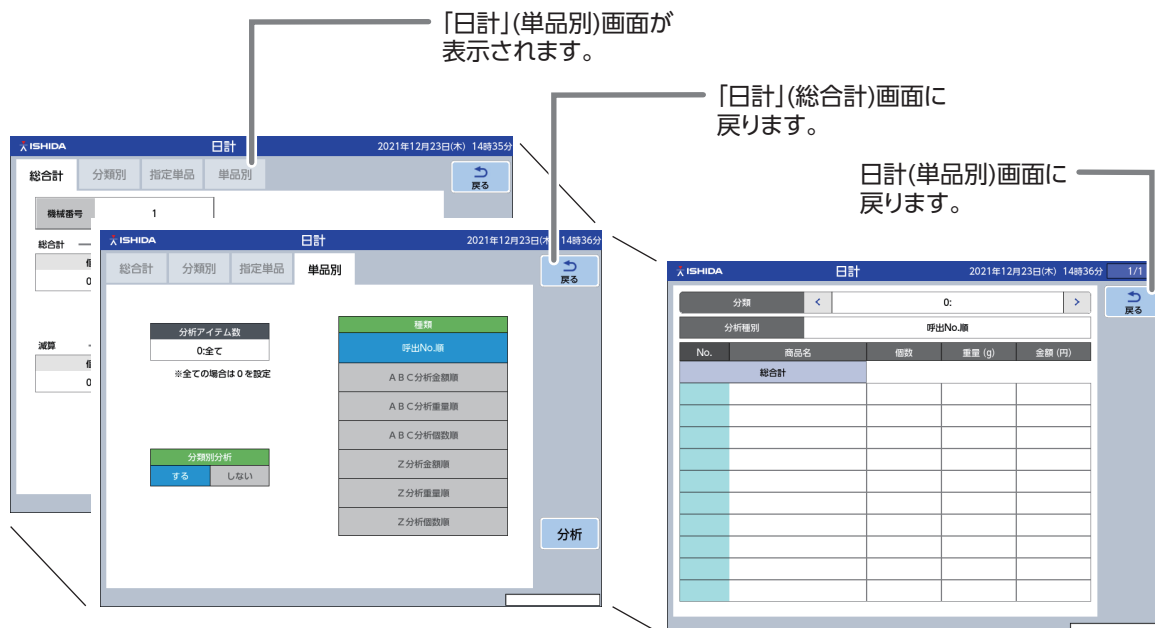
ラベルを空送りする場合は、ストロークキーの「空送」キーを押します。



※ 累計指定単品別も同様の画面が表示され、同様の手順にて操作を行います。

単品別集計

単品ごとの生産個数、重量、金額を集計します。ここでは、日計単品別集計を例に説明しています。



1. 日計画面（総合計）」で「単品別」タブをタッチします。



日計（単品別）画面が表示されます。

▲ 注意

本機からの集計出力は行えません。集計を出力する場合は、外部機器の接続が必要です。詳しくは、イシダサービスマンにお尋ねください。

2. 表示するアイテム数を設定します。

数値入力後、分析アイテム数表示欄をタッチします。



すべてのアイテムを表示、集計する場合は「0」を入力します。

3. 分類別分析を選択します。

する 単品別集計データを分類ごとに表示し、集計します。
しない 全単品別集計データを表示し、集計します。

4. 分析種別を選択します。

呼出 No. 順 商品の呼出番号順に表示し、集計します。
A B C分析金額順 総金額の多い順に表示し、集計します。
A B C分析重量順 総重量の多い順に表示し、集計します。
A B C分析個数順 総個数の多い順に表示し、集計します。
Z分析金額順 総金額の少ない順に表示し、集計します。
Z分析重量順 総重量の少ない順に表示し、集計します。
Z分析個数順 総個数の少ない順に表示し、集計します。

5. 「分析」をタッチします。

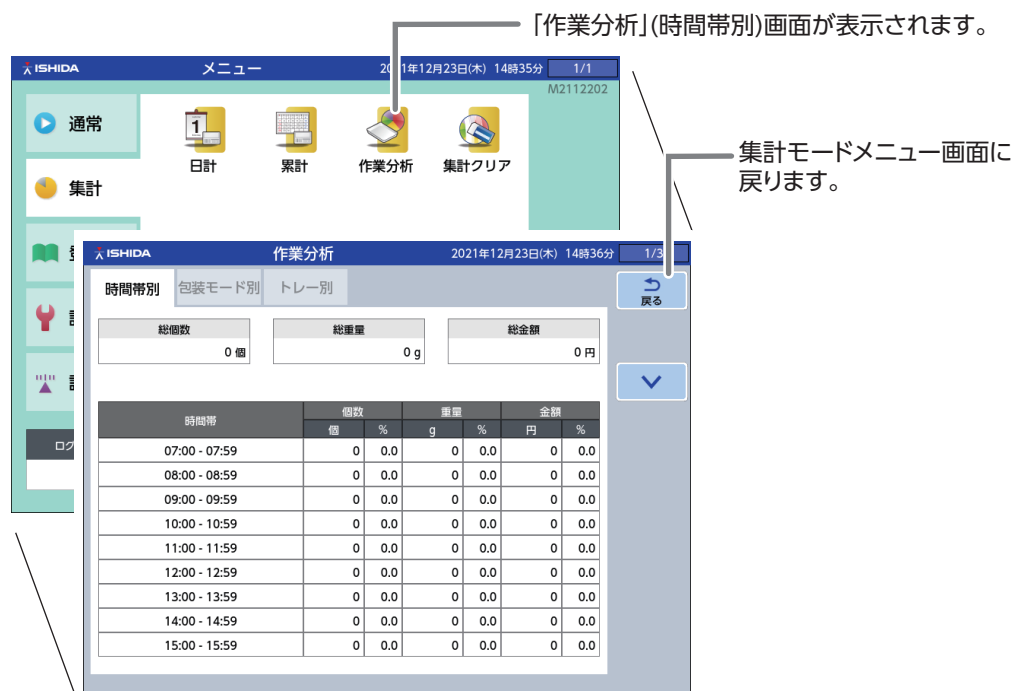
A rectangular button with a light blue background and a thin border, containing the Japanese character "分析" (Analysis) in black text.

日計（単品別分析）画面に切り換わります。

※累計単品集計も同様の手順にて操作を行います。

時間帯別集計

時間帯ごとの生産個数、重量、金額を集計します。



▲ 注意

本機からの集計出力は行えません。集計を出力する場合は、外部機器の接続が必要です。詳しくは、イシダサービスマンにお尋ねください。

1. 集計メニュー画面で「作業分析」をタッチします。



作業分析

日計（指定単品）画面が表示されます。

2. 作業分析（時間帯別）画面で「時間帯別」タブをタッチします。



作業分析（時間帯別）画面に切り換わり、時間帯別の個数、重量、金額が表示されます。

包装モード別集計

生産データを1時間ごとに区切り、包装モード別に表示します。



▲ 注意

本機からの集計出力は行えません。集計を出力する場合は、外部機器の接続が必要です。詳しくは、イシダサービスマンにお尋ねください。

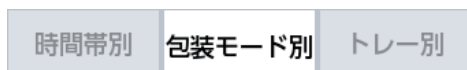
1. 集計モードメニュー画面で「作業分析」をタッチします。



作業分析

作業分析 (時間帯別) 画面が表示されます。

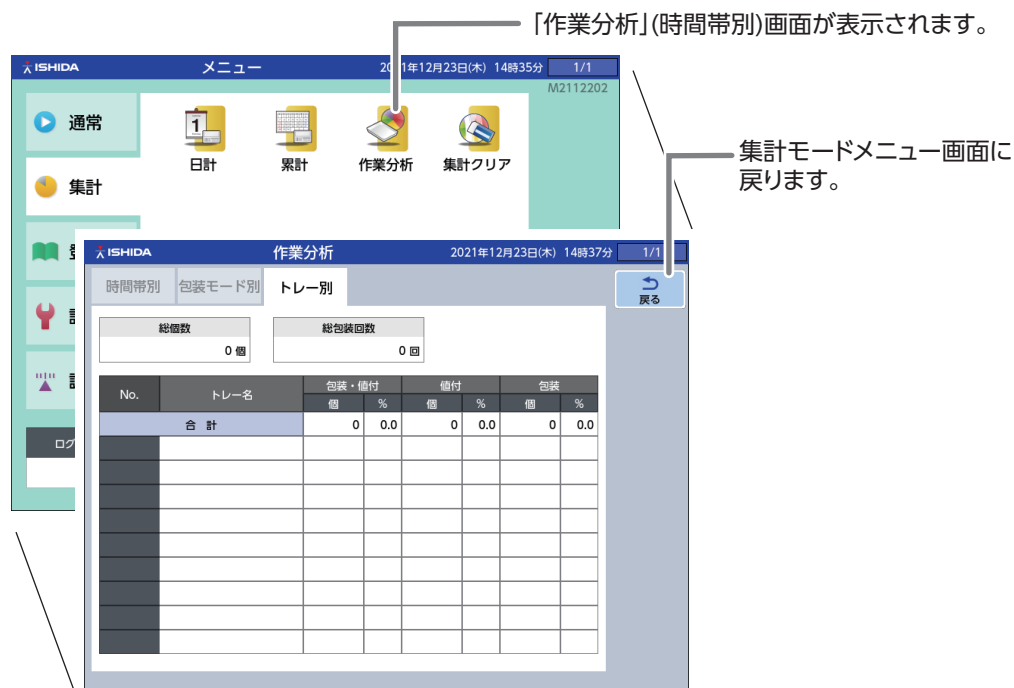
2. 作業分析 (時間帯別) 画面で「包装モード別」タブをタッチします。



作業分析 (包装モード別) 画面が表示されます。

トレー別集計

生産データをトレーごとに集計表示します。



▲ 注意

本機からの集計出力は行えません。集計を出力する場合は、外部機器の接続が必要です。詳しくは、イシダサービスマンにお尋ねください。

1. 集計モードメニュー画面で「作業分析」をタッチします。



作業分析

作業分析（時間帯別）画面が表示されます。

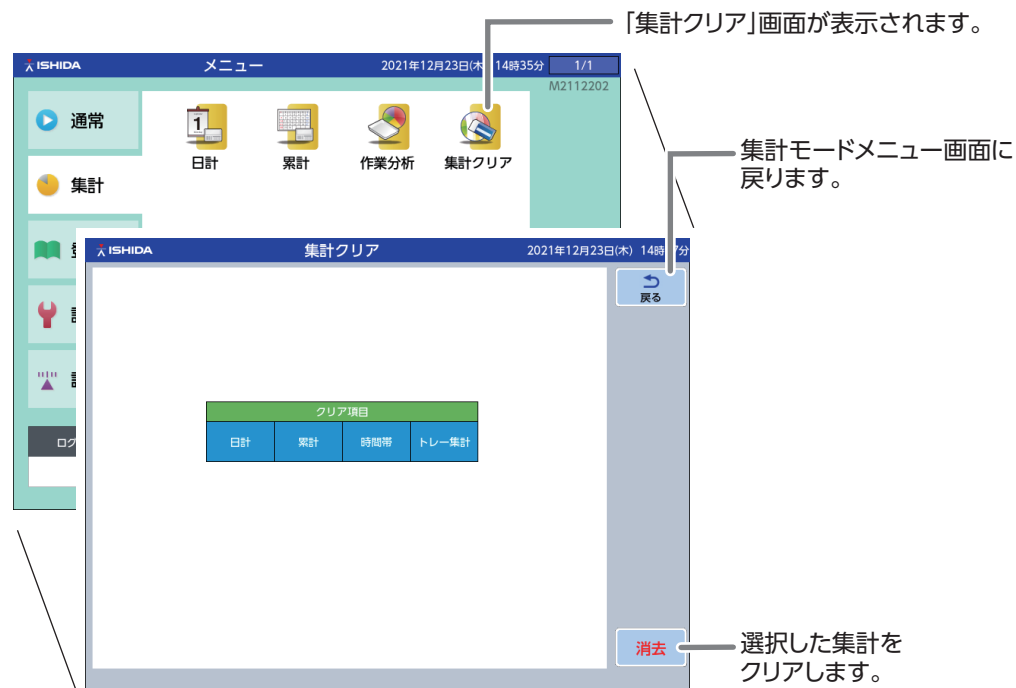
2. 作業分析（時間帯別）画面で「トレー別」タブをタッチします。



作業分析（トレー別）画面が表示されます。

集計クリア

蓄積されている集計データをクリアします。



1. 集計モードメニュー画面で「集計クリア」をタッチします。



集計クリア

集計クリア画面が表示されます。

2. 蓄積されている集計の内、クリアする項目を選択します。

クリア項目			
日計	累計	時間帯	トレー集計

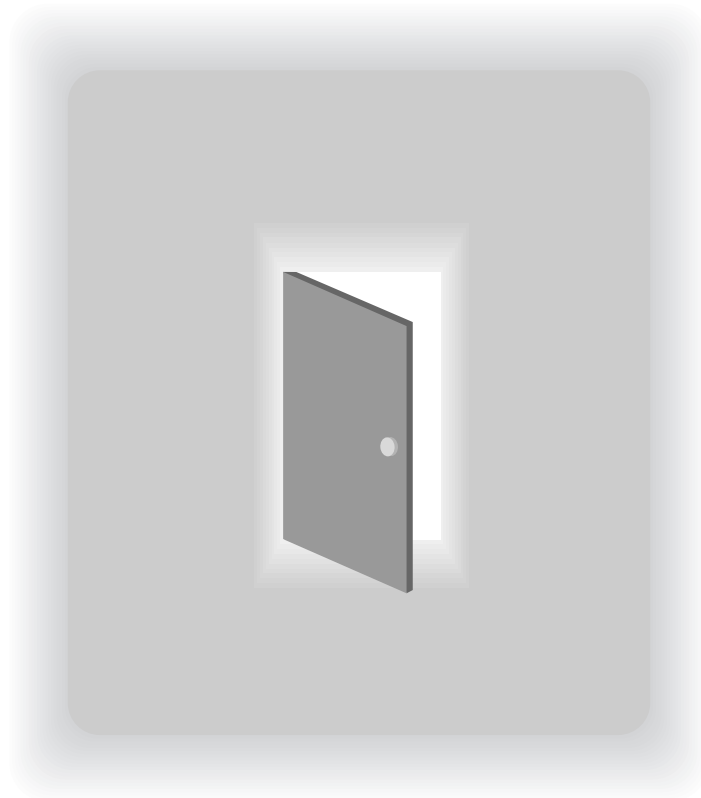
の中から削除したい項目を全てタッチし、反転表示させます。

3. 「消去」をタッチし、選択した集計をクリアします。



消去の確認画面が表示されますので、「実行」をタッチします。





第6章

集計データを修正します

置数減算

集計データから置数した分のデータを減算することができます。



参照

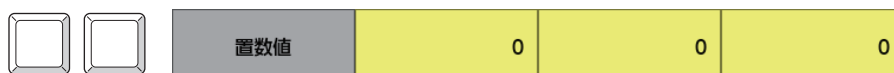
減算モードに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号（4～6桁）入力後、「ログイン」をタッチします。暗証番号の設定はP7-3「暗証番号設定」をご参照ください。

1. 減算（置数減算）画面で「置数減算」タブをタッチします。



減算（置数減算）画面が表示されます。

2. 個数、重量、金額欄に置数値を入力します。



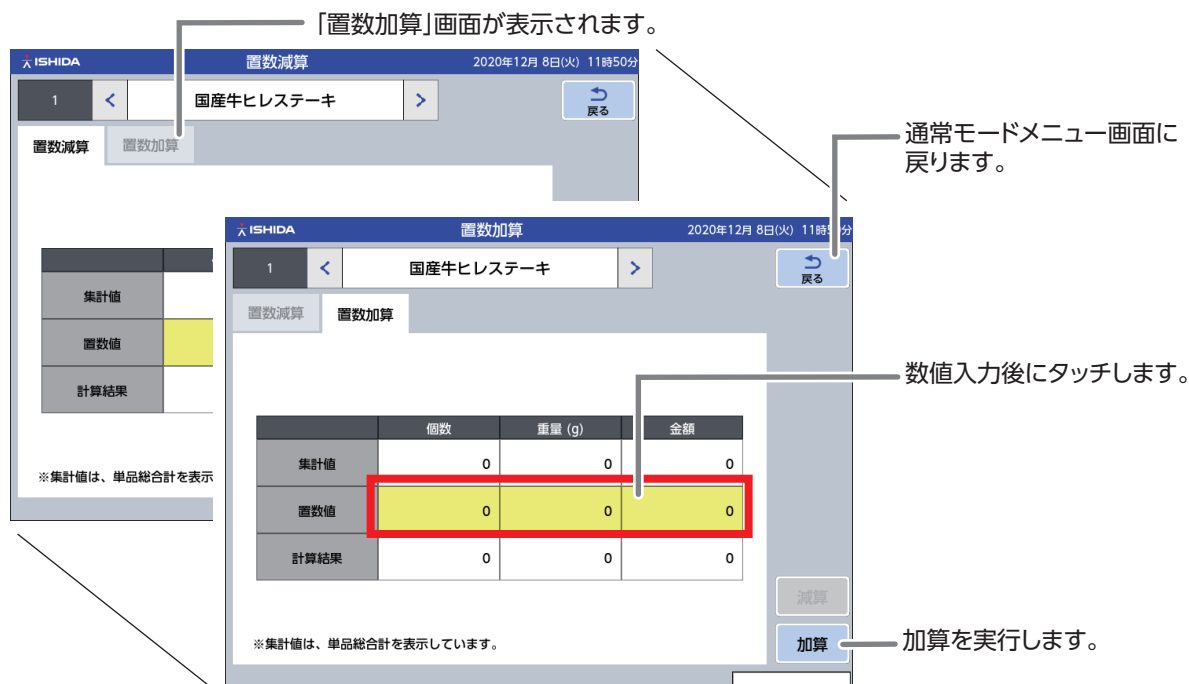
3. 「減算」を実行します。



「減算」をタッチすると、減算の確認画面が表示されます。「実行」をタッチします。

置数加算

集計データに置数した分のデータを加算することができます。



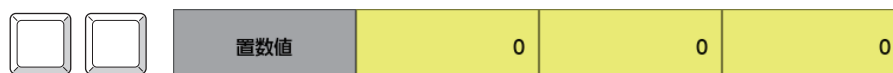
加算モードに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号（4～6桁）入力後、「演算／加算」をタッチします。暗証番号の設定はP 7-3「暗証番号設定」をご参照ください。

1. 減算（置数減算）画面で「置数加算」タブをタッチします。



減算（置数加算）画面が表示されます。

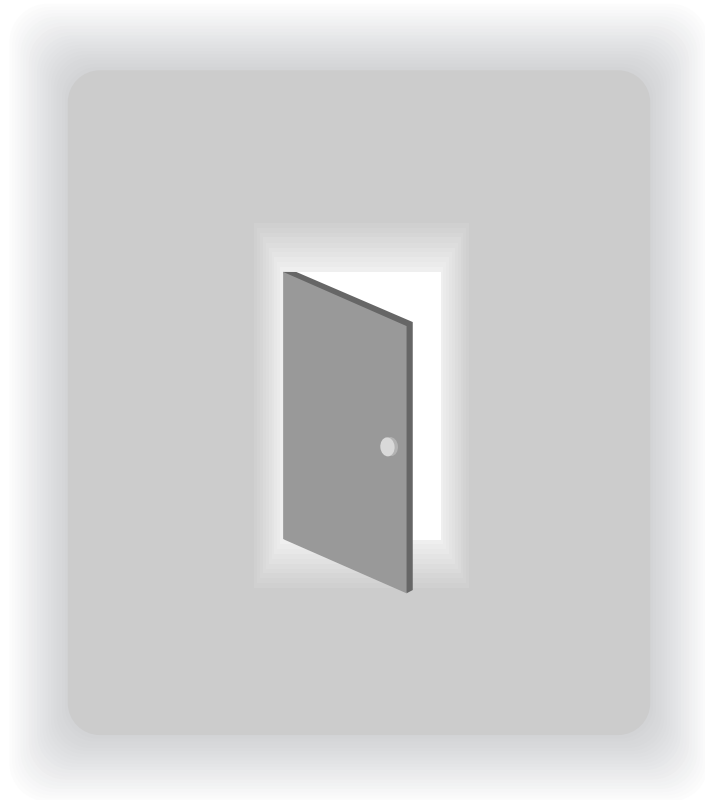
2. 個数、重量、金額欄に置数値を入力します。



3. 「加算」を実行します。



「加算」をタッチすると、加算の確認画面が表示されます。「実行」をタッチします。

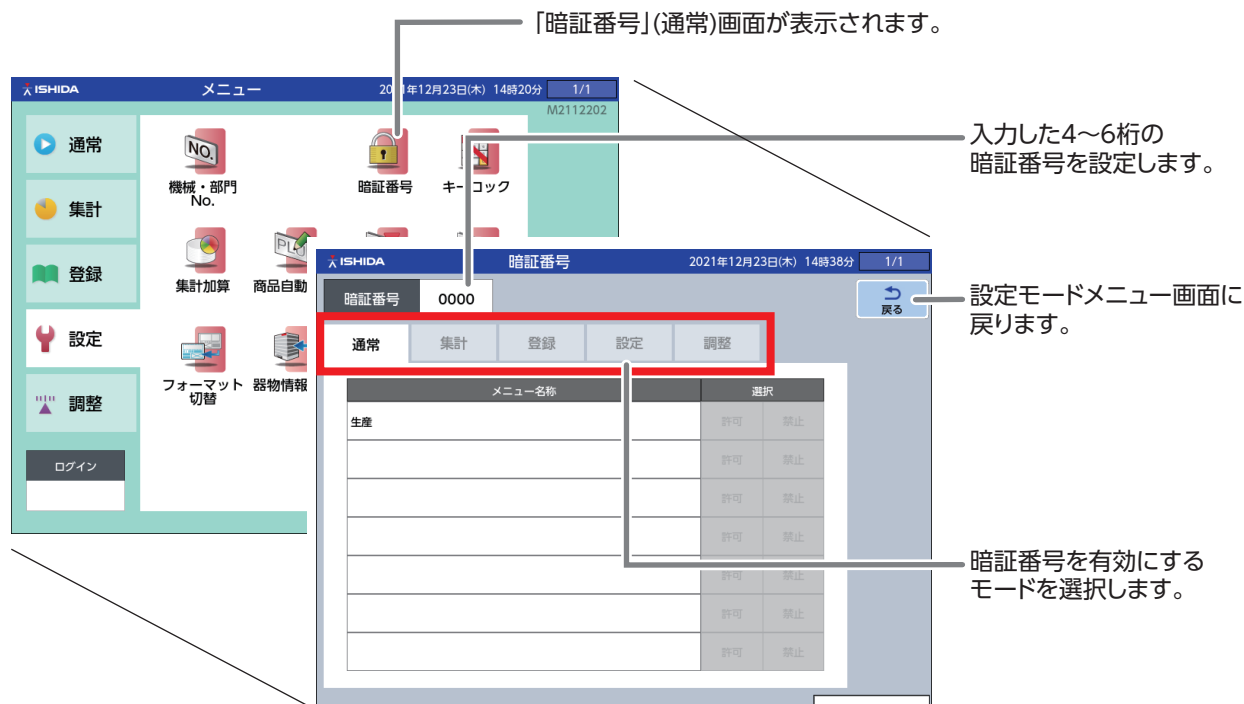


第7章

設定をします

暗証番号設定

ここでは、各モードのメニュー項目の暗証番号の設定方法について説明します。



1. 設定モードメニュー画面の「暗証番号」をタッチします。



暗証番号

暗証番号（通常）画面が表示されます。

2. 設定するモードを画面下部のタブをタッチして選択します。



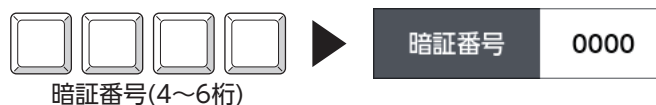
3. 各メニュー項目の設定を選択します。



▲ 注意

設定した暗証番号を忘れないために管理者の方が番号を控えておいてください。

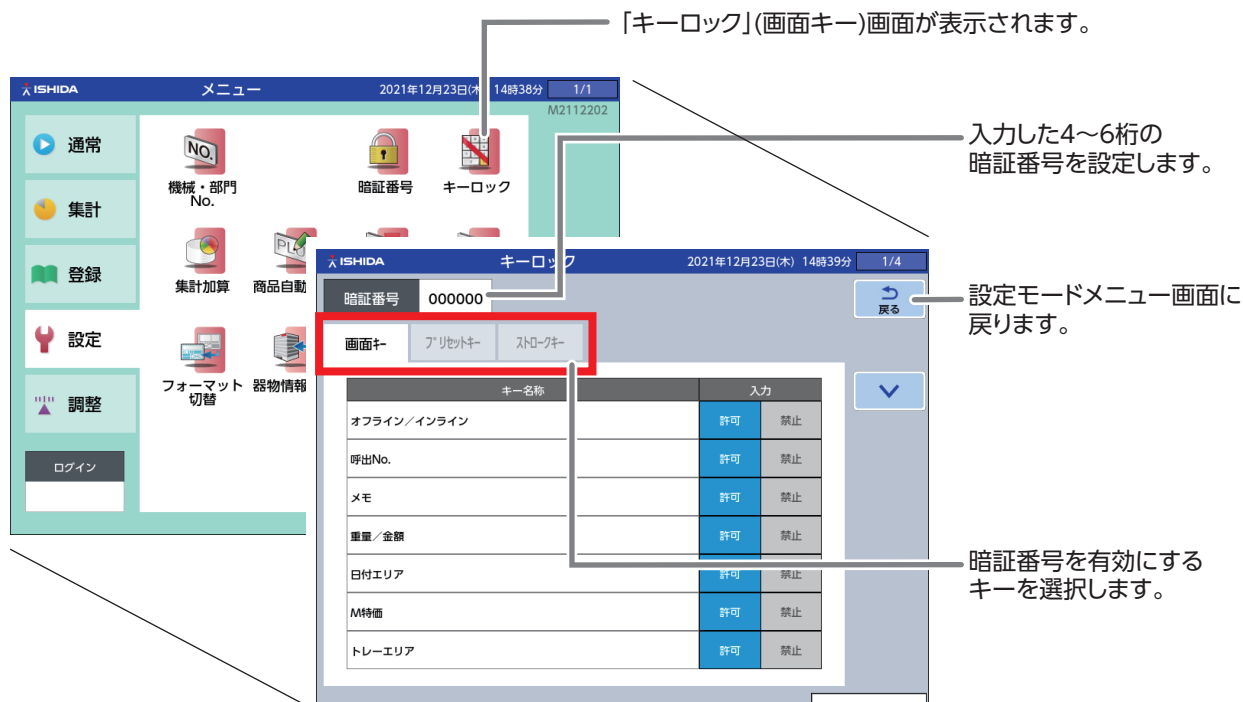
4. 暗証番号を入力します。



入力した暗証番号が表示されます。

キーロック設定

ここでは、画面キー、ファンクションキー、ストロークキーのキーロック設定方法について説明します。



1. 設定モードメニュー画面の「キーロック」をタッチします。



キーロック

キーロック (画面キー) 画面が表示されます。

2. 設定するキーを画面下部のタブをタッチして選択します。



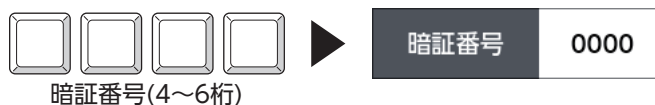
3. 各ファンクションキーの設定を選択します。

▲ 注意

設定した暗証番号を忘れないために管理者の方が番号を控えておいてください。

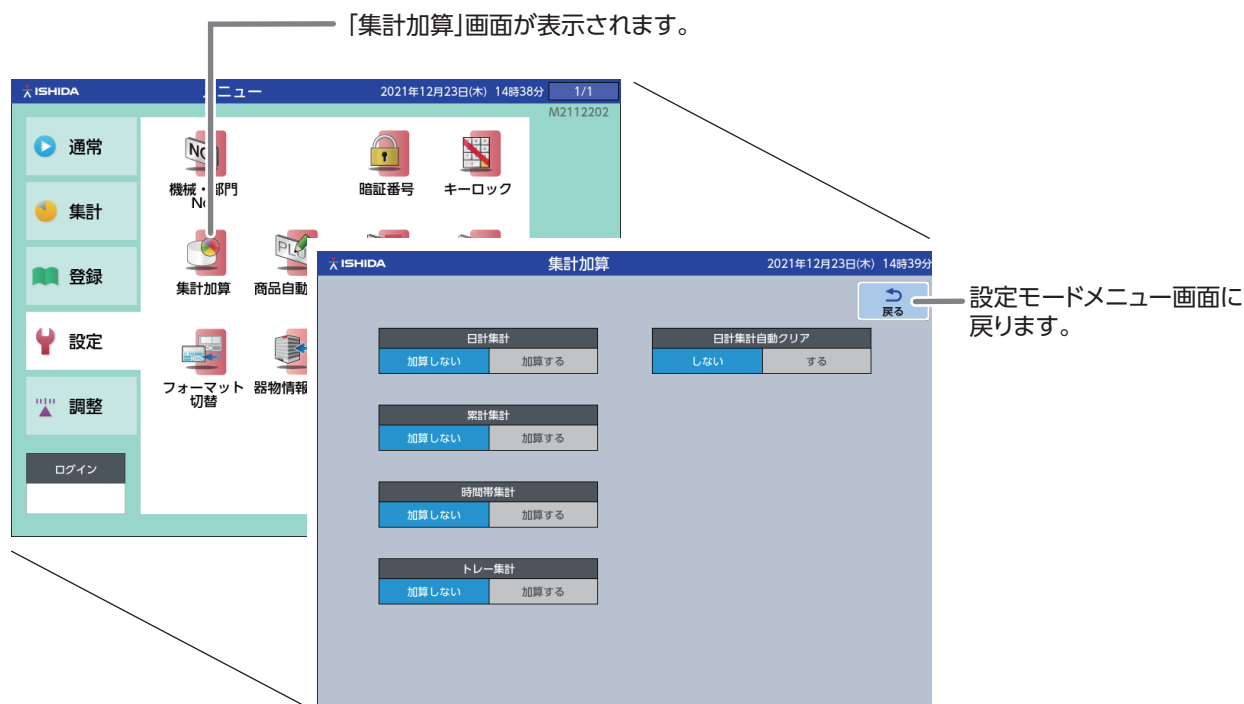


4. 暗証番号を入力します。



入力した暗証番号が表示されます。

集計加算設定



1. 設定メニュー画面の「集計加算」をタッチします。



集計加算

集計加算設定画面が表示されます。

2. 必要な項目を設定します。

日計集計	“加算する”に設定した場合、集計モードの日計集計に集計されます。 また、通常モードの入力欄の上に、商品毎の累計パック数が表示されるようになります。
累計集計	“加算する”に設定した場合、集計モードの累計集計に集計されます。
時間帯集計	“加算する”に設定した場合、集計モードの作業分析の時間帯と包装モード別集計に集計されます。
トレー集計	“加算する”に設定した場合、集計モードの作業分析のトレー別集計に集計されます。
日計集計自動クリア	翌朝の電源投入時に、日計集計を自動クリアするかを設定します。

商品自動更新設定

通常モードにおける数値入力などの変更データを、商品マスターに更新して使用する場合に設定します。

「商品自動更新」画面が表示されます。

設定モードメニュー画面に戻ります。

商品マスター項目名称	許可	禁止
単価・定金額	許可	禁止
M特価モード・M特価	許可	禁止
定額記号・個数	許可	禁止
定重量・上下限重量	許可	禁止
加工日時	許可	禁止
消費日時	許可	禁止
発行モード・ラベル発行	許可	禁止
レジコード	許可	禁止
POPNo.	許可	禁止
コメントNo.	許可	禁止

通常モードでのデータ変更時に、変更データをマスターに反映させるかどうかを設定します。

- ・許可:マスターへの反映が実行されます。
- ・禁止:マスターへの反映は実行されません。

1. 設定モードメニュー画面の「商品自動更新」をタッチします。



商品自動更新

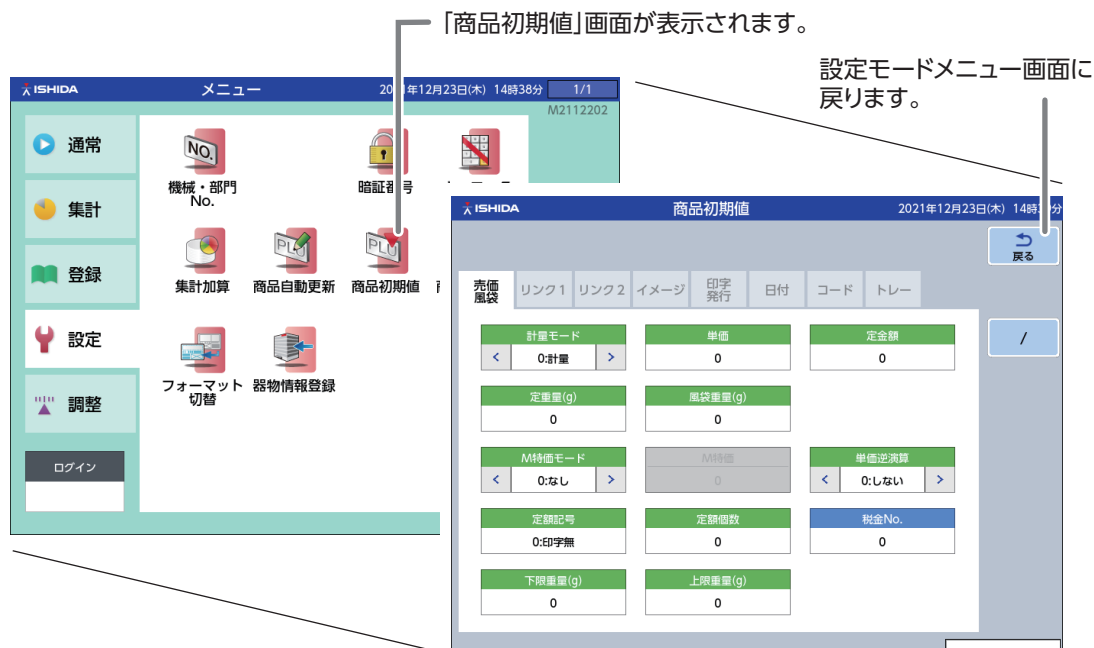
商品自動更新画面が表示されます。

2. 商品自動更新の必要な項目の「許可」にタッチします。



商品初期値設定

商品登録時、設定項目の初期値を設定します。



1. 設定モードメニュー画面の「商品初期値」をタッチします。

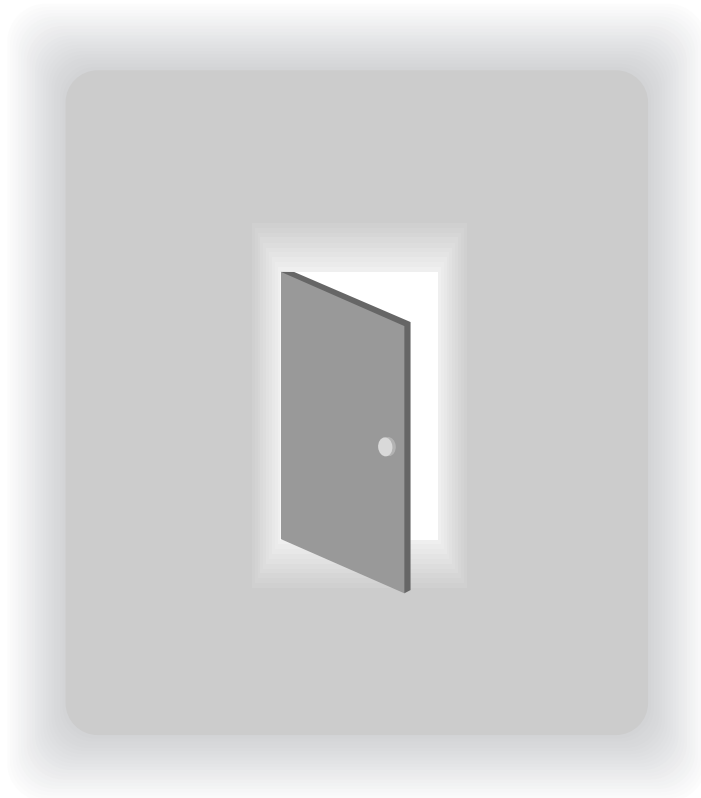


商品初期値

商品初期値（売価・風袋）画面が表示されます。

2. 商品の初期値を設定します。

「第4章 商品登録」を参照して設定してください。

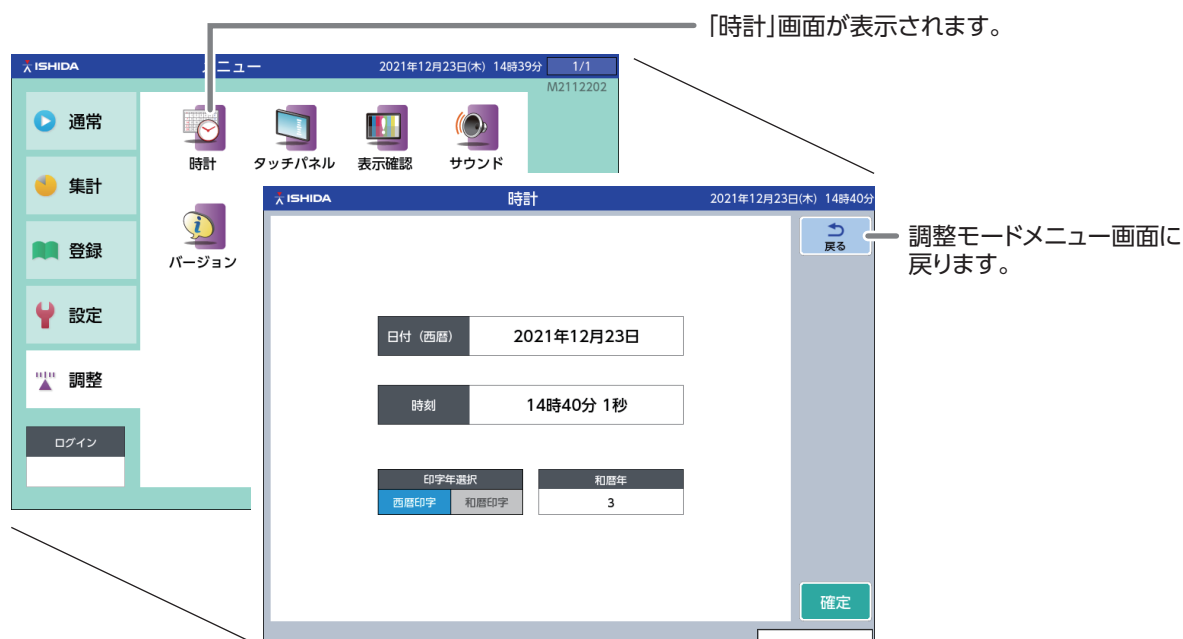


第 8 章

調整をします

日付時刻調整

本器に内蔵されている時計に現在の日付、時刻、和暦を調整します。



1. 調整モードメニュー画面の「時計」をタッチします。



時計

時計画面が表示されます。

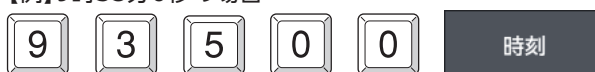
2. 日付を入力します。

【例】2021年1月15日の場合

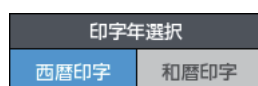


3. 時刻を入力します。

【例】9時35分0秒の場合



4. 印字年を選択します。



5. 和暦を入力します。

【例】令和3年の場合



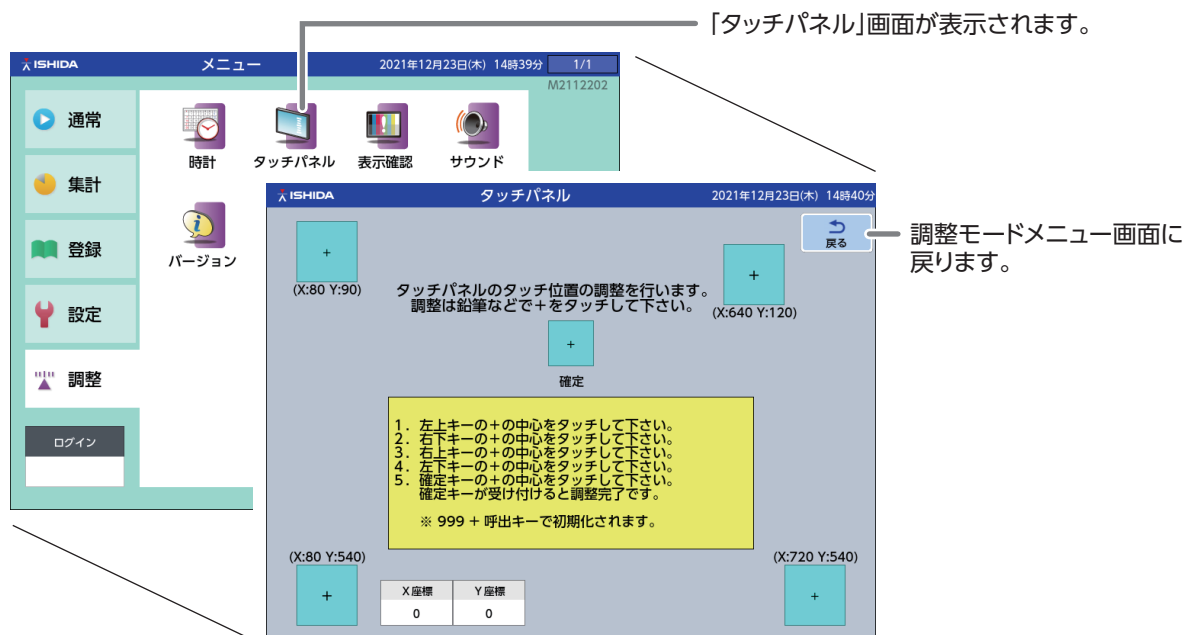
6. 確定をタッチします。



各項目の調整内容が設定されます。

タッチパネル調整

タッチパネルのタッチ位置を調整します。



1. 調整メニュー画面の「タッチパネル」をタッチします。



タッチパネル

タッチパネル調整画面が表示されます。

注意

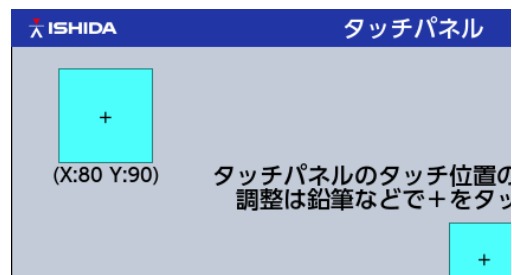
タッチパネルのタッチ位置を調整する際は、軽く画面を押してください。強く押すと、タッチパネルが破損するおそれがあります。



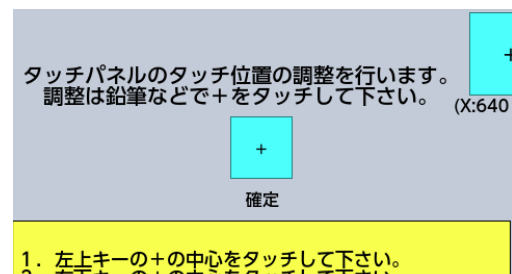
9 9 9 呼出

で、タッチ位置が初期化されます。

2. 画面4箇所の「+」キーの中心をタッチします。

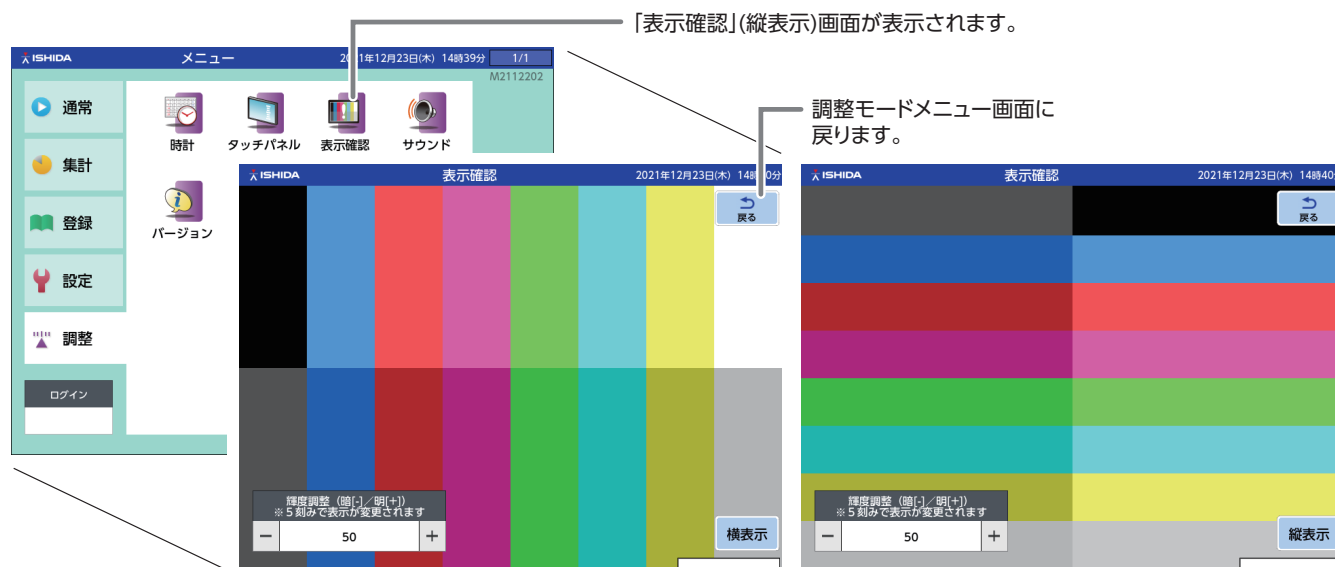


3. 画面中央の確認キー「+」をタッチします。



画面輝度調整

タッチパネルの縦表示、横表示の輝度を調整します。



1. 調整モードメニュー画面の「表示確認」をタッチします。



表示確認

表示確認（縦表示）画面が表示されます。

2. 縦表示の画面輝度を調整します。



「-」キーで輝度が下がり暗くなり、「+」キーで輝度が上がり明るくなります。

3. 「横表示」をタッチします。

横表示

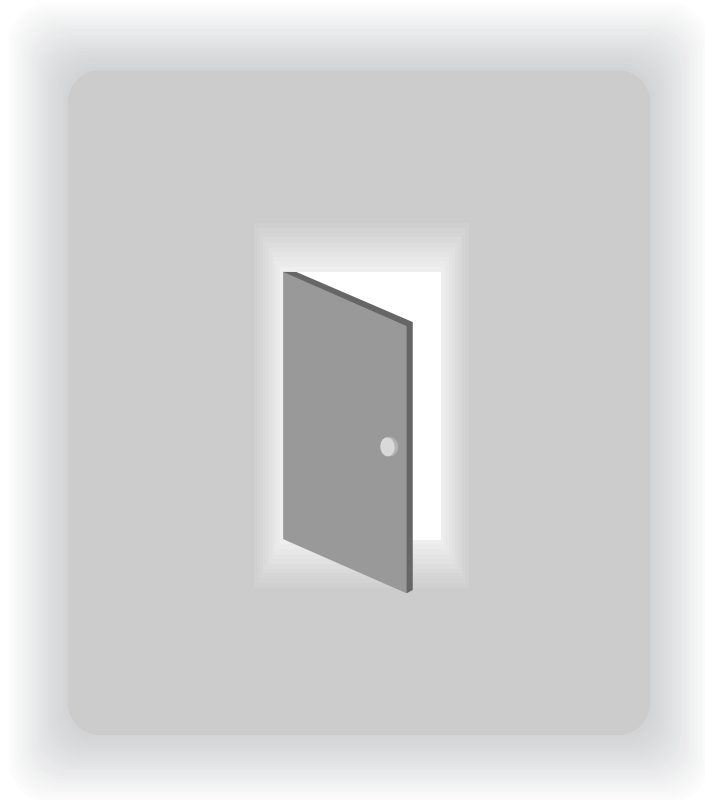
表示確認（横表示）画面が表示されます。

4. 横表示の画面輝度を調整します。



輝度調整は「置数+輝度調整」でも行えます。



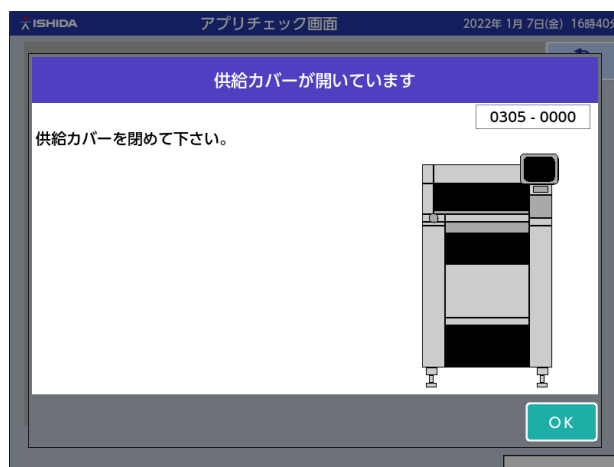
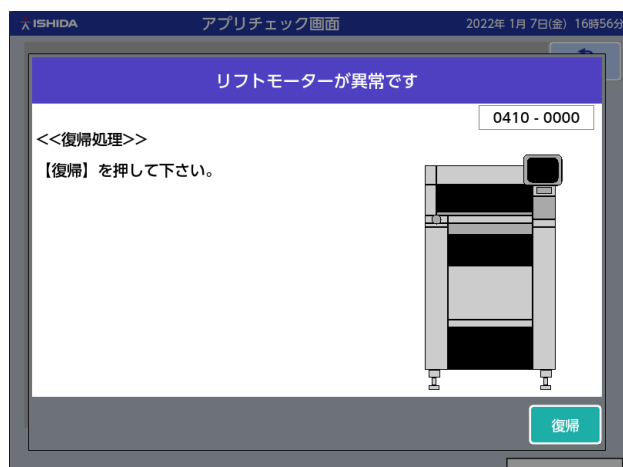


付録
その他

エラーの解除方法

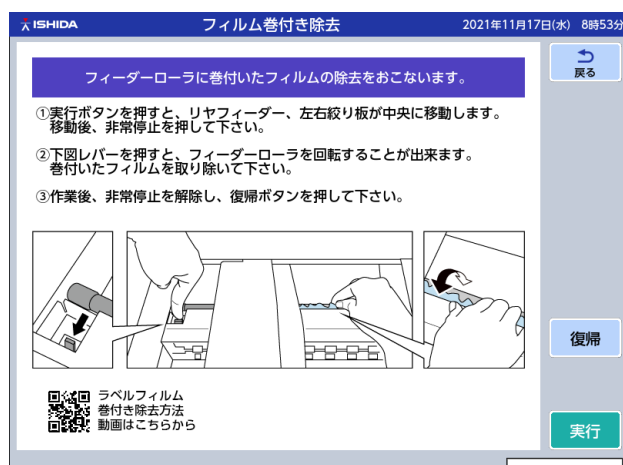
WM-AI VF は、12.1 インチのカラー液晶表示の豊富な表現力を活かして下記のように絵と文章で、エラーメッセージを画面表示します。

画面表示に従って、エラー解除を行ってください。



■操作方法の動画での確認

フィルム交換などについて、操作説明動画を画面の QR コードから確認できます。





本 社	京都市左京区聖護院山王町44番地	〒606-8392	TEL.(075)751-7104 (直)
東京支社	東京都板橋区板橋1丁目52番1号	〒173-0004	TEL.(03)3964-6204 (直)

取扱店
